Panasonic

TH-40CX700

ビエラ操作ガイド

日本語

M 0415-0

まずお読みください

ビエラ操作ガイドについて

ビエラ操作ガイドをお使いになる前に 13

お使いになる前に

録画内容の保管について 14

ＳＤメモリーカードの廃棄 / 譲渡について 15

記録内容などの損害・損失について 16

著作権について 17

認証ＩＤについて 18

こんなことができます（本機の特長）

４Ｋ映像の視聴 19

ホーム画面 20

録画（録画予約）、再生 21

音声タッチパッドリモコン 22

エコナビ 23

インターネット 24

お部屋ジャンプリンク 25

スマートアプリ機能 26

ホームを使う

ホーム画面を操作する

ホームについて 27

ホームを操作する 28

ホームに機能を登録する 29

ホーム画面に関する操作をする 30

テレビ画面を操作する

テレビを視聴する 31

テレビ画面に関する操作をする 32

アプリ一覧画面を操作する

アプリを使う 33

アプリ一覧画面に関する操作をする 34

接続機器一覧画面を操作する

接続した外部機器を使う 35

接続機器一覧画面に関する操作をする 36

テレビを見る

テレビ放送を見るための準備をする

アンテナ線を接続する 37

かんたん設置設定をする 40

テレビ放送を見る

テレビ放送を選局する 41

データ放送を見る 43

ハイブリッドキャストの設定をする 44

番組情報を確認する 45

タイトル表示を設定する 46

番組視聴中に関連機能を設定する 47

字幕の設定をする 48

音声を切り換える 49

スピーカーとイヤホン音声の同時出力を切り換える 50

放送中の画面を静止する 51

放送メールやＢ－ＣＡＳカードなどの各種情報を見る 52

タイマー機能や時計表示を設定する

タイマーで電源を切る（オフタイマー） 53

タイマーで電源を入れる（オンタイマー） 54

時刻読み上げを設定する 56

時刻を表示する 57

テレビの節電機能（エコナビなど）を設定する

テレビの節電機能（エコナビなど）について 58

無操作自動オフを設定する 59

無信号自動オフを設定する 60

エコナビを設定する 61

節電視聴を設定する 62

ＵＳＢハードディスクを休止状態にする 63

４Ｋ映像を見る

４Ｋ出力対応機器を接続する 64

ＨＤＭＩ端子のＨＤＣＰバージョンを設定する 65

ＨＤＭＩ端子で視聴可能な４Ｋ映像の入力信号を設定する 66

視聴可能な４Ｋ映像の入力信号について 67

外部機器をつないで見る、聴く

外部機器を接続する 68
外部機器の映像を見る、音声を聴く 71
ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う 72
本機のリモコンで外部機器を操作する 74
ＨＤＭＩ（ＤＶＩ）対応機器の接続について 75
本機で対応している映像信号 / 音声信号 76

映像（画質）を設定・調整する

映像モードを設定する 77
明るさオートを設定する 78
画面モードの設定と映像信号について 79
画面モードを設定する 80
映像の基本設定をする 81
ノイズ低減設定をする 83
画質の詳細設定をする 84
オプション機能を設定する 87
画面の設定をする 89
画質設定をコピーする 91

音声（音質）を設定・調整する

音声出力を設定する 92
音声モードを設定する 93
シアターサウンドを設定する 94
音声の基本設定をする 95
音量設定をする 97
音声ガイドの設定をする 98
音声の詳細設定をする 99

番組表の使い方

番組表について 101
テレビ放送の番組を探して見る 102
番組表の画面の見かた 103
番組表の表示を切り換える 105
番組の詳しい情報や番組説明を見る 106
番組内容から関連のある番組を検索する 107

注目番組一覧から探す 108
キーワードやジャンル、人名などで番組を探す 109

２つの画面を表示する
２画面表示について 110
２画面で探す（現在放送中の番組から探す） 111
２画面で見る 112
お知らせ 113

録画する

ＵＳＢハードディスクなどのＵＳＢ機器を接続・設定する
ＵＳＢハードディスクをお使いになる前に 114
ＵＳＢハードディスクの設定をする 116

見ている番組を録画する
見ている番組をＵＳＢハードディスクに録画する 118

録画予約をする
録画予約について 120
日時を指定して録画予約する 122
番組を探して録画予約する 124
番組を探して毎週予約する 126
予約の詳細設定をする 127
録画番組のプロテクトを設定する 129
オートチャプターを設定する 130
録画予約で利用できるアプリやサービスについて 131
予約の確認をする 133
予約の設定を変更する 134
毎週予約の予約状況を確認・変更する 135
お知らせ 136

ＵＳＢハードディスクについて
ＵＳＢハードディスクについて 137

メディアプレーヤー

メディアプレーヤーを使う
メディアプレーヤーについて 138
機器やコンテンツを選択する 140

ファイル共有機能を使う 141
ファイル共有サーバー機能を使う 142

写真を再生する
ファイルを選択して再生する 144
写真をシングル表示で操作する 145
写真を分類表示する 146
スライドショーで見る 147

ビデオ映像を再生する
ファイルを選択して再生する 149
ビデオ映像を再生・操作する 150
ビデオ映像の音声や字幕などを設定する 152
音声出力を設定する 153

音楽を再生する
ファイルを選択して再生する 154
音楽を再生・操作する 155
繰り返し（リピート）を設定する 156

録画した番組を再生・編集する
録画番組を選択して再生する 157
録画番組を再生・操作する 160
まとめ番組について 161
録画番組をプロテクトする 162
録画番組を削除する 163
チャプター一覧を表示する 164
録画番組の音声や字幕などを設定する 165
録画番組の番組名を編集する 166
音声出力を設定する 167

接続機器について
機器の取り扱いについて 168
ＳＤメモリーカードについて 169
ＵＳＢハードディスクなどのＵＳＢ機器について 170

メディアプレーヤーで再生できるコンテンツ
写真（画像）のフォーマット 171
動画（ビデオ映像）のフォーマット 172

音楽のフォーマット 174
お知らせ 175

ネットワーク

インターネットを利用する

インターネットに接続して利用できるアプリやサービスについて 176
インターネットコンテンツを選択する 177
インターネット上の有害情報へのアクセス制限機能について 178
お知らせ 179

お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）

お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）について 180
お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）を使う 182
対応ディーガや対応ビエラでできること 183
お部屋ジャンプリンクサーバー機能で視聴できるコンテンツについて 184

ネットワークに接続する

インターネット接続をする 186
インターネット接続について 187
お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）接続をする 189
お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）接続について 191

ネットワークを利用するための接続設定をする

ネットワーク接続設定をする 192
手動で無線ＬＡＮ接続設定をする 194
手動で有線（ＬＡＮケーブル）接続設定をする 196
本機を無線親機に設定する 197
ネットワークの接続状況を確認する 198
クラウドサービスを利用するためのアカウント設定をする 199
本機の名称を変更する 200
ＴＶリモートの設定をする 201
お部屋ジャンプリンクサーバー機能を設定する 203
メディアアクセス機能を設定する 205
ディモーラの設定をする 207
ファイル共有機能を設定する 209
トラッキング拒否機能を設定する 210
ソフトウェアの確認と更新をする 211

ソフトウェアの更新を通知する 212

録画した番組をダビングする

ダビングする前にご確認ください 213
録画した番組をディーガへダビングする 215
ダビング履歴を確認する 216

お部屋ジャンプリンクで写真を再生する

ファイルを選択して再生する 217
写真をシングル表示で操作する 218
スライドショーで見る 219

お部屋ジャンプリンクでビデオ映像を再生する

ファイルを選択して再生する 220
ビデオ映像を再生・操作する 221
ビデオ映像の音声や字幕などを設定する 223
音声出力を設定する 224

お部屋ジャンプリンクで音楽を再生する

ファイルを選択して再生する 225
音楽を再生・操作する 226
繰り返し（リピート）を設定する 227

お部屋ジャンプリンクでディーガやビエラのコンテンツを再生する

ディーガや本機以外のビエラのコンテンツを再生する 228

DMP・DMR機能で再生できるコンテンツ

写真（画像）のフォーマット 229
動画（ビデオ映像）のフォーマット 230
音楽のフォーマット 232
お知らせ 233

いろいろな機能

インフォメーションバーを使う

インフォメーションバーについて 234
インフォメーションバーを使う 235
インフォメーションバーの設定をする 236

音声操作機能を使う

音声操作機能をお使いになる前に 237

音声で操作する 238
音声操作の設定をする 239
ＴＶリモートから音声で操作する 240

音声タッチパッドリモコンを使う
音声タッチパッドリモコンについて 241
音声タッチパッドリモコンの名称とはたらき 242
音声タッチパッドリモコンとテレビ本体をペアリング（登録）する 244
音声タッチパッドリモコンの設定をする 245
メインリモコンのボタンを表示する 246

ミラーリング機能を使う
ミラーリング機能を利用する 247
ミラーリング機能の設定をする 248

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う
ビエラリンクの概要 249
ビエラリンクをお使いになる前に 253
簡単再生 254
電源オン連動 255
電源オフ連動 256
ＥＣＯスタンバイ 257
こまめにオフ 258
ケーブルテレビの電源オン連動 259
ディーガの操作 260
テスト（ディーガ電源） 261
ディーガなどの機器を操作する 262
シアターの音声を切り換える 264
お知らせ 266

制限項目や暗証番号に関する設定をする
制限項目を設定する 267

地域やチャンネルなど設置に関する設定をする
設置設定をする 268

お買い上げ時の設定に戻す
個人情報をリセットする 273

ソフトウェアの更新
ソフトウェアの更新について 274
放送ダウンロード予約の方法を設定する 275

Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ対応機器を使う
Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ対応機器をペアリング（登録）する 276

各種設定

設定メニュー
設定方法 277

映像調整
映像モード 279
映像の基本設定 280
明るさオート 282
ノイズ低減設定 283
画質の詳細設定 284
オプション機能 285
画面の設定 287
画質設定コピー 288
標準に戻す 289

音声調整
音声を切り換える 290
音声モード 291
シアターサウンドを切り換える 292
音声の基本設定 293
音量設定 294
音声ガイドの設定 295
音声の詳細設定 296
標準に戻す 297

ネットワーク設定
ネットワーク接続 298
ネットワーク状態 299
マイホームクラウド設定 300
本機の名称変更 301
ＴＶリモート設定 302

お部屋ジャンプリンク設定 303
メディアアクセス設定 304
ディモーラの設定 305
ファイル共有設定 306
ミラーリング設定 307
トラッキング拒否設定 308
その他の設定 309

タイマー設定

時間指定予約 310
オンタイマー 311
時刻読み上げ中止 312
無操作自動オフ 313
無信号自動オフ 314

機器設定

エコナビ 315
音声操作の設定 316
ＵＳＢ機器一覧 317
録画設定 318
タッチパッドリモコン設定 319
Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ設定 320
制限項目設定 321
表示の設定 322
ＨＤＣＰ設定 323
ＨＤＭＩオート設定 324
ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定 325
かんたん設置設定 327
設置設定 328
システム設定 329
その他の設定 330

困ったときは

サポート情報

ヘルプメニューを使う 331

故障かな！？の前にご確認ください

画質がおかしい 332
テレビ放送（共通）の映像が乱れる、画面表示がおかしい 333
地上デジタル放送が映らない、映像が乱れる 335
衛星デジタル放送（ＢＳ，１１０度ＣＳ）が映らない、映像が乱れる 336
デジタル放送（共通）が映らない、字幕が出ない 338
音声がおかしい 339
テレビ本体から異音がする、テレビ本体が熱くなる 340
リモコンが反応しない、リモコンで操作できない 341
ＳＤメモリーカードが再生できない 343
インターネットに接続できない、接続が切れる 344
アクトビラが動かない、つながらない 345
録画ができない、予約が実行されない 346
再生ができない、録画した番組が消える 347
番組表が出ない、表示がおかしい 348
接続した機器の映像や音声が出ない、入力表示が消えない 349
ビエラリンク（ＨＤＭＩ）で接続した機器が操作できない、正しく動作しない 351
ＵＳＢハードディスクへ録画や編集ができない、再生映像が乱れる 352

インターネットを通じて、お客様サポート（ホームページ）を見る

本機のサポート情報を見る 355

まずお読みください

ビエラ操作ガイドについて

ビエラ操作ガイドをお使いになる前に

［決定］：

［　］で表示している文字は、リモコンボタンを示します。

メニュー：

青色で表示している文字は、テレビ画面に表示される文字を示します。

：

ビエラ操作ガイド中の参照先を示します。

1 - 9 ：

アイコンが表示されているときに数字ボタンを押すと、詳しい説明のページに切り換わります。

📖 ：

紙の取扱説明書の参照先を示します。

- 画面下部にこの機能を使ってみるが表示されているときに［ ■ （赤）］ボタンを押すと、ビエラ操作ガイドを終了し、実際の操作画面に切り換わります。
- ビエラ操作ガイドの使い方は、📖 取扱説明書をご覧ください。
- ビエラ操作ガイドでのイラストや画面は、イメージであり、実際と異なる場合があります。
- 当社ホームページから最新の取扱説明書やビエラ操作ガイド（ＰＤＦ形式）を閲覧したり、ダウンロードすることができます。

  お手持ちのパソコンでご覧ください。

  http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html

= お知らせ =

- ビエラ操作ガイドの記載内容（ＵＲＬや動作条件など）は、2015 年 3 月現在の情報に基づいて作成しています。
- 画面や記載内容は予告なく変更する場合があります。

お使いになる前に

録画内容の保管について

- ＵＳＢハードディスクは録画した内容の一次的な保管場所としてお使いください。
  - 大切な内容はディーガで録画したあと、ディスクにダビング（または移動）されることをおすすめします。
  - ＵＳＢハードディスクに録画した内容は、ＬＡＮ接続でダビング対応のディーガにダビング（または移動）できます。

= お知らせ =

- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下をご参照ください。

テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

ＳＤメモリーカードの廃棄 / 譲渡について

- パソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、ＳＤメモリーカード内のデータは完全に消去されません。
  - 廃棄の際は、ＳＤメモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってＳＤメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
  - 譲渡の際は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってＳＤメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
- ＳＤメモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

記録内容などの損害・損失について

- 何らかの不具合により、接続した機器に正常に録画できなかった場合の補償、録画した内容の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。
- アクトビラ有料サービスの購入情報やメールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が紛失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

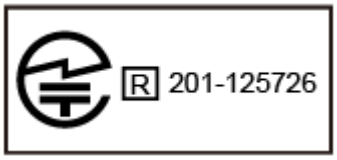
- 録画機器などで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

認証ＩＤについて

- 本機は工事設計認証済みの無線装置を装着しています。

無線ＬＡＮ装置　ＤＮＵＡ－Ｐ７５Ｂ

Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ装置　ＤＢＵＢ－Ｐ７０５



こんなことができます（本機の特長）

４Ｋ映像の視聴

４Ｋ出力対応機器を本機のＨＤＭＩ端子に接続して、ハイビジョンの約４倍の解像度を持つ４Ｋ映像コンテンツを視聴できます。

テレビを見る > ４Ｋ映像を見る

ホーム画面

ホームとは、テレビやアプリ、外部機器などを使いやすくするための画面です。

テレビ放送やインターネットサービスなどのアプリ、接続した外部機器など、すべてのコンテンツを簡単に起動することができます。

ホームを使う > ホーム画面を操作する > ホームについて

録画（録画予約）、再生

本機からＵＳＢハードディスクに録画したり、ディーガに録画予約できます。また、ＵＳＢハードディスクに録画を続けながら、録画開始時点から再生できる「追っかけ再生」に対応しています。

録画する > 見ている番組を録画する

録画する > 録画予約をする

メディアプレーヤー > 録画した番組を再生・編集する

音声タッチパッドリモコン

音声操作機能やインターネットなどの画面操作がタッチパッドを使って簡単に操作できます。

→ いろいろな機能 > 音声タッチパッドリモコンを使う

エコナビ

視聴環境や使用環境に応じて、本機が自動的に本機および周辺機器を制御して、消費電力を低減します。

テレビを見る > テレビの節電機能（エコナビなど）を設定する > テレビの節電機能（エコナビなど）について

インターネット

インターネットに接続すると、動画サイトにアクセスして映画やドラマを見たり、知りたい情報をＷｅｂサイトで閲覧するなどインターネットサービスが利用できます。

ネットワーク > インターネットを利用する

お部屋ジャンプリンク

本機をネットワークに接続すると、他の部屋にあるお部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）に対応したディーガに記録した録画番組などを本機で楽しむことができます。

ネットワーク > お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）> お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）を使う

スマートアプリ機能

本機をネットワークに接続し、スマートフォンやタブレット端末などにスマートアプリをインストール・設定すると、スマートフォンやタブレット端末などで以下のような機能が利用できます。

■ ＴＶリモート

スマートフォンやタブレット端末などを本機のリモコンとして使用することや、スマートフォンやタブレット端末などのコンテンツを本機に転送したり、本機に転送したコンテンツを他のスマートフォンやタブレット端末などにダウンロードして共有できます。

また、ＵＳＢハードディスク内のコンテンツや、本機で受信している放送などをスマートフォンやタブレット端末などで視聴できます。

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ＴＶリモートの設定をする

■ メディアアクセス

外出先や家の中で現在放送中の番組、本機に接続したＵＳＢハードディスクやディーガに保存している録画番組を、スマートフォンやタブレット端末などで視聴できます。

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > メディアアクセス機能を設定する

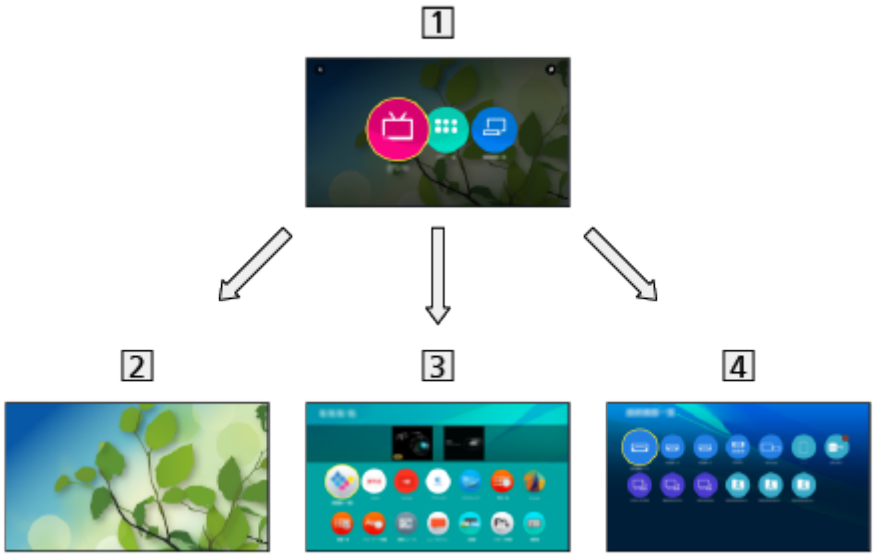
ホームを使う

ホーム画面を操作する

ホームについて

ホームとは、テレビやアプリ、外部機器などを使いやすくするための画面です。

ホームでは、以下の例のように、テレビ放送やインターネットサービスなどのアプリ、接続した外部機器など、すべてのコンテンツを簡単に起動することができます。



1 ホーム画面

2 テレビ画面

- テレビ放送を視聴する

ホームを使う > テレビ画面を操作する

3 アプリ一覧画面

- いろいろなアプリケーション（番組表やインターネットサービスなど）を使う

ホームを使う > アプリ一覧画面を操作する

4 接続機器一覧画面

- 接続した外部機器（ＨＤＭＩ機器、ＵＳＢハードディスク、ネットワーク機器など）を使う

ホームを使う > 接続機器一覧画面を操作する

= お知らせ =

- ソフトウェアの更新についてのメッセージが表示された場合は、画面の表示内容に従ってソフトウェアの更新を行ってください。ソフトウェアの更新を行わない場合は、ホームの機能が一部ご利用いただけないことがあります。

  ソフトウェアは、あとから手動で更新することもできます。

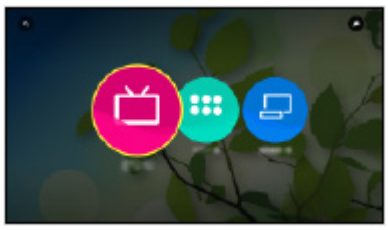
  ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ソフトウェアの確認と更新をする

ホームを操作する

ホームから、テレビ放送やメディアプレーヤー、インターネットサービス、データサービス、外部機器などすべてのコンテンツを選択して各種機能を楽しむことができます。

1. ［ホーム］ボタンを押す

   （例）



2. テレビ / アプリー覧 / 接続機器一覧から選び、［決定］ボタンを押す

- テレビ放送を見るには、テレビを選択します。

（例）

■ 使いかたガイドを表示する

ホームの使い方を案内します。

1. ［ホーム］ボタンを押す
2. 画面右上の（使いかたガイドアイコン）を選び、［決定］ボタンを押す
3. 画面の表示内容に従って操作する

■ コンテンツを検索する

キーワードを入力して番組表や録画番組、インターネットなどからコンテンツを検索します。

- インターネットコンテンツを検索するには、本機をインターネットに接続する必要があります。

  → ネットワーク > ネットワークに接続する

  → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

1. ［ホーム］ボタンを押す
2. 画面左上の（検索アイコン）を選び、［決定］ボタンを押す
3. 画面の表示内容に従って検索する

ホームに機能を登録する

ホーム画面にお気に入りの機能を登録することができます。

1. ［ホーム］ボタンを押す
2. テレビ / アプリ一覧 / 接続機器一覧から選び、［決定］ボタンを押す
3. 登録する機能（チャンネルやアプリ、外部機器）を選び、［サブメニュー］ボタンを押す
4. ホームに登録を選び、［決定］ボタンを押す

- 登録する機能（チャンネルやアプリ、外部機器）を選び、音声タッチパッドリモコンの［★（ホームに登録）］ボタンを押して登録することもできます。
- ホームに登録した機能を削除するには

ホームを使う > ホーム画面を操作する > ホーム画面に関する操作をする

ホーム画面に関する操作をする

1. ホーム画面で操作する機能を選び、［サブメニュー］ボタンを押す
2. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   ホームから削除 / 移動

   - 表示される項目はホーム画面により異なる場合があります。
3. 項目ごとに設定する

ホームから削除

ホームに登録した機能（チャンネルやアプリ、外部機器）を削除します。

移動

ホームに登録した機能（チャンネルやアプリ、外部機器）の位置を移動します。

- 画面の表示内容に従って操作してください。

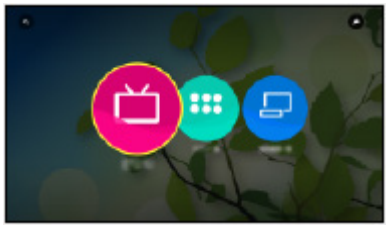
テレビ画面を操作する

テレビを視聴する

ホーム画面からテレビ放送を視聴します。

1. ［ホーム］ボタンを押す
2. テレビを選ぶ

   （例）



3. ［決定］ボタンを押す

   （例）

- テレビ放送の視聴については

  → テレビを見る > テレビ放送を見る

- ホームにお気に入りのチャンネルを登録するには

  → ホームを使う > ホーム画面を操作する > ホームに機能を登録する

テレビ画面に関する操作をする

1. テレビ画面表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
2. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   ホームに登録 / ホームから削除 / 音声ガイドの設定 / 視聴オプション

   - 表示される項目はテレビ画面により異なる場合があります。
3. 項目ごとに設定する

ホームに登録

ホームに視聴中のチャンネルを登録します。

ホームを使う > ホーム画面を操作する > ホームに機能を登録する

ホームから削除

ホームに登録したチャンネルを削除します。

音声ガイドの設定

音声ガイド機能を設定します。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声ガイドの設定をする

視聴オプション

番組視聴中に関連する機能を設定します。

テレビを見る > テレビ放送を見る > 番組視聴中に関連機能を設定する

- 表示される項目はテレビ番組により異なる場合があります。

アプリ一覧画面を操作する

アプリを使う

ホーム画面からアプリ一覧画面を表示し、番組表、予約一覧、インターネットサービスなどのアプリを操作します。

1. ［ホーム］ボタンを押す
2. アプリ一覧を選び、［決定］ボタンを押す
   - ［アプリ］ボタンを押してアプリ一覧画面を表示することもできます。

   （例）

   - アプリ一覧画面を終了するには［戻る］または［元の画面］ボタンを押します。
   - ホームにお気に入りのアプリを登録するには

     → ホームを使う > ホーム画面を操作する > ホームに機能を登録する
3. アプリを選び、［決定］ボタンを押す
4. 画面の表示内容に従って操作する

= お知らせ =

- 利用できるサービス内容や画面は予告なく変更する場合があります。
- 本機をインターネット（ブロードバンド環境）に接続したときに利用できるアプリがあります。

アプリー覧画面に関する操作をする

1. アプリー覧画面で操作するアプリを選び、［サブメニュー］ボタンを押す
2. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   ホームに登録 / ホームから削除 / 移動 / ロック／ロックを解除 / 削除 / 情報を見る
3. 項目ごとに設定する

ホームに登録

ホームに選択したアプリを登録します。

→ ホームを使う > ホーム画面を操作する > ホームに機能を登録する

ホームから削除

ホームに登録したアプリを削除します。

移動

アプリー覧画面でアプリの位置を移動します。

ロック／ロックを解除

アプリの使用を制限したり解除します。

- 使用を制限したアプリを利用するときに、暗証番号の入力画面になります。

→ いろいろな機能 > 制限項目や暗証番号に関する設定をする > 制限項目を設定する

削除

アプリー覧画面からアプリを削除します。

- 画面の表示内容に従って操作してください。
- 一部、削除できないアプリがあります。

情報を見る

選択したアプリに関する情報を表示します。

接続機器一覧画面を操作する

接続した外部機器を使う

接続した外部機器（ＨＤＭＩ機器、ＵＳＢハードディスク、ネットワーク機器など）を視聴する

1. ［ホーム］ボタンを押す
2. 接続機器一覧を選び、［決定］ボタンを押す

   （例）

   - 接続機器一覧画面を終了するには［戻る］または［元の画面］ボタンを押します。
   - ホームにお気に入りの機器を登録するには

     → ホームを使う > ホーム画面を操作する > ホームに機能を登録する

3. 接続機器を選び、［決定］ボタンを押す

- ＨＤＭＩ接続などの外部機器

  → テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く

- ＵＳＢハードディスクやネットワーク機器など

  → メディアプレーヤー

- お部屋ジャンプリンク対応機器

  → ネットワーク > お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）

- ミラーリング機能に対応したスマートフォンやタブレット端末などの機器

  → いろいろな機能 > ミラーリング機能を使う

= お知らせ =

- 利用できる接続機器や画面は予告なく変更する場合があります。

接続機器一覧画面に関する操作をする

1. 接続機器一覧画面で操作する機器を選び、［サブメニュー］ボタンを押す
2. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す
   ホームに登録 / ホームから削除 / 音声ガイドの設定 / 情報を見る
3. 項目ごとに設定する

ホームに登録

ホームに選択した機器を登録します。

ホームを使う > ホーム画面を操作する > ホームに機能を登録する

ホームから削除

ホームに登録した機器を削除します。

音声ガイドの設定

音声ガイド機能を設定します。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声ガイドの設定をする

情報を見る

選択した機器に関する情報を表示します。

テレビを見る

テレビ放送を見るための準備をする

アンテナ線を接続する

ケーブルを取り付け / 取り外しする前に、機器のコンセントを抜いてください。

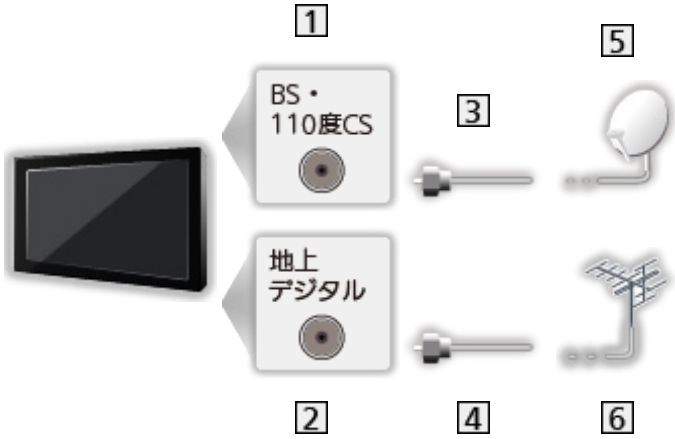
接続図は一般的な例であり、アンテナとの接続方法によって新たにご準備いただくもの（ケーブル・分配器・分波器・アンテナプラグなど）は変わります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

- 地上デジタル放送の電波が強すぎて映像が不安定になる場合は、地上デジタル受信設定のアッテネーターをオンにしてください。

  いろいろな機能 > 地域やチャンネルなど設置に関する設定をする > 設置設定をする

- 接続方法の詳細については、📖 取扱説明書をご覧ください。

■ 一戸建てなど、個別のアンテナで受信する場合



1 ＢＳ・１１０度ＣＳ－ＩＦ入力

2 地上デジタル入力

3 衛星用同軸ケーブル（市販品）

4 同軸ケーブル（市販品）

5 ＢＳ・１１０度ＣＳデジタルハイビジョンアンテナ

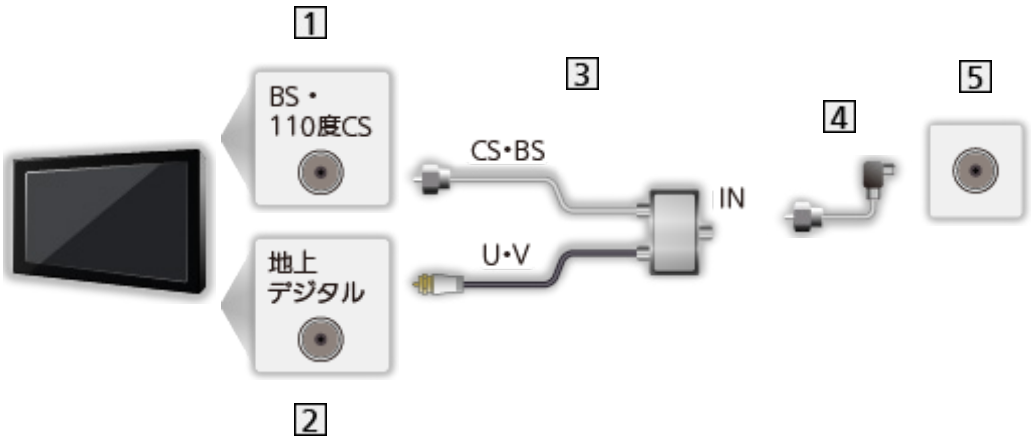
6 地上デジタル放送用ＵＨＦアンテナ

= お知らせ =

- 衛星受信設定のアンテナ電源をオンにして、調整してください。

  いろいろな機能 > 地域やチャンネルなど設置に関する設定をする > 設置設定をする

■ マンションなど、共同のアンテナで受信する場合



1 ＢＳ・１１０度ＣＳ－ＩＦ入力

2 地上デジタル入力

3 ＣＳ・ＢＳ／Ｕ・Ｖ分波器（別売品）

4 同軸ケーブル（市販品）

5 壁面アンテナ端子

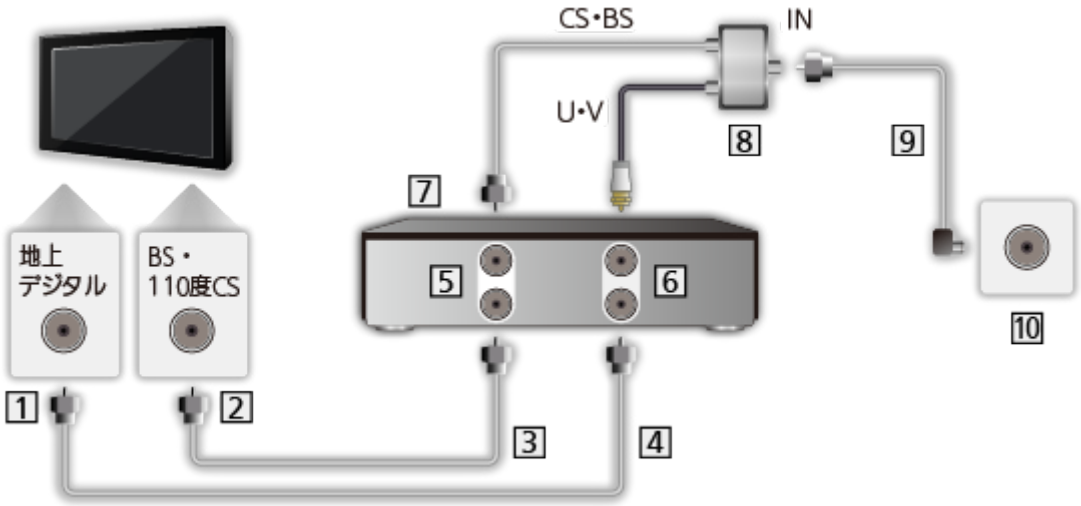
= お知らせ =

- 衛星受信設定のアンテナ電源をオフにしてください。

  → いろいろな機能 > 地域やチャンネルなど設置に関する設定をする > 設置設定をする

■ ディーガなどの録画機器を接続するときの一例

マンションなどの共同受信の場合に、地上デジタル、ＢＳ・ＣＳチューナー内蔵の録画機器を接続するときの例です。詳しくは接続機器の取扱説明書でご確認ください。



1 地上デジタル入力

2 ＢＳ・１１０度ＣＳ－ＩＦ入力

3 衛星用同軸ケーブル（市販品）

4 同軸ケーブル（市販品）

5 ＢＳ・１１０度ＣＳ－ＩＦ端子

6 地上デジタル端子

7 録画機器

8 ＣＳ・ＢＳ／Ｕ・Ｖ分波器（別売品）

9 同軸ケーブル（市販品）

10 壁面アンテナ端子

= お知らせ =

- ビエラリンクの接続については、以下をご参照ください。

  → いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > ビエラリンクの概要
- 接続図に記載されている外部機器やケーブルは、本機には付属されておりません。
- 接続機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 映像や音の乱れ、誤動作を避けるため、本機を、電子機器や赤外線リモコンで操作する機器から離して設置してください。
- ＨＤＭＩ規格に準拠したケーブルをご使用ください。
- ケーブルを接続する前に、端子の形状が一致していることを確認してください。

かんたん設置設定をする

かんたん設置設定を行うと、テレビ番組を視聴するために必要な設定画面を表示します。

- 引っ越しなどで設定をやり直すときは、かんたん設置設定を行ってください。
- 事前にアンテナ線の接続を確認してください。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > かんたん設置設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 画面の表示内容に従って設定する

テレビ放送を見る

テレビ放送を選局する

1. 放送切換ボタンを押して、放送の種類を選ぶ

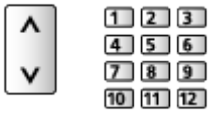
   ［地上］：地上デジタル（地上Ｄ）放送

   ［ＢＳ］：ＢＳデジタル放送

   ［ＣＳ］：１１０度ＣＳデジタル放送（スカパー！）

   - ［ＣＳ］は押すたびにＣＳ１とＣＳ２が切り換わります。

2. ［チャンネル］ボタン、または［１～１２］ボタンで選局する



   - ３桁のチャンネル番号を入力して選局するときは
     1) ［サブメニュー］ボタンを押して視聴オプションを選び、［決定］ボタンを押す
     2) ３桁入力選局を選び、［決定］ボタンを押す

        （例：「１０１」チャンネルを選ぶときは［1］［１０］［1］ボタンを押す）
   - 地上デジタル放送で枝番が異なる放送を選局するときは
     1) ［サブメニュー］ボタンを押して視聴オプションを選び、［決定］ボタンを押す
     2) 枝番選局を選び、［決定］ボタンを押す

     - 枝番とは同じチャンネル番号の放送が複数受信できた場合に追加される区別番号のことです。
     - ［緑］ボタンを押すと、選択中の放送局に主選局を表示します。チャンネル番号入力時は、この主選局のある放送局が選局されます。

＝ お知らせ ＝

- 本機では４Ｋの放送は受信できません。

■ チャンネルボタンでの選局対象を設定する

デジタル放送のとき、［チャンネル］ボタンで順送りできるチャンネルを選択します。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > その他の設定 > 選局対象を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定チャンネル / テレビ / すべてから選び、設定する

   設定チャンネル：

   リモコンの［１～１２］ボタンに設定されているチャンネルと、チャンネル設定で設定したチャンネル。

   テレビ：

   テレビ放送（映像＋音声）のチャンネルのみ。

   すべて：

   現在放送されている、すべてのチャンネル。

■ 番組表を使って選局する

1. ［番組表］ボタンを押して番組表を表示する
2. 放送切換ボタンを押して、放送の種類を選ぶ

   ［地上］：地上デジタル（地上Ｄ）放送

   ［ＢＳ］：ＢＳデジタル放送

   ［ＣＳ］：１１０度ＣＳデジタル放送（スカパー！）

   - ［ＣＳ］は押すたびにＣＳ１とＣＳ２が切り換わります。
3. 現在放送している番組を選び、［決定］ボタンを押す

   - 直前に見ていた番組を画面左上に表示します。
4. 今すぐ見るを選び、［決定］ボタンを押す

テレビを見る > 番組表の使い方 > 番組表について

データ放送を見る

- デジタル放送を見ているときに、画面に表示される説明に従い操作すると、いろいろな情報を見ることができます。
- 本機ではインターネット（ＬＡＮ）接続による双方向（データ放送）サービスに対応しています。ただし、電話回線を直接本機に接続することによる双方向（データ放送）サービスはご利用になれません。
- 本機はデータ放送のハイブリッドキャストに対応しています。
本機をインターネットに接続し、［データ］ボタンを押すとご利用いただけます。
- 本機でハイブリッドキャストを利用する場合は、ハイブリッドキャストをオンに設定してください。

テレビを見る > テレビ放送を見る > ハイブリッドキャストの設定をする

■ データ放送を見る

1. デジタル放送を見ているときに［データ］ボタンを押す
   - 情報が多いときは、表示に時間がかかります。
   - 番組によっては、データ放送が表示されない場合があります。
2. 見たい項目を選び、［決定］ボタンを押す

- デジタル放送に戻るときは、もう一度［データ］ボタンを押す
- 番組によりカラーボタンなどを使った専用の選択画面や数字入力画面を表示します。表示内容に従って操作してください。
- データ放送があるか確認するには、番組表や検索結果などから確認したい番組を選び、［決定］ボタンを押す
  - 番組内容画面に「データ」、「＋ｄテレビ」、「ｄラジオ」などのアイコンが表示された番組はデータ放送があります。（アイコンが表示されない番組もあります）

= お知らせ =

- ２画面のときは、データ放送を表示できません。

ハイブリッドキャストの設定をする

ハイブリッドキャストをご利用になる場合に設定します。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > その他の設定 > ハイブリッドキャストを選び、［決定］ボタンを押す
3. オンを選び、設定する

= お知らせ =

- ハイブリッドキャストをご利用になるにはブロードバンド環境に対応したネットワークへの接続と設定が必要です。ネットワーク接続とネットワーク設定ができていることを確認してください。

  ネットワーク > ネットワークに接続する

  ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

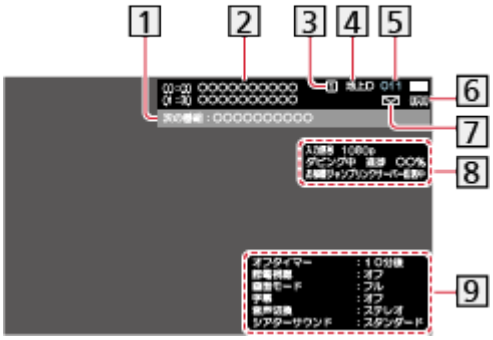
- 接続環境によっては、インターネット接続が遅かったり接続できないことがあります。
- 操作方法は、放送局によって異なる場合があります。画面の表示内容に従って操作してください。
- 画面の操作ガイドは、リモコンの表記と異なる場合があります。

番組情報を確認する

● 番組視聴中に［画面表示］ボタンを押して、情報を表示します。

- 番組情報はチャンネル選局したときにも表示します。

（例）



1 次の番組の紹介（3分前から表示）

2 視聴中の番組の放送時間・タイトル

3 リモコンボタン表示

4 放送の種類

5 チャンネル番号

6 現在時刻

7 放送メール表示

8 入力信号の種類や実行中の録画番組、ダビングの進捗、お部屋ジャンプリンクサーバー配信などを表示

9 オフタイマー残り時間や画面モード、音声などを表示

= お知らせ =

- 画面表示は数秒で、放送とチャンネル番号などの小さな表示になります。

タイトル表示を設定する

選局時の番組タイトル文字サイズを設定します。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > 表示の設定 > タイトル表示を選び、［決定］ボタンを押す
3. オン（大） / オン（標準） / オフから選び、設定する

   オン（大）：

   チャンネルを変えたときなどに、番組のタイトルなどの文字を大きく表示します。

   オン（標準）：

   チャンネルを変えたときなどに、番組のタイトルなどの文字を標準の大きさで表示します。

   オフ：

   タイトルを表示しません。（チャンネル番号は表示します）オフに設定しても、［画面表示］ボタンを押したときは、タイトル表示します。

番組視聴中に関連機能を設定する

関連する機能を表示します。

1. テレビ放送を視聴中に［サブメニュー］ボタンを押す
2. 視聴オプションを選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す
   - 「テレビ放送を見る」に関連する機能項目

     視聴制限一時解除 / アンテナレベル / 信号切換 / データ放送表示オフ
4. 項目ごとに設定する

視聴制限一時解除

制限解除のための暗証番号の登録または入力画面を表示します。

アンテナレベル

アンテナレベルはアンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。
表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。
アンテナレベルは天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。
また、アンテナシステムの条件などによって、変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。

- 受信可能なアンテナレベル（目安）

  地上デジタル　４４以上

  衛星　５０以上
- 地上デジタル放送の場合は、さらに［決定］ボタンを押すと、受信状況の一覧を確認できます。
- ＢＳや１１０度ＣＳデジタル放送以外の衛星電波を受信中は他の衛星受信中と表示されます。

信号切換

（マルチビュー / 映像 / 音声 / 二重音声 / データ / 字幕 / 字幕言語）

- １つの番組に複数の映像や音声がある放送（マルチビュー放送）のときに番組内の映像を切り換える場合は、マルチビュー / 映像を選び設定します。
  - マルチビュー対応の放送は、2015 年 3 月現在では行われておりません。
- 信号切換で表示される設定項目は番組によって変わります。
- マルチビュー、映像、音声、二重音声、データの設定項目は、番組によって変わります。

データ放送表示オフ

データ放送の表示を中止できるときに表示します。

字幕の設定をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > 表示の設定 > 字幕の設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す
   字幕 / 字幕言語 / 文字スーパー / 文字スーパー言語
4. 項目ごとに設定する

字幕

(オン / オフ)

オンに設定すると、字幕を表示します。

- 字幕のない番組や設定した言語の字幕がない場合、字幕は表示されません。
- ［字幕］ボタンを押しても、字幕のオン / オフを切り換えます。

字幕言語

(日本語 / 英語)

字幕で表示したい言語を選択します。

文字スーパー

(オン / オフ)

オンに設定すると、文字スーパーを表示します。

- 文字スーパーのない番組や設定した言語の文字スーパーがない場合、文字スーパーは表示されません。

文字スーパー言語

(日本語 / 英語)

文字スーパーで表示したい言語を選択します。

= お知らせ =

- ２画面表示での右画面には、字幕を表示することができません。
- 強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。

音声を切り換える

２カ国語放送などの音声を切り換えます。

●［音声切換］ボタンを１回押すと、現在の音声を表示します。

- 続けて押すたびに、音声が切り換わります。（切り換えのできる音声があるときのみ）
- ２カ国語（二重）放送のときの一例

  主（日本語）→　副（外国語）→　主＋副（日本語＋外国語）→　主（日本語）…

= お知らせ =

- 電源を「切」「入」すると、元の音声（２カ国語放送のときは主）に戻ります。
- 放送によっては、主で外国語、副で日本語や主で日本語、副で日本語（解説）などの場合があります。
- 接続した機器でＤＶＤなどを見ているときは、接続機器側で切り換えてください。

スピーカーとイヤホン音声の同時出力を切り換える

ヘッドホン / イヤホンを挿入しているとき、本機スピーカーからも音声出力する設定をします。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 音声調整 > スピーカーとイヤホン音声の同時出力を選び、［決定］ボタンを押す
3. する / しないを選び、設定する

- するに設定すると、スピーカーとヘッドホン / イヤホンの両方から音声が出力されます。
- スピーカーの音量は［音量］ボタンで調整できます。
- ヘッドホン / イヤホンの音量はヘッドホン／イヤホン音量で調整できます。

= お知らせ =

- ヘッドホン / イヤホンを挿入してスピーカーとイヤホン音声の同時出力をしないに設定しているときは、リモコンの［音量］ボタンでも、ヘッドホン / イヤホンの音量調整ができます。
- ヘッドホン / イヤホンを挿入してスピーカーとイヤホン音声の同時出力をするに設定しているときは、本体の［音量］ボタンで、ヘッドホン / イヤホンの音量調整ができます。
- リモコンや本体の［音量］ボタンで、ヘッドホン／イヤホンの音量を調整したときは、画面下にヘッドホン／イヤホン音量を表示します。

放送中の画面を静止する

放送番組の視聴中に画面を静止させることができます。（音声は放送中の状態のまま）

● ［静止］ボタンを押す

- 画面右上に静止と表示され、画面が静止します。
- もう一度押すと、放送中の画面に戻ります。

= お知らせ =

- 動きのある映像を静止した場合、斜めの線などが乱れることがあります。
- 本機の操作をしないとき、約１０分で静止状態は解除されます。
- 見るだけ予約が開始されると静止状態は解除されます。

放送メールやＢ－ＣＡＳカードなどの各種情報を見る

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > システム設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す
   放送メール / Ｂ－ＣＡＳカード / ボード / ライセンス情報 / ルート証明書
4. 項目ごとに設定する

放送メール

放送局や本機からのお知らせや情報を見ることができます。（インターネットメールではありません）

確認したいメールを選び、［決定］ボタンを押すと放送メールの内容を表示します。

- 未読、既読を表示します。

= お知らせ =

- 放送メールには、放送局からのお知らせ（最大３１通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の１通のみ保存）などがあります。
- 放送メールの下の部分に、ダウンロード予約のボタンが表示されることがあります。

Ｂ－ＣＡＳカード

Ｂ－ＣＡＳカードの番号などの情報を確認します。

ボード

（ＣＳ１ボード / ＣＳ２ボード）

１１０度ＣＳデジタル放送から送られるボードの情報を確認します。

ライセンス情報

（ソフト情報表示）

本機のソフトウェアライセンス情報を表示します。

ルート証明書

データ放送時のルート証明書の情報を表示します。

- 本機のバージョンなどの情報を確認するには

  困ったときは > サポート情報 > ヘルプメニューを使う

タイマー機能や時計表示を設定する

タイマーで電源を切る（オフタイマー）

自動的に電源を切りたい時間（３０分後、６０分後、９０分後）を選びます。

● ［オフタイマー］ボタンを押す

- 押すたびに時間が切り換わります。

- オフを選択すると、オフタイマーは解除されます。
- オフタイマーの残り時間を知りたいときは［画面表示］ボタンを押して情報を表示してください。

テレビを見る > テレビ放送を見る > 番組情報を確認する

- 電源が切れる３分前から、３分後、２分後、１分後と点滅表示します。
- 電源が切れる３０秒前、２０秒前、１０秒前になると段階的に画面が暗くなり、音量が小さくなります。その間に本機を操作すると、画面と音量は元に戻ります。（オフタイマーは解除されません）

タイマーで電源を入れる（オンタイマー）

タイマーで自動的に電源を入れることができます。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. タイマー設定 > オンタイマーを選び、［決定］ボタンを押す
3. 再度オンタイマーを選び、入に設定して［決定］ボタンを押す
4. リモコンの［電源］ボタンで電源を切る

■ オンタイマーの設定を変更する

時刻や音量、放送とチャンネルなどを指定して電源を自動的に入れる設定をします。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. タイマー設定 > オンタイマーを選び、［決定］ボタンを押す
3. 再度オンタイマーを選び、切に設定して［決定］ボタンを押す
4. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す
   オンタイマー / 時刻 / 音量 / 放送／入力 / チャンネル
5. 項目ごとに設定する

オンタイマー

入に設定すると、オンタイマー機能が働きます。

オンタイマー機能を使わないときや設定を変更する場合は切に設定してください。

- オンタイマーを入に設定している場合、リモコンで電源を「切」にすると、待機状態であることを示すために本体の電源ランプが橙色になります。

時刻

電源が入る時刻を設定します。

音量

電源が入ったときの音量を設定します。

放送／入力

設定しない / 地上Ｄ / ＢＳ / ＣＳ１ / ＣＳ２ / すべての外部入力 から選択する。

- 電源を切る前まで見ていた放送または外部入力は設定しないに設定してください。

チャンネル

電源が入ったときのチャンネルを設定します。

- 「１～１２」に設定されているチャンネル
- 放送／入力が設定しない外部入力のときは「---」を表示
- 設定しないは電源を切る前まで見ていたチャンネル

チャンネル名

設定したチャンネルの放送局を自動的に表示します。

= お知らせ =

- オンタイマーの設定時刻になると電源が入り、自動的に６０分のオフタイマーが働いて、電源が切れます。続けてご覧になる場合は、電源が切れる前にオフタイマーをオフにしてください。
- オンタイマーの設定時刻になるとオンタイマーの設定は切になります。
- 本体の［電源］ボタンで電源を「切」にした場合は、オンタイマーは動作しません。
- オンタイマー機能をご利用になるには、デジタル放送用アンテナの接続と設定が必要です。

テレビを見る > テレビ放送を見るための準備をする > アンテナ線を接続する

時刻読み上げを設定する

オンタイマーで自動的に電源「入」したあと、一定時間ごとに時刻を読み上げる設定をします。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. タイマー設定 > オンタイマーを選び、［決定］ボタンを押す
3. 時刻読み上げ設定を選び、［決定］ボタンを押す
4. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   読み上げ / 読み上げ間隔
5. 項目ごとに設定する

読み上げ

するに設定すると、自動的に電源「入」後３０分まで時刻を読み上げます。

時刻を読み上げないときはしないに設定してください。

読み上げ間隔

５分 / ３分 / １分から選択する。

■ 自動的に電源「入」したあと、時刻読み上げを中止する

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. タイマー設定 > 時刻読み上げ中止を選び、［決定］ボタンを押す

時刻を表示する

画面左下に時刻を表示します。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > 表示の設定 > 時計表示を選び、［決定］ボタンを押す
3. オン / オフを選び、設定する
    - オンに設定すると、画面の左下に時刻を表示します。

= お知らせ =

- 放送中の番組と外部入力の映像にだけ表示されます。
    - 2画面のときは表示されません。
- テレビ番組の映像に表示される時刻とは一致しないことがあります。
- 時計表示機能をご利用になるには、デジタル放送用アンテナの接続と設定が必要です。

テレビを見る > テレビ放送を見るための準備をする > アンテナ線を接続する

テレビの節電機能（エコナビなど）を設定する

テレビの節電機能（エコナビなど）について

視聴環境に応じて、本機の画面の明るさや画質を自動調整したり、接続している機器を制御して、消費電力を低減することができます。

テレビを見る > テレビの節電機能（エコナビなど）を設定する > エコナビを設定する

以下の場合、本機の電源が自動的に切れます。

- エコナビをおすすめ設定にしている
  - おすすめ設定に設定すると、無操作自動オフ、無信号自動オフが入に設定されます。
- オフタイマーを設定している

テレビを見る > タイマー機能や時計表示を設定する > タイマーで電源を切る（オフタイマー）

- 無操作自動オフを入に設定しているとき、約４時間以上本機の操作をしない
- 無信号自動オフを入に設定しているとき、約１０分間無信号状態が続く

= お知らせ =

- 自動的に電源が切れても、録画には影響ありません。

無操作自動オフを設定する

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. タイマー設定 > 無操作自動オフを選び、［決定］ボタンを押す
3. 入 / 切を選び、設定する

無操作自動オフ

(入 / 切)

約 4 時間以上、本機の操作をしないとき自動的に電源が切れます。

- 電源が切れる 3 分前から、切れるまでの残り時間（3、 2、 1）のメッセージを表示します。
- 設定によっては、リモコンで電源「切」時、消費電力が増えることがあります。
- 以下のときは無操作自動オフ機能は働きません。
  - アクトビラを表示しているとき
  - ビエラ操作ガイドを表示しているとき

無信号自動オフを設定する

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. タイマー設定 > 無信号自動オフを選び、［決定］ボタンを押す
3. 入 / 切を選び、設定する

無信号自動オフ

（入 / 切）

無信号の状態で約１０分間本機の操作をしないとき、不要な消費電力を削減するため、自動的に電源が切れます。（工場出荷時は入に設定）

- 電源が切れる３分前から、切れるまでの残り時間（３、２、１）のメッセージを表示します。
- メッセージなどを表示中は電源が「切」にならない場合があります。
- ２画面のときは左画面で約１０分間無信号が続くと電源が「切」になります。
- 以下のときは無信号自動オフ機能は働きません。
  - ビデオがブルーバックのときや再生が終了した接続機器から映像信号が出力されているとき
  - アクトビラを表示しているとき
  - ビエラ操作ガイドを表示しているとき

エコナビを設定する

視聴環境に応じて、自動的に最適な節電モードになります。

節電に関する各設定項目を表示します。おすすめ設定を選択すると、各項目が一度に、節電に適した設定になります。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > エコナビを選び、［決定］ボタンを押す
3. おすすめ設定を選び、［決定］ボタンを押す

- おすすめ設定に設定すると、無操作自動オフ、無信号自動オフも入に設定されます。

  また、ＥＣＯスタンバイ、こまめにオフが自動的にオンに設定されます。

  → いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > ＥＣＯスタンバイ

  → いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > こまめにオフ

■ 省電力モードを設定する

消費電力を抑えるために、画面の明るさを低減します。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > エコナビ > 省電力モードを選び、［決定］ボタンを押す
3. オンを選び、設定する

■ エコナビ表示を設定する

明るさオート / こまめにオフ / 無信号自動オフで節電の効果が現れたときに、画面にメッセージなどを表示させます。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > エコナビ > エコナビ表示を選び、［決定］ボタンを押す
3. オンを選び、設定する

= お知らせ =

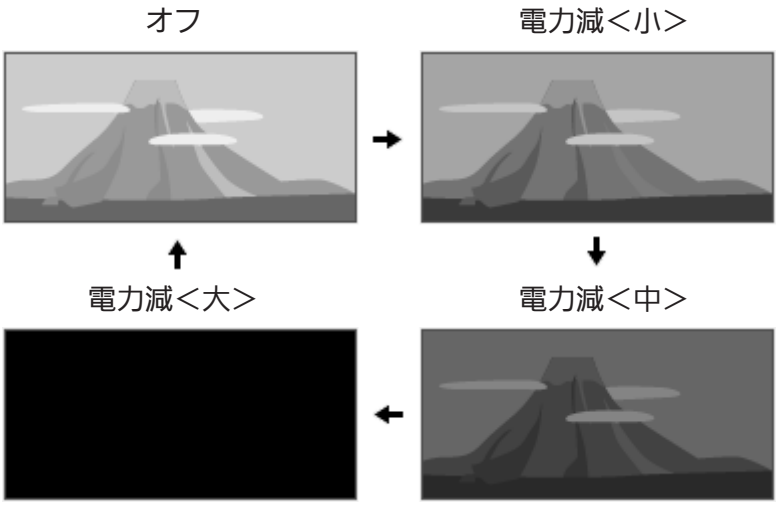
- エコナビ表示はエコナビでおすすめ設定を選んで［決定］ボタンを押すと、設定できます。
- 映像調整での明るさの設定によっては、表示内容が変化することがあります。

節電視聴を設定する

画面表示を暗くすることにより、消費電力を削減します。

● ［節電視聴］ボタンを押す

- ［節電視聴］ボタンを押すたびに切り換わります。



- 画面左下に最大電力　約○○%削減と表示されます。

= お知らせ =

- 電力減＜小＞ / 電力減＜中＞ / 電力減＜大＞に設定すると、最大消費電力に対して削減する電力の割合を数秒間表示します。
- 電力減＜大＞に設定すると、画面表示が消えた状態になり、音声のみのモードになります。
  - 音量・消音操作以外の操作をすると、オフに戻ります。
  - 電源を「切」「入」した場合、画面表示はオフの設定になります。

ＵＳＢハードディスクを休止状態にする

本機に接続したＵＳＢハードディスクを１０分以上操作（再生、録画、ダビングなど）しないとき、休止状態にします。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > 録画設定 > ＵＳＢ　ＨＤＤ機能待機を選び、［決定］ボタンを押す
3. オン / オフを選び、設定する

   オン：

   休止状態にしない。

   オフ：

   休止状態にする。（ＵＳＢハードディスクの消費電力を低減しますが、録画・再生・ダビングなどの準備にかかる時間が長くなります）

４Ｋ映像を見る

４Ｋ出力対応機器を接続する

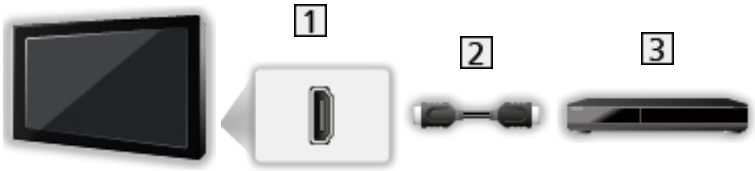
ハイビジョンの約４倍の解像度を持つ４Ｋ映像コンテンツを、本機で視聴することができます。

- 視聴可能な４Ｋ映像の入力信号については、以下をご参照ください。

  テレビを見る > ４Ｋ映像を見る > 視聴可能な４Ｋ映像の入力信号について

- ４Ｋ映像コンテンツを視聴するには、４Ｋ出力対応機器を、本機のＨＤＭＩ端子に４Ｋ対応のケーブルで接続してください。
- 接続方法の詳細については、取扱説明書をご覧ください。

■ ４Ｋ出力対応機器



1 ＨＤＭＩ端子

2 ＨＤＭＩケーブル（別売品）

3 ４Ｋ出力対応機器

- ケーブルを接続する前に、端子の形状が一致していることを確認してください。
- ＨＤＭＩ規格に準拠したケーブルをご使用ください。
  - ４Ｋ映像を視聴するときは、ＨＤＭＩロゴのある「High Speed HDMI ケーブル」をご使用ください。

ＨＤＭＩ端子のＨＤＣＰバージョンを設定する

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > ＨＤＣＰ設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 機器を接続したＨＤＭＩ端子を選び、設定する

ＨＤＣＰ設定

（オート / ２．２ / １．４）

視聴する４Ｋ映像コンテンツに応じて、ＨＤＣＰバージョンを選択してください。

- ＨＤＣＰとは、デジタルコンテンツの著作権保護技術です。
- ＨＤＣＰ設定の設定値はＨＤＭＩ入力ごとに記憶されます。
- ＨＤＭＩ入力の場合のみ設定できます。

ＨＤＭＩ端子で視聴可能な４Ｋ映像の入力信号を設定する

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > ＨＤＭＩオート設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 機器を接続したＨＤＭＩ端子を選び、設定する

ＨＤＭＩオート設定

（モード１ / モード２）

ＨＤＭＩ端子に入力した４Ｋ映像が正しく表示されない場合に、入力信号に合わせて設定します。

- ＨＤＭＩオート設定の設定値はＨＤＭＩ入力ごとに記憶されます。
- ＨＤＭＩ入力の場合のみ設定できます。

視聴可能な４Ｋ映像の入力信号について

■ ４Ｋ映像の入力信号

● ４Ｋ ＵＨＤ

3840 × 2160（24 Hz/30 Hz/60 Hz）

- 本機ではアスペクトをフルに固定して表示します。

● ＤＣＩ ４Ｋ

4096 × 2160（24 Hz/30 Hz/60 Hz）

- 本機では左右の映像をカットして、3840 × 2160 の解像度で表示します。
- 本機ではアスペクトを垂直フルに変換して表示します。

= お知らせ =

- これらの入力信号は、本機に最適な映像になるよう、変換して表示します。
- 本機では４Ｋの放送は受信できません。
- ４Ｋ映像のときのアスペクトについて、詳しくは以下をご参照ください。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画面モードを設定する

外部機器をつないで見る、聴く

外部機器を接続する

これらの接続図は、本機と外部機器を接続する一例です。その他の接続例については、外部機器の取扱説明書をご覧ください。

- 基本的な接続については、以下をご参照ください。

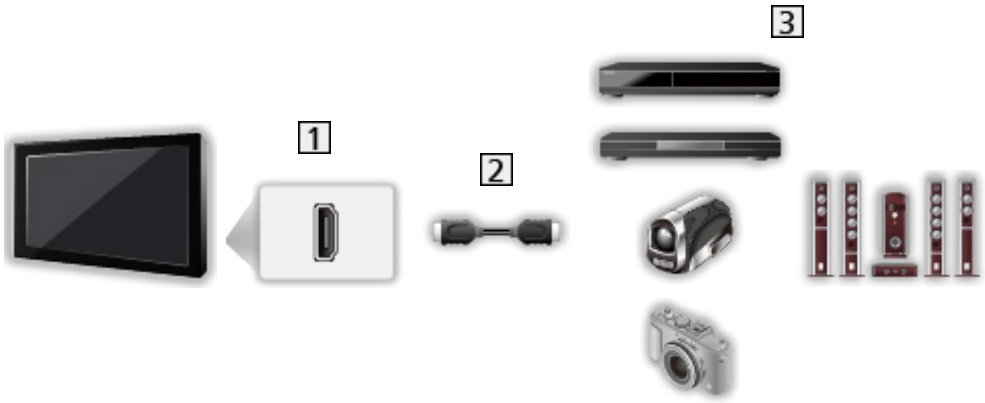
  テレビを見る > テレビ放送を見るための準備をする > アンテナ線を接続する

- Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ対応機器を使用するときは、以下をご参照ください。

  いろいろな機能 > Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ対応機器を使う

- ケーブルを接続する前に、端子の形状が一致していることを確認してください。
- 接続図に記載されている外部機器やケーブルは、本機には付属されていません。
- 接続方法の詳細については、📖 取扱説明書をご覧ください。

■ ＨＤＭＩ対応機器を接続する



1 ＨＤＭＩ端子

2 ＨＤＭＩケーブル（別売品）

3 レコーダー / プレーヤー / セットトップボックス / ビデオカメラ / アンプ

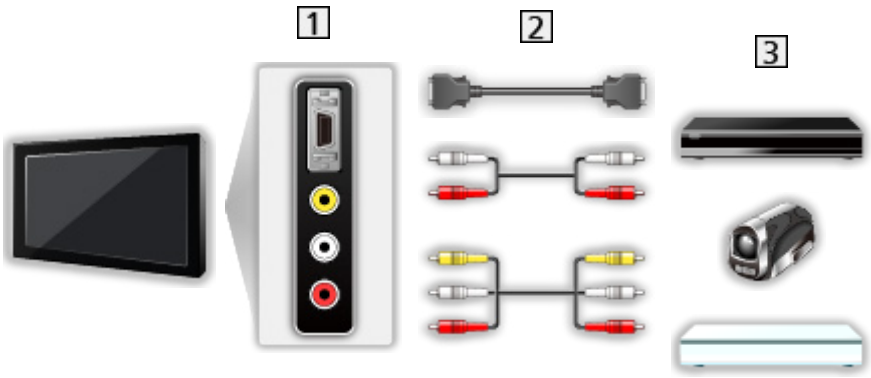
= お知らせ =

- ＨＤＭＩ規格に準拠したケーブルをご使用ください。
- ビエラリンクの接続については、以下をご参照ください。

  いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > ビエラリンクの概要

- ＡＲＣ対応のアンプを接続するときは、ＨＤＭＩ１に接続してください。

■ ＡＶ機器を接続する



1 ビデオ入力（Ｄ４端子 / 映像 / 音声）端子

2 D端子映像 / 音声ケーブル（市販品）または映像 / 音声ケーブル（市販品）

3 再生機器（ＤＶＤプレーヤーなど）

= お知らせ =

- Ｄ４映像端子に接続する場合、音声もお楽しみいただくには音声端子に音声ケーブルを接続してください。
- ＤＶＤプレーヤーなどのＤ１～Ｄ４映像出力のいずれかの端子と接続してください。
- 映像端子とD端子の両方に機器を接続すると、D端子の画像が映ります。

■ ＵＳＢ機器を接続する

1 ＵＳＢ端子

2 ＵＳＢケーブル

3 ＵＳＢハードディスク

= お知らせ =

- ＵＳＢ機器は、本機のＵＳＢ端子に直接、ＵＳＢケーブルで接続してください。
- 録画用のＵＳＢハードディスクは本機のＵＳＢ３（録画用）端子に接続してください。
- 本機に登録していないＵＳＢハードディスクを接続したときは、画面表示に従って登録・設定してください。
- 本機に、ＵＳＢカードリーダーを使って接続することはできません。
- ＵＳＢハブを使って複数のＵＳＢハードディスクを同時に接続することはできません。

  （本機に登録できるＵＳＢハードディスクは８台ですが、一度に使用できるＵＳＢハードディスクは１台です）
- 本機で動作確認済みのＵＳＢハードディスクについては、以下のホームページで最

新の情報を確認できます。

http://panasonic.jp/support/tv/

- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下も合わせてご参照ください。

テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

■ 外部スピーカー（シアターなど）を接続する

1 デジタル音声出力（光）端子

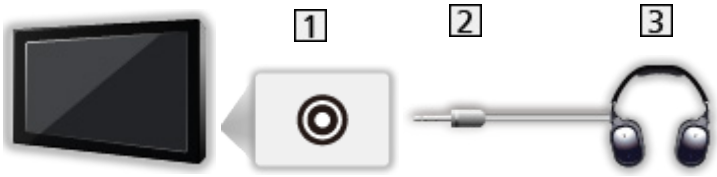
2 光デジタルケーブル（別売品）

3 アンプとスピーカーシステム

- 外部機器からの音声をマルチチャンネル（ドルビーデジタル ５．１ｃｈなど）で出力したいときは、外部機器とアンプを接続してください。接続について、詳しくは外部機器とアンプの取扱説明書をご覧ください。
- デジタル音声出力（光）の設定をするときは、デジタル音声出力を設定してください。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の詳細設定をする

■ ヘッドホンやイヤホンを接続する



1 ヘッドホン / イヤホン接続端子

2 Ｍ３ステレオプラグ

3 ヘッドホン / イヤホン

- ヘッドホンの音量を調整するときは、ヘッドホン / イヤホン音量を設定してください。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音量設定をする

- ヘッドホン / イヤホン接続時の音声出力を設定するには、スピーカーとイヤホン音声の同時出力を設定してください。

テレビを見る > テレビ放送を見る > スピーカーとイヤホン音声の同時出力を切り換える

外部機器の映像を見る、音声を聴く

外部機器を接続し、外部機器のコンテンツを本機で視聴します。

1. ［入力切換］ボタンを押して、機器を接続した入力端子を選択する
2. ［決定］ボタンを押す
   - 数字ボタンを押して、直接選ぶこともできます。
   - ビエラリンクをオンに設定すると、ＨＤＭＩケーブルで接続したビエラリンク対応機器が再生を始めたとき、自動的に画面が切り換わります。

     → いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > 簡単再生

- ［入力切換］ボタンを押すたびに、入力が切り換わります。
- ビデオ入力表示書換／スキップ設定を設定することによって、［入力切換］ボタンを押したときの表示を、接続した機器に合わせて書き換えたり、本機に接続している機器の入力のみ選べるようにできます。
- リモコンの外部機器操作ボタンで、外部機器の操作ができます。

  → テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > 本機のリモコンで外部機器を操作する
- テレビ放送の画面に戻りたいときは［元の画面］ボタンを押します。

= お知らせ =

- 外部機器がアスペクト切り換えできる場合は、１６：９に設定してください。
- 詳しくは、外部機器の取扱説明書をご覧ください。
- 映像端子とＤ端子の両方に機器を接続すると、Ｄ端子の画像が映ります。

■ ビデオ入力表示書換／スキップ設定

ビデオ入力表示書換／スキップ設定を設定することによって、［入力切換］ボタンを押したときの表示を、接続した機器に合わせて書き換えたり、本機に接続している機器の入力のみ選べるようにできます。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > 表示の設定 > ビデオ入力表示書換／スキップ設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 入力端子、および表示を選び、設定する
   - 接続機器一覧画面にも、ビデオ入力表示書換／スキップ設定で設定した名称を表示します。
   - 接続のない外部入力をスキップしたいときは、使用しない（スキップ）を選択してください。

ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

■ ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）について

本機はコンテンツ保護技術の「ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）」に対応しています。

ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを利用すると以下のようなことができます。

- 本機で録画した番組を、ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）に対応した本機以外のビエラで視聴する
- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のビエラに買い換えたり、故障で本機を修理しても、本機で録画した番組が視聴できる

= お知らせ =

- 録画した番組は、当社製の機器以外では視聴できない、または正しく再生できない場合があります。

■ ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる前に

以下の内容をご確認ください。

- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクが接続されていることを確認してください。
- ＵＳＢハードディスクに電源ボタンがある場合は、電源を「入」にしてください。
- 本機で録画する場合は、登録して録画用に設定する必要があります。

  （本機で再生または録画できないフォーマット形式の場合は、ＵＳＢハードディスクをフォーマットし、すべてのデータを消去します）

  - 本機以外のビエラで登録済みの場合は、本機に接続して録画用に設定すると録画できます。
  - 本機で再生できる形式でフォーマットされている場合は、再生機器として登録できます。
  - 接続時に登録のメッセージを表示した場合は、表示内容に従って登録・設定してください。
  - 接続時に登録していない場合は、機器設定のＵＳＢ機器一覧で本機に登録して録画用に設定できます。
  - 登録を削除したＵＳＢハードディスクは、本機で使用できません。本機で使用する場合は、再度登録を行ってください。
  - 本機に登録できるのは、容量が１６０ GB 以上のＵＳＢハードディスクです。
- 本機に登録済みの機器または、本機のＵＳＢ端子に接続されている機器はＵＳＢ機器一覧画面で確認できます。
- 本機に登録できるＵＳＢハードディスクは８台までです。そのうち、録画用に設定できるＵＳＢハードディスクは１台です。
- 外部入力からの映像（番組）は録画できません。
- 録画できる最大番組数は１００００です。

- 本機で動作確認済みのＵＳＢハードディスクについては、以下のホームページで最新の情報を確認できます。

  http://panasonic.jp/support/tv/　を開く。

  「動作確認情報」→『液晶テレビ（ビエラ）』→『「ＴＨ－〇〇〇」の接続検証』から、機器を選ぶ。

■ ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクについての注意事項

- 「ダビング１０」対応の番組は、「１回だけ録画可能」な番組として録画します。
- 録画した番組の見たいシーンや見どころ（シーン／見どころ一覧）は表示できません。
- 最新ニュースを利用して録画したニュース番組のシーン一覧（ニューストピックス）は表示できません。
- お部屋ジャンプリンクサーバー機能を利用して、録画した番組は配信できません。
- メディアアクセス機能を利用して、録画した番組は視聴できません。
- 外出先のパソコンなどから、録画予約や録画番組の削除などのディモーラ機能は利用できません。

本機のリモコンで外部機器を操作する

以下のリモコンボタンで、メディアプレーヤー、ＵＳＢハードディスクに録画したコンテンツ、外部機器などを操作することができます。

- 操作については、外部機器（ディーガなど）の取扱説明書も合わせてご覧ください。

▶ :

再生を開始します。

- 再生中に３秒以上押すと１．３倍速で再生します。（ＵＳＢハードディスクに録画した番組やディーガの場合）

■ :

再生を停止します。

⏮ :

再生中に押すと前にスキップします。

◀◀ :

再生中に押すと早戻しをします。

- 押すたびに早戻し速度が速くなります。
- 一時停止中に押すとスロー再生します。（ディーガの場合）

⏭ :

再生中に押すと次にスキップします。

▶▶ :

再生中に押すと早送りをします。

- 押すたびに早送り速度が速くなります。
- 一時停止中に押すとスロー再生します。（ディーガの場合）

⏸ :

再生中に押すと一時停止します。

● :

録画を開始します。

録画する > 見ている番組を録画する

ＨＤＭＩ（ＤＶＩ）対応機器の接続について

ＨＤＭＩとは、High-Definition Multimedia Interface（高精細度マルチメディアインターフェース）の略で、映像と音声のデジタル信号を１本のケーブルで伝送できる通信インターフェースの標準規格です。

本機のＨＤＭＩ端子とＨＤＭＩ端子や、ＤＶＩ端子のあるＨＤＭＩ対応機器※（ＤＶＤレコーダーやシアター、セットトップボックス、ゲーム機など）を、ＨＤＭＩ規格に準拠したケーブルで接続してください。

テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > 外部機器を接続する

※：ＨＤＭＩ対応機器には、ＨＤＭＩロゴが表示されています。

■ ＨＤＭＩ接続で対応している機能

- ビエラリンク：

  いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > ビエラリンクの概要

- ＡＲＣ（オーディオリターンチャンネル）
  - ＡＲＣとは、ＨＤＭＩケーブルでデジタル音声信号を送る機能です。
  - ＨＤＭＩ１端子が対応しています。
- ４Ｋ

  テレビを見る > ４Ｋ映像を見る > 視聴可能な４Ｋ映像の入力信号について

■ ＤＶＩ対応機器を接続する

外部機器がＤＶＩ出力のみ対応しているときは、ＤＶＩ－ＨＤＭＩ変換ケーブルを使って、テレビのＨＤＭＩ端子に接続してください。その場合、ビデオ入力の音声入力端子にステレオ音声コードも接続してください。

= お知らせ =

- ＨＤＭＩの音声入力の設定は、音声調整のＨＤＭＩ音声入力設定で行ってください。

  テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の詳細設定をする

- 外部機器がアスペクト切り換えできる場合は、１６：９に設定してください。
- 本機のＨＤＭＩ端子は、ＨＤＣＰの著作権保護技術に適合しています。
- 外部機器がデジタル出力に対応していないときは、ビデオ入力端子に映像 / 音声コードで接続してください。

本機で対応している映像信号 / 音声信号

■ ＨＤＭＩ

- 映像入力信号

信号
525 (480) / 60i, 60p
750 (720) / 60p
1125 (1080) / 60i
1125 (1080) / 60p, 30p, 24p
3840 × 2160 / 60p, 30p, 24p
4096 × 2160 / 60p, 30p, 24p

- 音声入力信号

  リニアＰＣＭ、サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz

= お知らせ =

- 外部機器の映像出力信号も合わせて設定してください。
- これら以外の信号は、正しく表示されないことがあります。
- これらの入力信号は、本機に最適な映像になるよう、変換されて表示されます。
- 一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- アナログ音声をお使いになる場合は、ＨＤＭＩ端子とビデオ入力の音声入力端子に接続が必要です。

映像（画質）を設定・調整する

映像モードを設定する

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 映像調整 > 映像モードを選び、［決定］ボタンを押す
3. 映像モードを設定する

映像モード

(ダイナミック / スタンダード / リビング / シネマ / シネマプロ / ユーザー)

ご覧になる番組や外部入力の映像に合わせて、見やすい画質が選べます。

ダイナミック：

明暗がはっきりしたメリハリのある映像。

スタンダード：

一般的なご家庭で使用される際のメーカー推奨の画質設定モードです。

リビング：

比較的明るいリビングに向いた映像。

シネマ：

映画視聴や、シアター環境に向いた映像。

シネマプロ：

映画規格に準じた映像を、再現することを重視した映像。

ユーザー：

お好みに合わせて調整できます。

= お知らせ =

- 映像モードは、放送および入力信号ごとに記憶します。

明るさオートを設定する

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 映像調整 > 明るさオートを選び、［決定］ボタンを押す
3. オン / オフを選び、設定する

明るさオート

（オン / オフ）

自動的に明るさを調節する機能です。（工場出荷時はオンに設定）

オンに設定すると、周囲の明るさに応じた見やすい画面にします。

= お知らせ =

- 調整値は、映像モードごとに記憶します。
- 映像モードがシネマプロまたはユーザーの場合は、放送および入力信号ごとに記憶します。

画面モードの設定と映像信号について

■ 画面モードの設定について

- コマーシャルや番組が変わると、画面サイズが変わり見にくくなることがあります。気になる場合は手動で画面モードを選んでください。
- このテレビは、各種の画面モード切換機能を備えています。テレビ番組などコンテンツの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面モード切換機能（ズームなど）を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。
- 両端に映像のない帯がある４：３の映像をズーム・フルモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

■ 本機で表示できる映像信号の種類について

- 本機で表示できる主な映像信号は以下の通りです。

  480i、480p、720p、1080i、1080p（24 Hz/30 Hz/60 Hz）、2160p（24 Hz/30 Hz/60 Hz）

  このうち 720p、1080i、1080p はハイビジョン映像信号、2160p は４Ｋ映像信号です。

  - 数字は映像信号の有効走査線数
  - 英文字は走査線方式の略称を表しています。

    i：インターレース（飛び越し走査）

    p：プログレッシブ（順次走査）

■ 映像信号の横縦比（アスペクト比）について

放送や映像コンテンツによって次のような種類があります。

- 一部のデジタル放送など
- ハイビジョン放送

  ワイドクリアビジョン放送

  ビスタビジョンサイズⅠソフト（一部のデジタル放送）
- ビスタビジョンサイズⅡソフト
- シネマビジョンサイズソフト
- ４Ｋ映像信号

  ４Ｋ ＵＨＤ：3840 × 2160（24 Hz/30 Hz/60 Hz）

  ＤＣＩ ４Ｋ：4096 × 2160（24 Hz/30 Hz/60 Hz）

画面モードを設定する

アスペクト比（表示サイズ）を設定できます。

■ アスペクト比を手動で切り換える

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 映像調整 > 画面の設定 > 画面モードを選び、［決定］ボタンを押す
3. 画面モードを設定する

- ［画面モード］ボタンを押しても設定できます。
  目的の画面モードに切り換わるまで、繰り返しボタンを押してください。

  オート：

  放送や入力信号に応じて、最適な画面モードに自動で切り換えます。

  フル：

  左右を拡大して画面いっぱいにします。

  - ４Ｋ映像（ＤＣＩ ４Ｋ以外）やパソコン入力のときは、上下左右の割合により、自動的に画面を縮小または拡大して画面いっぱいにします。

  ノーマル：

  オリジナル映像をそのまま表示します。

  - ４Ｋ映像は、パソコン入力の場合のみ設定できます。

  ズーム：

  全体を拡大します。

  垂直フル：

  上下方向の画面に合わせて、左右をカットした映像にします。

  - ４Ｋ映像（ＤＣＩ ４Ｋ）入力の場合は垂直フルで固定されます。

= お知らせ =

- 画面モードは、放送や入力（デジタル放送、ビデオ入力、Ｄ端子入力、ＨＤＭＩ入力）ごとに、それぞれの信号別に記憶します。
- 以下のときの画面モードはフルで固定されます。
  - ＤＣＩ ４Ｋ以外の４Ｋ映像を表示しているとき
  - ゲームモードをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - ４Ｋピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐドットバイ４ドットをオンに設定しているとき
- 映像の入力信号に、画面サイズの情報がある場合は、その情報に従って自動拡大します。（Ｄ４映像入力端子）
- ビデオ映像のときは、モード１ / モード２から選択できます。

  → メディアプレーヤー > ビデオ映像を再生する > ビデオ映像を再生・操作する
- ２画面のときには設定できません。

映像の基本設定をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 映像調整を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   バックライト / ピクチャー / 黒レベル / 色の濃さ / 色あい / シャープネス / 色域切換 / 色温度 / ビビッド / バックライトＡＩ / リマスター超解像 / Wスピード
4. 項目ごとに設定する

バックライト / ピクチャー / 黒レベル / 色の濃さ / 色あい / シャープネス

お好みに合わせて調整してください。

- シャープネスは、１０８０Ｐドットバイ４ドットをオンに設定しているときには調整できません。

色域切換

（オート / オン / オフ）

入力した映像に対して表示する色域を切り換えます。

色温度

お好みの色調に切り換えます。

ビビッド

（オン / オフ）

色をよりあざやかにできます。

バックライトＡＩ

（強 / 中 / 弱 / オフ）

映像に応じて、バックライトを自動でコントロールします。

リマスター超解像

（オート / 強 / 中 / 弱 / オフ）

見た目の解像度を上げ、鮮明な映像にします。

Wスピード

（強 / 中 / 弱 / オフ）

動きの速い映像をよりなめらかに表示します。

- 映像が不自然なときは オフに設定してください。
- 以下の場合は設定できません。
  - ゲームモードをオンに設定しているとき

- １０８０ｐピュアダイレクトをオンに設定しているとき
- ４Ｋピュアダイレクトをオンに設定しているとき
- １０８０ｐドットバイ４ドットをオンに設定しているとき

= お知らせ =

- 調整値は、映像モードごとに記憶します。
- 映像モードがシネマプロまたはユーザーの場合は、放送および入力信号ごとに記憶します。

ノイズ低減設定をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 映像調整 > ＮＲ / ＨＤオプティマイザーを選び、［決定］ボタンを押す
3. 項目ごとに設定する

ＮＲ

（オート / 強 / 中 / 弱 / オフ）

映像のざらつき感を低減させます。

- 以下の場合は設定できません。
  - ゲームモードをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - ４Ｋピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐドットバイ４ドットをオンに設定しているとき

ＨＤオプティマイザー

（オート / 強 / 中 / 弱 / オフ）

ブロックノイズ（小さな四角形のノイズ）や輪郭部のちらつき（ノイズ）を低減させます。

- 以下の場合は設定できません。
  - ゲームモードをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - ４Ｋピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐドットバイ４ドットをオンに設定しているとき

= お知らせ =

- 調整値は、映像モードごとに記憶します。
- 映像モードがシネマプロまたはユーザーの場合は、放送および入力信号ごとに記憶します。

画質の詳細設定をする

映像モードがリビング、シネマ、シネマプロ、ユーザーのとき、より詳細に画像を調整できます。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像モードを設定する

1. 調整したい放送や外部入力の画面にする
2. ［メニュー］ボタンを押す
3. 映像調整 > 映像モードを選び、［決定］ボタンを押す
4. 映像モードを設定する

   リビング / シネマ / シネマプロ / ユーザー

■ 画質の詳細な設定をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 映像調整 > 画質の詳細設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   コントラストＡＩ / ホワイトバランス調整 / カラーマネージメント調整 / ガンマ補正 / 標準に戻す
4. 項目ごとに設定する

■ コントラストＡＩ

コントラストＡＩ

（カスタム / オート / オフ）

映像に応じてコントラストの自動調整を行い、メリハリのある映像にします。お好みに合わせて調整するときは、カスタムに設定し、コントラストＡＩ設定で調整してください。

コントラストＡＩ設定

明るさ補正：

暗い映像を明るく見やすく調整します。

黒伸長：

中間より暗い部分の階調変化を調整します。

白文字補正：

白い文字などの白さを強調します。

標準に戻す：

工場出荷時の設定に戻します。

■ ホワイトバランス調整

Rゲイン / Gゲイン / Bゲイン

明るい部分の赤色 / 緑色 / 青色の強さを調整します。

Rカットオフ / Gカットオフ / Bカットオフ

暗い部分の赤色 / 緑色 / 青色の強さを調整します。

詳細設定

より詳細なホワイトバランスを調整します。

入力レベル：

調整するための入力信号のレベルを選択します。

Rゲイン / Gゲイン / Bゲイン：

選択した信号レベルの赤色 / 緑色 / 青色の強さを調整します。

標準に戻す：

詳細設定を工場出荷時の設定に戻します。

標準に戻す

ホワイトバランス調整を工場出荷時の設定に戻します。

■ カラーマネージメント調整

R色相補正 / R彩度補正 / R明度補正

赤色の色味 / 鮮やかさ / 明るさを調整します。

G色相補正 / G彩度補正 / G明度補正

緑色の色味 / 鮮やかさ / 明るさを調整します。

B色相補正 / B彩度補正 / B明度補正

青色の色味 / 鮮やかさ / 明るさを調整します。

詳細設定

より詳細な色相、彩度を調整します。

C色相補正 / C彩度補正：

シアンの色味 / 鮮やかさを調整します。

M色相補正 / M彩度補正：

マゼンタの色味 / 鮮やかさを調整します。

Y色相補正 / Y彩度補正：

黄色の色味 / 鮮やかさを調整します。

標準に戻す：

詳細設定を工場出荷時の設定に戻します。

標準に戻す

カラーマネージメント調整を工場出荷時の設定に戻します。

■ ガンマ補正

ガンマ補正

中間輝度を調整します。数値が小さいほど中間輝度が明るくなります。

- 選択肢の数値は、調整のための参考値です。

詳細設定

より詳細な中間輝度を調整します。

入力レベル：

調整するための入力信号のレベルを選択します。

ゲイン：

選択した信号レベルのガンマの強さを調整します。

標準に戻す：

詳細設定を工場出荷時の設定に戻します。

標準に戻す

ガンマ補正を工場出荷時の設定に戻します。

■ 標準に戻す

標準に戻す

画質の詳細設定を工場出荷時の設定に戻します。

オプション機能を設定する

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 映像調整 > オプション機能を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   ゲームモード / デジタルシネマリアリティ / １０８０ｐピュアダイレクト / ４Ｋピュアダイレクト / １０８０ｐドットバイ４ドット / ＨＤＭＩ画質連動設定 / ＨＤＭＩ　ＲＧＢレンジ設定 / ３次元Ｙ／Ｃ分離
4. 項目ごとに設定する

ゲームモード

（オン / オフ）

すばやい操作を要求されるゲームを楽しむ際に、描画の遅延を防ぎます。

- ビデオ入力端子、Ｄ端子またはＨＤＭＩ端子から入力される映像にだけ有効です。
- 設定は入力ごとに記憶されます。
- 以下の場合は設定できません。
  - テレビ放送を視聴中
  - ２画面のとき
  - １０８０ｐピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - ４Ｋピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐドットバイ４ドットをオンに設定しているとき

デジタルシネマリアリティ

（オート / オン / オフ）

毎秒２４コマで撮影された映画の映像を忠実に再現します。

- １画面のとき、かつ 480i、1080i 信号の場合のみ設定できます。

１０８０ｐピュアダイレクト

（オン / オフ）

接続機器から入力された 1080p ４：４：４の信号を、原画に忠実に表示します。設定値はＨＤＭＩ入力ごとに記憶されます。

- 以下の場合は設定できません。
  - ２画面のとき
  - １０８０ｐドットバイ４ドットをオンに設定しているとき

４Ｋピュアダイレクト

（オン / オフ）

接続機器から入力された４Ｋ ４：４：４の信号を、原画に忠実に表示します。設定値はＨＤＭＩ入力ごとに記憶されます。

- ４Ｋ映像の場合のみ設定できます。

- 以下の場合は設定できません。
  - ２画面のとき

１０８０ｐドットバイ４ドット

（オン / オフ）

接続機器から入力された 1080p 信号のドットをパネルの解像度に合わせて忠実に再現し、くっきり表示します。

- ＨＤＭＩ端子からの 1080p 信号に設定できます。
- 入力信号によっては、忠実に再現できない場合があります。
- 以下の場合は設定できません。
  - ２画面のとき

ＨＤＭＩ画質連動設定

（グラフィック固定 / 写真固定 / オート / オフ）

ＨＤＭＩ入力された映像の画質を設定します。

オート：

ＨＤＭＩ入力に合わせて自動的に画質を調整するときに設定してください。

- オート設定時に画質連携するコンテンツを選択するには、オート連動設定を選び、連携するコンテンツを有効に設定してください。
- ＨＤＭＩ入力の場合のみ設定できます。

ＨＤＭＩ　ＲＧＢレンジ設定

（オート / エンハンス / スタンダード）

ＤＶＩ対応機器などＲＧＢ出力機器を接続した場合、機器に合わせて設定します。

- 映像の黒レベルが適切でない場合は、エンハンスに設定してください。
- ＨＤＭＩ入力の場合のみ設定できます。

３次元Ｙ／Ｃ分離

（オン / オフ）

虹模様や、つぶ状のノイズを低減します。

- ビデオなどの映像が不自然なときはオフに設定してください。
- 以下の場合は設定できません。
  - テレビを視聴中
  - Ｄ端子入力のとき
  - ＨＤＭＩ入力のとき

画面の設定をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 映像調整 > 画面の設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す
   画面モード / オーバースキャン / 水平表示領域 / 垂直位置／サイズ
4. 項目ごとに設定する

画面モード

画面モードを変更します。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画面モードを設定する

オーバースキャン

（オン / オフ）

１６：９映像の際に周囲を隠して表示します。１６：９映像の端まで表示する場合はオフに設定してください。

- 画面の端にノイズが発生する場合はオンに設定してください。
- 以下の場合は設定できません。
  - ４Ｋ映像のとき
  - ２画面のとき
  - 写真の映像のとき
  - インターネットを利用しているとき（アクトビラ、Ｗｅｂブラウザなど）
  - ゲームモードをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - ４Ｋピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐドットバイ４ドットをオンに設定しているとき

水平表示領域

（サイズ１ / サイズ２）

映像の左右の幅を変更できます。

- 以下の場合は設定できません。
  - ２画面のとき
  - ゲームモードをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - ４Ｋピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐドットバイ４ドットをオンに設定しているとき

垂直位置／サイズ

画面モードがズームのときの垂直（上下）の位置やサイズを微調整します。

垂直位置の調整範囲は拡大状況により変わります。

- 以下の場合は設定できません。
  - ４Ｋ映像のとき

画質設定をコピーする

映像モードがシネマプロまたはユーザーの場合は、現在の画質設定を他の入力へコピーできます。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 映像調整 > 画質設定コピー > コピー先の入力を選び、［決定］ボタンを押す
3. コピー先を選び、［決定］ボタンを押す
4. コピー開始を選び、［決定］ボタンを押す
5. 確認画面ではいを選び、［決定］ボタンを押す

= お知らせ =

- オプション機能、画面の設定はコピーされません。

音声（音質）を設定・調整する

音声出力を設定する

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応のシアターを接続しているときに設定できます。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 音声調整 > 音声を切り換えるを選び、［決定］ボタンを押す
3. 音声出力を設定する

音声を切り換える

（テレビ / シアター）

音声の出力先を設定します。

テレビ：

本機から音声が流れます。

シアター：

シアターのスピーカーから音声が流れます。シアターが待機状態の場合は、自動的に電源が入ります。

- 本機のリモコンでシアターの操作ができます。リモコンは、本機に向けて操作します。
- 本機からの音声は消えます。シアターの電源が切れた場合は、また本機から音声が流れます。
- ［音量］ボタン、［消音］ボタンで音量を調節できます。

音声モードを設定する

音声を切り換えるをテレビにしているときに設定できます。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声出力を設定する

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 音声調整 > 音声モードを選び、［決定］ボタンを押す
3. 音声モードを設定する

音声モード

（スタンダード / ミュージック / 快聴 / ユーザー）

放送や入力信号ごとに、お好みの音声モードが選べます。

スタンダード：

全音域をバランスよくした音。

ミュージック：

メリハリ感を強調した音。

快聴：

人の声をより聴きやすくした音。（高齢の方におすすめ）

ユーザー：

お好みに合わせて調整できます。

- ユーザーでは、バス、トレブルの調整の代わりに、イコライザーの調整ができます。イコライザーを選択して各周波数を調整します。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の基本設定をする

- 音声モードの設定は、本機のスピーカー音にのみ効果があります。

シアターサウンドを設定する

音声を切り換えるをシアターにしているときに設定できます。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声出力を設定する

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 音声調整 > シアターサウンドを切り換えるを選び、［決定］ボタンを押す
3. シアターサウンドを設定する

シアターサウンドを切り換える

（オート / スタンダード / スタジアム / ミュージック / シネマ / ニュース）

シアターサウンドを楽しむときに設定します。

オート：

番組に応じた最適なサウンドに自動的に切り換えます。

スタンダード：

全音域をバランスよくした音に調整します。

スタジアム：

広がり感を重視した音に調整します。

ミュージック：

メリハリ感を強調した音に調整します。

シネマ：

映画の視聴に適した音に調整します。

ニュース：

人の声を聴きやすくした音に調整します。

= お知らせ =

- シアターがビエラリンクＶｅｒ．２に対応している場合はオートを除く５つ、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．３以上に対応している場合はオートを含めた６つのサウンドに切り換えられます。
- メディアプレーヤーのＢＧＭ設定をオフにして、写真を見ているときはサウンドは切り換わりません。

音声の基本設定をする

音声を切り換えるをテレビにしているときに設定できます。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声出力を設定する

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 音声調整を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   バス / トレブル / イコライザー / バランス / サラウンド / 低音強調
4. 項目ごとに設定する

バス

低音を調整します。

トレブル

高音を調整します。

イコライザー

イコライザーの調整をします。

- イコライザーを調整するには、音声モードをユーザーに切り換えてください。
- 各周波数を選び、周波数レベルを設定します。
- 低音（150 Hz）から高音（12k Hz）まで８つの周波数のレベルをそれぞれ調整できます。声などを強調するには中音（1k Hz/2k Hz）のレベルを上げてください。
- 周波数レベルを工場出荷状態に戻すには、標準に戻すを選び、［決定］ボタンを押します。
- イコライザーの設定は、本機のスピーカー音にのみ効果があります。

バランス

左右の音量を調整します。

サラウンド

（バーチャル３Ｄ / オフ）

臨場感を楽しみたいときに設定します

バーチャル３Ｄ：

本機のスピーカーだけで音に広がり感を与える機能です。５．１ｃｈサラウンドの音声に対して、特に有効です。本機正面中央の位置で視聴すると効果的です。

- ヘッドホン / イヤホン接続端子や光出力（ＰＣＭ時）からの音声にも働きます。

低音強調

（オン / オフ）

低音を増強して響かせます。

- この設定は、本機のスピーカー音にのみ効果があります。

= お知らせ =

- バス、トレブル、サラウンド、低音強調の調整値は、音声モードごとに記憶します。
- ２画面のときはスピーカーで聴いている方の音を調整できます。
- デジタル音声出力（光）端子からの音声には働きません。（バーチャル３Ｄサラウンドを除く）

音量設定をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 音声調整を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   ヘッドホン／イヤホン音量 / 音量オート / 音量補正 / 壁寄せ設定
4. 項目ごとに設定する

ヘッドホン／イヤホン音量

ヘッドホン / イヤホンの音量を調整します。

- ヘッドホン / イヤホンで音声を聴いているときは、リモコンや本体の［音量］ボタンで音量調整できます。ただし、スピーカーとイヤホン音声の同時出力をするに設定しているときは、リモコンの［音量］ボタンでの音量調整はできません。

音量オート

（オン / オフ）

小さな音を大きく、大きな音を小さく自動調整し、音量変化を抑えます。

- 音声を切り換えるをテレビにしているときに設定できます。

  テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声出力を設定する

音量補正

放送や入力信号を切り換えて音量が変化するときは、調整したい放送や外部入力の視聴状態にしてから音量を調整してください。

- 音声を切り換えるをテレビにしているときに設定できます。

  テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声出力を設定する

壁寄せ設定

（オン / オフ）

低音が反響するときや、低音を抑えて聴くときはオンに設定し、通常の使用のときはオフに設定してください。

- この設定は、本機のスピーカー音にのみ効果があります。
- 音声を切り換えるをテレビにしているときに設定できます。

  テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声出力を設定する

= お知らせ =

- 音量オート / 音量補正 / 壁寄せ設定は音声を切り換えるをテレビにしているときに設定できます。

  テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声出力を設定する

音声ガイドの設定をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 音声調整 > 音声ガイドの設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す
   音声ガイド機能 / 読み上げ速度 / 読み上げ音量 / Ｗｅｂブラウザ
4. 項目ごとに設定する

- ［メニュー］ボタンを３秒以上押しても音声ガイドの設定画面を表示できます。

音声ガイド機能

（オン / オフ）

番組表、番組内容、入力切換、録画予約設定の画面を操作したり、チャンネル選局したときなどやＷｅｂブラウザ上に表示される文章を音声読み上げするようにできます。

読み上げ速度

（高速 / 標準 / 低速）

音声ガイドの読み上げ速度を調整します。

読み上げ音量

（強 / 中 / 弱）

音声ガイドの読み上げ音量を調整します。

Ｗｅｂブラウザ

（オン / オフ）

Ｗｅｂブラウザを起動し、読み上げたい文章にカーソルを合わせると、１段落ごとに文章を読み上げます。

＝ お知らせ ＝

- 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。
- 音声ガイドの読み上げが終わった後で［画面表示］ボタンを押すと、再度聴くことができます。
- タイトル表示がオフのときは、チャンネル選局時の番組情報は読み上げません。番組情報を聴きたいときは［画面表示］ボタンを押してください。
- 番組情報などを読み上げているとき、本機を操作すると音声ガイドの読み上げが停止することがあります。
- 番組データが取得できていないとき、番組情報を読み上げないことがあります。
- ２画面のとき、音声ガイド機能は働きません。

音声の詳細設定をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 音声調整を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   デジタル音声出力 / ＨＤＭＩ音声入力設定
4. 項目ごとに設定する

デジタル音声出力

デジタル音声入力（光）端子のあるオーディオ機器を接続したときに音声出力の設定をします。

オート：

放送が３ｃｈ以上の音声フォーマットのときは自動的に「ＡＡＣ」を出力します。ただし、メディアプレーヤーでのビデオ再生・アクトビラ動画の音声形式がドルビーデジタルフォーマットのサラウンド・ステレオで記録した場合に、自動的に「ドルビーデジタル」を出力します。

ＰＣＭ：

オーディオ機器がＡＡＣフォーマットやドルビーデジタルフォーマットに対応していないとき、常に「ＰＣＭ」を出力します。

ビットストリーム：

放送がＡＡＣフォーマット時は常に「ＡＡＣ」を出力します。ドルビーデジタルフォーマット時は常に「ドルビーデジタル」を出力します。ＡＡＣフォーマット・ドルビーデジタルフォーマット以外のときは「ＰＣＭ」を出力します。

- ビットストリームに設定すると字幕放送やデータ放送の効果音が、デジタル音声出力（光）端子から出力されません。ＰＣＭに設定してご使用ください。
- ビデオ入力端子、Ｄ端子に接続した機器を視聴中は設定とは関係なく、常にＰＣＭ出力します。
- ＡＡＣ対応のオーディオ機器を接続する場合、ＰＣＭとＡＡＣの入力に対し自動切り換え機能のあるものをおすすめします。
- デジタル音声出力（光）端子からは、スピーカーと同じ音声を出力します。
- ＨＤＭＩ入力時のＤＶＤオーディオで暗号化されている場合は出力されません。

ＨＤＭＩ音声入力設定

（デジタル / アナログ）

対応機器入力信号に合わせて設定します。

テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＨＤＭＩ（ＤＶＩ）対応機器の接続について

デジタル：

ＨＤＭＩ対応機器を接続するときに設定します。

アナログ：

ＤＶＩ対応機器を接続するときに設定します。

- ＨＤＭＩ入力のときに設定できます。

= お知らせ =

- 一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- アナログ音声をお使いになる場合は、ＨＤＭＩ端子とビデオ入力の音声入力端子に接続が必要です。

番組表の使い方

番組表について

本機の画面上に新聞のテレビ欄のように番組を一覧表示します。
画面上で番組を選ぶとその番組を見たり、録画予約などをすることができます。
本機は、放送局から送られてきた番組データに基づいて番組表を表示します。
本機の番組表はGガイドを使用しています。

- 番組表データは、ＢＳデジタル放送のGガイドおよびデジタル放送電波のすきまで配信されます。
- 通信によるGガイド受信の設定をするには

  → いろいろな機能 > 地域やチャンネルなど設置に関する設定をする > 設置設定をする
- 番組データの取得は、リモコンで電源「切」またはテレビ視聴中に行われます。
  （2画面の場合は番組データが取得できないことがあります）
  最大約4時間かかります。
  テレビ本体の電源を切らずに、必ずリモコンで電源をお切りください。
- インターネットからも番組データを取得できます。取得するには、以下をご参照ください。

  → いろいろな機能 > 地域やチャンネルなど設置に関する設定をする > 設置設定をする
- ＵＳＢハードディスクやビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応の録画機器に録画するには、以下をご参照ください。

  → 録画する > 録画予約をする

■ 最新の番組表を取得する

地上デジタル放送の番組表で、表示されない放送局がある場合に、その局の番組情報を受信して表示します。

● 放送局の番組欄を選び、［決定］ボタンを押す

- 表示には数分かかることもあります。

= お知らせ =

- ［サブメニュー］ボタンを押して番組データ取得を選び、［決定］ボタンを押しても取得できます。

テレビ放送の番組を探して見る

■ 番組表から番組を探す

1. ［番組表］ボタンを押して番組表を表示する

   （例）

   - ［青］ボタンで前日、［赤］ボタンで翌日の番組表を見ることができます。
   - チャンネル別の番組表を見るには、［黄］ボタンを押す
     - １局番組表を表示します。
     - ［青］ボタンで前のチャンネル、［赤］ボタンで次のチャンネル、［緑］ボタンで注目番組一覧、［黄］ボタンで全チャンネル表示をします。

2. 放送切換ボタンを押して、放送の種類を選ぶ

   ［地上］：地上デジタル（地上Ｄ）放送

   ［ＢＳ］：ＢＳデジタル放送

   ［ＣＳ］：１１０度ＣＳデジタル放送（スカパー！）

   - ［ＣＳ］は押すたびにＣＳ１とＣＳ２が切り換わります。

3. 番組を選び、［決定］ボタンを押す
   - 番組内容画面を表示します。

4. 今放送している時間帯の番組を選んだときは、今すぐ見るを選び、［決定］ボタンを押す
   - 選んだ番組が映ります。
   - まだ放送されていない番組を選んだときは、見るだけ予約を選び、［決定］ボタンを押す
     - 予約が完了します。

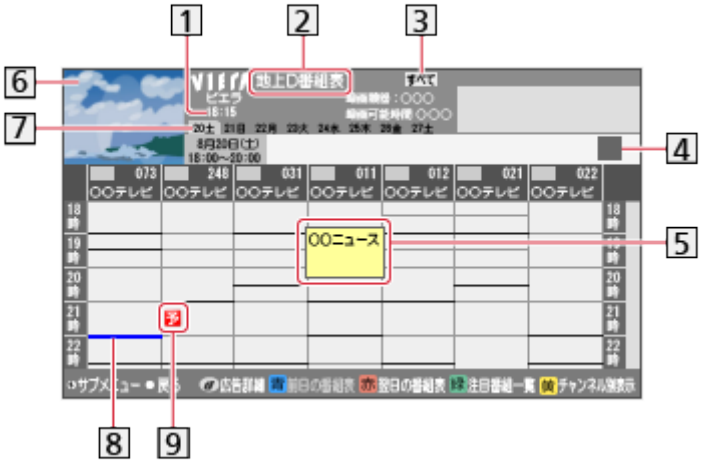
= お知らせ =

- テレビを見ているときに、予約時刻になると、予約番組に切り換わります。（ＴＳＵＴＡＹＡ　ＴＶを除く）
- 電源を「切」にし、テレビをご覧になっていない場合は、予約番組は映りません。
- 予約番組が重なっていると予約重複のメッセージを表示します。はいを選び、［決定］ボタンを押すと予約重複確認画面を表示します。削除 / 取り消したい番組を選び、［黄］ボタンを押して重複を解除してください。
- 予約した番組の放送開始が確認できないとき、予約した開始時刻から３時間の間に予約している番組には重複アイコンが表示され、予約が実行されないことがあります。

番組表の画面の見かた

番組表には、以下のような情報を表示します。

（例）



1 現在の時刻

2 放送の種類（地上Ｄ／ＢＳ／ＣＳ１／ＣＳ２）

3 番組の表示範囲の変更

4 番組のジャンルアイコン

- 映画、音楽、スポーツ、アニメ／特撮、ドラマなどの番組ジャンルを表示します。
- 番組内容画面の属性を選ぶと、番組のジャンルを確認できます。

5 選ばれている番組

6 直前に見ていた番組

7 表示中の放送日

8 表示していない番組

9 予約アイコン（予約の種類により以下の色のアイコンを表示します）

白：お部屋ジャンプリンク機器に録画予約した番組

青：見るだけ予約した番組

赤：お部屋ジャンプリンク機器以外に録画予約した番組

灰：録画予約を「実行切」にした番組

緑：最新ニュースやフリーワード録画で録画予約した番組

- 時間指定予約時には表示されない場合があります。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）予約時には表示されません。

■ 表示していない番組を表示する

番組と番組の間に表示していない番組があるとき、青い線を表示します。番組を一時的に表示し、内容などを見ることができます。

● △ / ▽ / ◁ / ▷ ボタンで青い線を選ぶ

■ アイコン一覧を表示する

番組表の番組欄や番組内容画面で表示されるアイコンの説明を表示します。

1. 番組表を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
2. アイコン一覧を選び、［決定］ボタンを押す
   - 放送局から情報が送られてこない場合は、アイコン一覧は表示されません。
   - すべてのアイコンの説明が表示されるわけではありません。

番組表の表示を切り換える

■ 番組の表示範囲を変更するには

1. 番組表を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
2. 表示内容を選び、表示する範囲をすべて / 設定チャンネル / テレビから設定する
   - 設定チャンネルにすると、番組表にはチャンネル設定で設定したチャンネルのみ表示されます。

■ １画面に表示するチャンネル数を選ぶには

1. 番組表を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
2. 表示チャンネル数を選び、［決定］ボタンを押す
3. 表示したいチャンネル数を選び、設定する

■ チャンネル別の番組表を表示する（１局番組表）

1. 番組表を表示中に［◁］または［▷］ボタンを押して見たいチャンネルを選ぶ
2. ［黄］ボタンを押す
   - １局番組表を表示します。
   - ［青］ボタンで前のチャンネル、［赤］ボタンで次のチャンネル、［緑］ボタンで注目番組一覧、［黄］ボタンで全チャンネル表示をします。

■ １画面に表示したい日数を選ぶには

番組表の表示日数（３／５／７／８日表示）の切換ができます。（１局番組表のみ）

1. １局番組表を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
2. 表示日数切換を選び、［決定］ボタンを押す
3. 表示したい日数を選び、［決定］ボタンを押す

番組の詳しい情報や番組説明を見る

番組表から、番組の詳しい内容をご覧いただくことができます。

● 番組表で番組を選び、［決定］ボタンを押す

- 番組内容画面を表示します。
- ジャンル、キーワード、人名の検索結果などから選んで［決定］ボタンを押したときも、番組内容画面を表示します。
- ［戻る］ボタンを押すと、番組表に戻ります。

■ 番組内容画面について

番組内容画面には、番組について以下のような情報を表示します。

- 番組の情報を表すアイコン
  - テレビ、ｄテレビ、１６：９／１０８０ｉ、ステレオ、字幕、コピー制限などの番組情報アイコンを表示します。
  - 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。
  - デジタル１ＣＯＰＹなどのアイコンが出ない番組でも、録画機器によってはダビングできない場合があります。
- 内容、詳細、属性、注目番組の項目
  - 項目を切り換えて番組のより詳しい情報を確認できます。

  内容：

  番組の内容を表示します。

  詳細：

  地上デジタル放送で情報があるときに、画像などで詳しい内容を表示します。（情報のないときは表示しません）

  属性：

  放送方式などを表示します。

  注目番組：

  放送局からの情報を基にＧガイドが提供する番組情報を表示します。（番組データに情報があるときのみご覧いただけます）
- 番組のジャンルアイコン
  - 映画、音楽、スポーツ、アニメ／特撮、ドラマなどの番組ジャンルを表示します。
- デジタル放送のときに表示されるアイコン
  - デジタル放送では、番組表の番組欄や番組内容画面で、デジタル放送用のアイコンを表示することがあります。
- 番組のタイトルや番組内容
- 関連情報の項目
  - 番組に関連した情報から別の番組を探すことができます。

→ テレビを見る > 番組表の使い方 > 番組内容から関連のある番組を検索する

番組内容から関連のある番組を検索する

本機は番組表から番組を選んだときに、地上デジタル放送局やＢＳデジタル放送局から送られてくる番組に関連した情報に基づいて、番組や広告に関連した情報を見たり、番組を検索することができます。

- 放送局から送られてきた情報から、９日以上先の番組内容を見たり、予約もできます。

1. 番組表から番組を選び、［決定］ボタンを押す
2. 番組内容の画面下部から関連情報を選び、［決定］ボタンを押す
3. 関連情報の画面から検索したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   放送中止時の番組を探す / 関連番組を探す / 人名で番組を探す / ジャンルで番組を探す / キーワードで番組を探す

   - 関連する番組を表示します。
   - 情報のない項目は表示しません。
4. 番組を選び、［決定］ボタンを押す
5. 今放送している時間帯の番組を選んだときは、今すぐ見るを選び、［決定］ボタンを押す
   - 選んだ番組が映ります。
   - まだ放送されていない番組を選んだときは、見るだけ予約を選び、［決定］ボタンを押す
     - 予約が完了します。

= お知らせ =

- キーワードや人名などから検索する場合、実際の放送に該当する項目が含まれている番組でも、番組検索の検索結果には表示されないことがあります。
- 関連情報を受信するためにはアンテナの接続と設定が必要です。

→ テレビを見る > テレビ放送を見るための準備をする > アンテナ線を接続する

注目番組一覧から探す

注目番組一覧では、放送局からの情報を基にGガイドが提供する番組情報を表示します。

1. 番組表表示中に［緑］ボタンを押す
   - 注目番組一覧の画面は、サムネイル形式またはリスト形式で表示されます。（表示される2種類の画面はGガイドが運用しています）
2. 番組を選び、［決定］ボタンを押す
3. 今放送している時間帯の番組を選んだときは、今すぐ見るを選び、［決定］ボタンを押す
   - 選んだ番組が映ります。
   - まだ放送されていない番組を選んだときは、見るだけ予約を選び、［決定］ボタンを押す
     - 予約が完了します。

■ サムネイル形式画面について

サムネイル形式のときは、見出し画像付きで以下のような番組の内容を表示します。

- 番組のタイトル
  - △ / ▽ / ◁ / ▷ ボタンで番組が選択できます。
- 選んでいる番組の詳細
- 分類（カテゴリー）

■ リスト形式画面について

リスト形式のときは、一覧表で以下のような番組の内容を表示します。

- 番組のタイトル
  - △ / ▽ ボタンで番組が選択できます。
- 選んでいる番組の詳細
- 分類（カテゴリー）

キーワードやジャンル、人名などで番組を探す

本機は、放送局から送られてきた番組データに基づいて番組の検索ができます。

1. 番組表を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
2. 番組の検索 > ジャンル検索 / キーワード検索 / 人名検索を選び、［決定］ボタンを押す
3. 項目を選び、［決定］ボタンを押す
   - ジャンル検索：メインジャンル > サブジャンル
   - キーワード検索：カテゴリー > キーワード
   - 人名検索：カテゴリー > 読みの最初 > 名前
4. 番組を選び、［決定］ボタンを押す
   - ［青］ボタンで前日、［赤］ボタンで翌日の番組を見ることができます。
5. 今放送している時間帯の番組を選んだときは、今すぐ見るを選び、［決定］ボタンを押す
   - 選んだ番組が映ります。
   - まだ放送されていない番組を選んだときは、見るだけ予約を選び、［決定］ボタンを押す
     - 予約が完了します。

■ 表示する範囲を変更する

1. 検索結果を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
2. 表示内容 / 表示ＣＨを選び、項目ごとに設定する

表示内容

（すべて / 設定チャンネル / テレビ）

- 表示内容を設定チャンネルにすると、番組表にはチャンネル設定で設定したチャンネルのみ表示されます。

表示ＣＨ

（全ＣＨ / 地上Ｄ / ＢＳ / ＣＳ１ / ＣＳ２ / 地上Ｄ＋ＢＳ（無料））

- 表示ＣＨは放送切換ボタンを押しても変更できます。

= お知らせ =

- キーワードや人名などから検索する場合、実際の放送に該当する項目が含まれている番組でも、番組検索の検索結果には表示されないことがあります。
- ［赤］ボタンを押して９日目以降を選ぶと、放送局がおすすめする最大１年先までの番組（注目番組）があれば、その中から検索された番組を表示します。

  ９日目以降の番組を予約したときは予約方法が時間指定予約のみになる場合があります。

  - 実際の運用は、Ｇガイドが提供する番組情報に基づきます。

２つの画面を表示する

２画面表示について

デジタル放送や外部入力（ビデオ / Ｄ端子 / ＨＤＭＩ）を以下の例のように、同時に２画面で表示することができます。

●［２画面］ボタンを押す

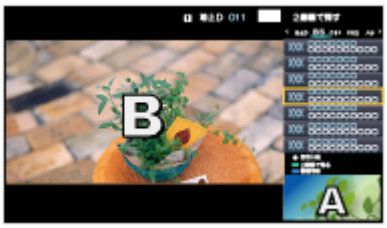
２画面で探す

［緑］

２画面で見る

２画面で探す

［決定］



２画面で探す

● 左右の画面を入れ換えるには

［決定］ボタンを押す

- ２番組録画を実行中は、画面を入れ換えることはできません。

● １画面に戻るには

［戻る］ボタンを押す

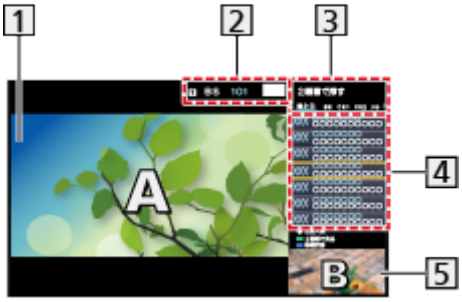
２画面で探す（現在放送中の番組から探す）

1.［２画面］ボタンを押す

- ２画面が表示されている場合は［緑］ボタンを押すと２画面で探すを表示します。

2. ２画面で探すから番組を選び、［決定］ボタンを押す

（例）



1 左画面（主画面）

2 放送の種類 / 外部入力 / チャンネル番号（左画面用）

3 放送の種類 / 外部入力（右画面用）

- ◁ / ▷ ボタンで、右画面のテレビ放送 / 外部入力を選択できます。

4 現在放送中の番組

- △ / ▽ ボタンで、右画面の番組を選択できます。

5 右画面（サブ画面）

- ［青］ボタンで、映像と番組内容を切り換えることができます。
- ＵＳＢハードディスクに２番組を同時に録画中は番組内容を表示します。

  １番組を録画中の場合でも、番組によっては番組内容が表示される場合があります。

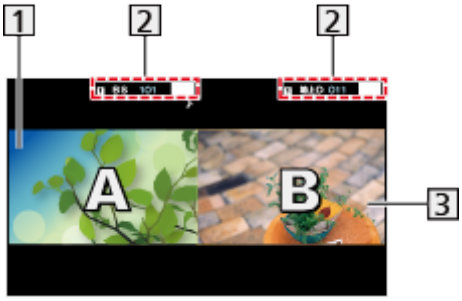
- 左画面の音声のみ出力されます。

２画面で見る

● ［２画面］ボタンを押す

- ２画面で探すが表示されているときは、［緑］ボタンを押すと２画面を表示します。

（例）



1 左画面（主画面）

2 放送の種類 / 外部入力 / チャンネル番号

3 右画面（サブ画面）

- ◁ / ▷ ボタンで、操作できる画面を選択できます。
  - アイコンが画面上に表示されます。

● ２画面のときにスピーカーから聴こえる音声（右画面または左画面）を選択するには

1) ２画面時に［サブメニュー］ボタンを押す

2) スピーカーから音を出すを選び、［決定］ボタンを押す

3) 左画面 / 右画面を選び、設定する

- アイコンが画面上に表示されます。
- 音声調整のスピーカーとイヤホン音声の同時出力をしないに設定しているときは、ヘッドホン / イヤホンを挿入すると２画面時にもスピーカーから音声は出ません。

● ２画面のときにヘッドホン / イヤホン接続端子から出力する音声（右画面または左画面）を選ぶには

1) ２画面時に［サブメニュー］ボタンを押す

2) イヤホンから音を出すを選び、［決定］ボタンを押す

3) 左画面 / 右画面を選び、設定する

● 視聴中に関連する機能の設定を確認したり変更するには［サブメニュー］ボタンを押す

- メニューの項目や選択肢は、左画面と右画面で異なることがあります。

→ テレビを見る > テレビ放送を見る > 番組視聴中に関連機能を設定する

● 操作ガイドを表示 / 非表示するには［画面表示］ボタンを押す

お知らせ

- ２画面のときは、データ放送を表示できません。
- ２画面のときは、画面モードを変更することはできません。
- 外部入力の画面は、左画面、右画面のどちらか一方にのみ表示できます。
- ＨＤＭＩ入力画面は、左画面にのみ表示できます。
- 映像は、最適に表示させるために、適切に画質調整されます。
- 左画面でビデオなどの再生映像を早送りや巻戻しすると、右画面の映像が乱れる場合があります。
- ２画面にしたときは、音声ガイド機能は働きません。

録画する

ＵＳＢハードディスクなどのＵＳＢ機器を接続・設定する

ＵＳＢハードディスクをお使いになる前に

ＵＳＢハードディスクを本機に接続することで、番組を録画し、再生することができます。

- 接続時に登録のメッセージを表示する場合は、画面表示に従って本機に登録・設定してください。

本機は番組を視聴しながら、別の番組を最大２番組まで同時にＵＳＢハードディスクに録画できます。（２画面のとき、右画面の選局をしようとすると、録画を停止するか確認する画面を表示します）

- 本機で録画用にお使いいただくＵＳＢハードディスクは、本機専用として使用してください。
- 録画用のＵＳＢハードディスクは本機のＵＳＢ３（録画用）端子に接続してください。
- ＵＳＢ３端子はスーパースピードＵＳＢ（ＵＳＢ３．０）に対応しています。（ＵＳＢ１、２端子はスーパースピードＵＳＢ（ＵＳＢ３．０）に対応していません）
  - スーパースピードＵＳＢ（ＵＳＢ３．０）対応のＵＳＢハードディスクを接続するときは、スーパースピードＵＳＢ（ＵＳＢ３．０）に対応したＵＳＢケーブルをご使用ください。
- ＵＳＢハードディスクに電源ボタンがある場合は、電源を「入」にしてください。
- ＵＳＢハードディスクを本機から取り外すときは、機器設定のＵＳＢ機器一覧から、接続しているＵＳＢハードディスクを選び、［青］ボタンを押してください。

  録画する > ＵＳＢハードディスクなどのＵＳＢ機器を接続・設定する > ＵＳＢハードディスクの設定をする
- ケーブルを接続する前に、端子の形状が一致していることを確認してください。
- 録画予約中や録画中は本体の電源を「切」にしないでください。

1 ＵＳＢ端子

2 ＵＳＢケーブル

3 ＵＳＢハードディスク

＝ 注意事項 ＝

- 以下の場合は、ＵＳＢハードディスク内のすべてのデータが消去されます。
  - 本機でＵＳＢハードディスクをフォーマットする

    録画する > ＵＳＢハードディスクなどのＵＳＢ機器を接続・設定する > ＵＳＢハードディスクの設定をする
  - パソコンなどで使用するときにＵＳＢハードディスクをフォーマットする

- 故障で本機を修理した場合などは、ＵＳＢハードディスクに録画した番組を本機で再生できなくなります。
- ＵＳＢハードディスクを本機で録画用に使用したあとに、パソコンで使用する場合、パソコンで再フォーマットが必要です。（パソコンでフォーマットするのに、特殊なツールが必要な場合があります。詳しくはＵＳＢハードディスクの取扱説明書をご参照ください。）
- 本機に登録したＵＳＢハードディスクに録画された番組は、本機でのみ再生できます。ほかのテレビ（同じ品番のテレビを含む）やパソコンなどに接続して再生することはできません。
- ＵＳＢハードディスクの動作中（再生・録画中など）に、本体の電源を切ったり、ＵＳＢケーブルを抜いたり、振動や衝撃（移動、回転など）、静電気を与えると、録画した番組が消えたり、故障の原因となります。ＵＳＢハードディスクの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 当社は他社起因によるところの操作と性能を保証しません。
  また当社はそのような他社との組み合わせによってあるいは他社の操作や性能に起因するいかなる責任あるいは損害賠償をいたしかねます。

= お知らせ =

- ラジオ放送の番組など、デジタル放送のテレビサービス以外は録画できません。
- 番組によっては、録画できないものもあります。
- 外部入力からの映像（番組）は録画できません。
- ＵＳＢハードディスクに録画した番組をハブやブロードバンドルーターを経由して、ダビング対応のディーガのハードディスクにダビングできます。

  → ネットワーク > 録画した番組をダビングする
- ＵＳＢハードディスクに録画中に録画番組を再生すると、再生している映像に影響がでる場合があります。
- ＵＳＢハードディスクについて、詳しくは以下をご参照ください。

  → 録画する > ＵＳＢハードディスクについて > ＵＳＢハードディスクについて
- ８時間以上の番組など、８時間以上連続して録画すると８時間ごとに分割し、録画一覧画面でまとめ番組として表示します。
- ＵＳＢハードディスクに録画できる最大番組数は３０００です。
- 本機で動作確認済みのＵＳＢハードディスクについては、以下のホームページで最新の情報を確認できます。

  http://panasonic.jp/support/tv/　を開く。

  「動作確認情報」→『液晶テレビ（ビエラ）』→『「ＴＨ－〇〇〇」の接続検証』から、機器を選ぶ。
- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下も合わせてご参照ください。

  → テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

ＵＳＢハードディスクの設定をする

録画用として使うために、ＵＳＢハードディスクをフォーマットし、本機に登録します。

- 接続時に登録のメッセージを表示する場合は、画面表示に従って本機に登録・設定してください。

本機に登録済みのＵＳＢハードディスクや、本機のＵＳＢ端子に接続している機器の一覧を表示します。

- **登録するとＵＳＢハードディスクをフォーマットし、すべてのデータを消去します。**
- 登録の前に、ＵＳＢハードディスクを本機に接続し、ＵＳＢハードディスクの電源を入れてください。

録画する > ＵＳＢハードディスクなどのＵＳＢ機器を接続・設定する > ＵＳＢハードディスクをお使いになる前に

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > ＵＳＢ機器一覧を選び、［決定］ボタンを押す
3. ＵＳＢハードディスクを選び、［決定］ボタンを押す
   - ＵＳＢハードディスクによっては、一覧に表示されないものもあります。
   - 選択した機器の詳細情報を表示するには［赤］ボタンを押す
4. 注意事項と確認画面が表示されるので、はいを選び、［決定］ボタンを押す
5. 表示名設定確認画面を表示します
   - 本機での表示名を自動的に表示します。変更したいときは、はいを選び、［決定］ボタンを押してください。
     - 文字入力については、📖 取扱説明書をご覧ください。
6. ＵＳＢハードディスクを録画用に設定することを確認する画面が表示されるので、はいを選び、［決定］ボタンを押す
   - 録画用に設定できるＵＳＢハードディスクは１台のみです。それまで録画用に設定していたＵＳＢハードディスクは再生用になります。

■ ＵＳＢハードディスクのモード表示について

登録［録画用］：

ＵＳＢハードディスクの録画 / 再生に使用。

（録画用に設定できるＵＳＢハードディスクは１台のみです。）

登録：

ＵＳＢハードディスクの再生に使用。

未登録：

ＵＳＢハードディスクの録画・再生に使用できません。

- 登録済みのＵＳＢハードディスクを登録［録画用］にするには［決定］ボタンを押す
- ＵＳＢハードディスクを本機から取り外すときは［青］ボタンを押す

- ＵＳＢハードディスクの表示名を変更するには［緑］ボタンを押す
- 登録［録画用］/ 登録、または接続している未登録のＵＳＢハードディスクの詳細情報を見るには［赤］ボタンを押す
- ＵＳＢハードディスクの登録を削除するときは［黄］ボタンを押す

■ 画像（写真）・動画（ビデオ）・音楽を再生するときは

パソコンなどで記録したＵＳＢハードディスクを再生するときは、録画用として登録しないで、そのままご使用ください。登録すると本機専用にフォーマットされるため、保存されている画像（写真）や動画（ビデオ）、音楽などがすべて削除されます。

= お知らせ =

- 録画用に設定できるＵＳＢハードディスクは１台のみです。
- 録画中はＵＳＢハードディスクの設定を変更することはできません
- **登録を一度解除したＵＳＢハードディスクを録画用として再使用する場合は、もう一度登録・フォーマットが必要です。録画していた番組はすべて消去されます。**
- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下も合わせてご参照ください。

テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

見ている番組を録画する

見ている番組をＵＳＢハードディスクに録画する

■ 録画ボタンでの録画時間を設定する

ＵＳＢハードディスクに見ている番組を録画する時間を設定します。
（工場出荷時は３時間録画に設定）

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > 録画設定 > 録画ボタン設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 番組終了 / ３時間録画を選び、設定する

   番組終了：

   　番組終了まで録画します。

   ３時間録画：

   　録画開始から３時間録画します。

■ 見ている番組を録画するには

● ［録画］ボタンを押す

● 録画時間の目安（連続録画の場合）

容量	標準	
	地上デジタル　ＨＤ放送 (≦ 17 Mbps)	ＢＳデジタル　ＨＤ放送 (≦ 24 Mbps)
500 GB	約 60 時間	約 40 時間
1 TB	約 120 時間	約 80 時間
2 TB	約 240 時間	約 170 時間

- 標準の録画モードは、放送そのままの画質で記録します。
  - 録画時間は転送レートにより異なります。
- ＵＳＢハードディスクに録画する場合、録画可能時間は録画予約設定画面などで確認できます。
- 録画可能時間は理論値で計算しているため、実際と異なる場合があります。番組の内容やＵＳＢハードディスクの状態によっては録画可能時間が短くなることがあります。残量に余裕がある状態で録画してください。
- ＵＳＢハードディスクに録画している番組の情報を表示するには［画面表示］ボタンを押す

■ 録画を途中で停止するには

1. ［停止］ボタンを押す
2. 停止する番組を選び、［決定］ボタンを押す
3. 確認画面ではいを選び、［決定］ボタンを押す

■ 録画した番組を再生、または消去するには

メディアプレーヤーで録画した番組を再生 / 消去します。

● ［録画一覧］ボタンを押す

メディアプレーヤー > 録画した番組を再生・編集する

- 本機はＵＳＢハードディスクに録画しながら、［再生 / １．３倍速］ボタンで視聴できます。ただし、再生している映像に影響がでる場合があります。

= お知らせ =

- ８時間以上連続して録画すると８時間ごとに分割し、録画一覧画面でまとめ番組として表示します。
- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下も合わせてご参照ください。

テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

録画予約をする

録画予約について

ＵＳＢハードディスクやビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応の録画機器に録画したい番組を予約設定することができます。

- 地上デジタル放送、ＢＳデジタル放送、１１０度ＣＳデジタル放送の番組を録画予約できます。（ラジオ放送の番組は録画できません。）
- ［アプリ］ボタンを押して予約一覧を選び、［決定］ボタンを押すと、予約状況などが確認できます。
- 予約が完了すると、最大約１０秒間、メッセージを表示します。
- 録画機器がＵＳＢ　ＨＤＤのとき、予約番組が重なっていると予約重複のメッセージを表示します。はいを選び、［決定］ボタンを押すと予約重複確認画面を表示します。削除 / 取り消したい番組を選び、［黄］ボタンを押して重複を解除してください。
- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下も合わせてご参照ください。

  テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

■ ディーガに録画する場合

ディーガ（ビエラリンク）を選択すると、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）に録画予約します。

ディーガを選択すると、お部屋ジャンプリンクに対応したディーガに録画予約します。

（表示される機器名はディーガで設定します）

- タイマー予約すると本機から録画機器に予約情報が送られ録画機器がタイマー予約状態になります。
  - 番組情報に基づいて９日以上先の録画予約をした場合は、放送の６日前頃に、予約情報が本機より録画機器に送信されます。
- 確認画面（またはエラー画面）が出た場合には、表示内容を確認し、操作してください。
- レコーダーで複数の録画予約をする場合、番組の間隔が１分未満のときは、１つの番組として録画されることがあります。
- 予約した番組はディーガのチューナーで受信して録画されます。（本機のＬＡＮ端子から、予約した番組の映像や音声は出力しません）
- 有料番組や視聴制限、録画予約の重複についてはディーガ側の設定に依存します。設定については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。

■ ＵＳＢハードディスクに録画する場合

ＵＳＢ　ＨＤＤを選択すると、本機に接続したＵＳＢハードディスクに録画予約します。

- 本機にＵＳＢハードディスクを登録し、録画用に設定する必要があります。

  録画する > ＵＳＢハードディスクなどのＵＳＢ機器を接続・設定する
- 本機をご使用にならないときは、リモコンで電源を「切」にしてください。（本体の電源を「切」にすると録画予約が実行されません）

- 録画予約の変更や取り消し、録画中の番組を停止したいときは、以下をご参照ください。

  録画する > 録画予約をする > 予約の設定を変更する

- 予約完了すると、番組表に予約マークを表示します。
- 最大６４件の録画予約ができます。
- ＵＳＢハードディスクに録画できる最大番組数は３０００です。
- ８時間以上の番組は８時間ごとに分割して録画し、録画一覧画面でまとめ番組として表示します。

■ 録画モードについて

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応のディーガへ録画予約するとき

- 録画モードの指定はできません。ディーガ側で決められた録画モードで録画予約されます。（「－－」と表示します。）

お部屋ジャンプリンクに対応したディーガなどへ録画予約するとき

- 録画モードを選んでください。
  （選べる録画モードは接続した録画機器により変わります）
  - 録画機器の取扱説明書をご覧の上、録画機器で対応している録画モードを設定してください。

ＵＳＢハードディスクへ録画予約するとき

- 録画モードは標準のみです。
- 録画時間の目安について、詳しくは以下をご参照ください。

  録画する > 見ている番組を録画する > 見ている番組をＵＳＢハードディスクに録画する

日時を指定して録画予約する

時間指定予約で最大１年先までの予約や毎日、毎週などの繰り返しの予約ができます。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. タイマー設定 > 時間指定予約を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   予約方式 / 放送種別／チャンネル / 曜日／日 / 毎週予約設定 / 開始時刻 / 終了時刻 / 録画機器 / 録画モード
4. 項目ごとに設定する
5. 予約するを選び［決定］ボタンを押す

予約方式

録画：

録画予約に設定します。テレビがついた状態の場合、録画が始まる時間の約３０秒前にお知らせを表示します。

- ２画面時など録画が始まると、視聴中のチャンネルが自動的に切り換わる場合があります。

見るだけ：

見るだけ予約に設定します。テレビがついた状態の場合、予約番組が始まる約３０秒前にお知らせ表示します。

放送種別／チャンネル

［決定］ボタンを押して、録画したい放送 / チャンネルを設定する

曜日／日

録画する日付を設定する

毎週予約設定

［決定］ボタンを押して、毎週予約の曜日指定を設定する

- 曜日ごとにする / しないの設定をすることもできます。
- 毎週予約を設定しない場合はしないに設定してください。

開始時刻

録画したい番組の開始時刻を設定する

終了時刻

録画したい番組の終了時刻を設定する

録画機器

録画機器の種類を設定する

録画モード

録画モードを選択する

= お知らせ =

- 録画機器・録画モードについて、詳しくは以下をご参照ください。

  録画する > 録画予約をする > 録画予約について

- 毎週予約設定を毎日や毎週（火）などに設定してＵＳＢハードディスクに繰り返し録画した番組は、録画一覧画面でまとめ番組として表示します。
- 録画機器をＵＳＢ　ＨＤＤ以外に設定しているときは、毎週予約設定で曜日ごとの指定はできません。
- 確認画面またはエラー画面が出た場合には、表示内容を確認し操作してください。

番組を探して録画予約する

ＵＳＢハードディスクやビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応の録画機器に録画予約する機能です。

1. 番組表や検索結果などから録画予約したい番組を選び、［決定］ボタンを押す
2. 番組内容を確認し、録画予約を選択して［決定］ボタンを押す
   - 地上デジタル放送、ＢＳデジタル放送、１１０度ＣＳデジタル放送の番組を録画予約できます。（ラジオ放送の番組は録画できません。）
   - 録画予約を確認 / 変更 / キャンセルするには

     → 録画する > 録画予約をする > 予約の設定を変更する
   - 録画予約が設定されていると、リモコンで電源「切」時、電源ランプが橙色に点灯します。
   - 番組表に戻るには［戻る］ボタンを押す
   - 放送が始まっている番組を選択した場合、番組を見るか録画を開始するか選択できます。現時点から録画を開始するときは録画予約を選択してください。
3. 録画機器が録画対象の機器になっていることを確認し、予約するを選択して［決定］ボタンを押す
   - 予約が完了すると、最大約１０秒間、メッセージを表示します。
   - 録画機器がＵＳＢ　ＨＤＤのとき、予約番組が重なっていると予約重複のメッセージを表示します。はいを選び、［決定］ボタンを押すと予約重複確認画面を表示します。削除 / 取り消したい番組を選び、［黄］ボタンを押して重複を解除してください。
   - 録画機器について、詳しくは以下をご参照ください。

     → 録画する > 録画予約をする > 録画予約について

■ 録画機器を選択する

複数の録画機器を接続している場合は、以下の手順で録画機器を選択してください。

1. 録画予約設定画面で詳細設定を選び、［決定］ボタンを押す
2. 録画機器で録画したい機器を選び、設定する
   - ［戻る］ボタンを押すと、録画予約設定画面に戻ります。

■ かんたん予約 / かんたん予約削除

番組表から録画予約したい番組を選択して［録画］ボタンを押すと、予約が完了します。

もう一度［録画］ボタンを押すと、予約を削除します。

= お知らせ =

- ＵＳＢハードディスクに番組を録画するには、ＵＳＢハードディスクを本機でフォーマットし、ＵＳＢ機器一覧で本機に登録して録画用に設定する必要があります。

  → 録画する > ＵＳＢハードディスクなどのＵＳＢ機器を接続・設定する
- 外出先などで、スマートフォンなどのネットワーク機器から録画予約を設定することができます。

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > メディアアクセス機能を設定する

- ８時間以上の番組は８時間ごとに分割して録画し、録画一覧画面でまとめ番組として表示します。

番組を探して毎週予約する

番組を一度、毎週予約するに設定すると、次回以降の放送は番組開始時刻や番組タイトル、チャンネルなどから番組を検索し自動的に予約設定します。（番組表データの、放送チャンネル・時間帯・番組名などから次回の放送を自動検索します。）

1. 番組表や検索結果などから録画予約したい番組を選び、［決定］ボタンを押す
2. 番組内容を確認し、録画予約を選択して［決定］ボタンを押す
3. 録画機器が録画対象の機器になっていることを確認し、毎週予約するを選択して［決定］ボタンを押す

■ 毎週予約について

- 番組名が前回と大きく異なる場合や、次回の放送時間が３時間以上前後した場合は、次回の放送を検索できないことがあります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。
- １つの毎週予約するからは、１日に１回だけ同じ時間帯の番組が予約設定されます。（同じ番組が１日に複数回放送される場合でも、１回だけ予約設定します）
- 録画機器の状態により、次回の予約が登録されなかったり実行できない場合があります。（起動 / 終了処理中など）
- 次回の予約が設定されるまで、最大１日かかる場合があります。
- 毎週予約するに設定してＵＳＢハードディスクに繰り返し録画した番組は、録画一覧画面でまとめ番組として表示します。
- 毎週予約で最終回の番組を録画した場合は、録画一覧画面で最終回の番組を録画したお知らせと、予約一覧から削除することをおすすめするメッセージを表示します。不要になった予約は削除してください。

→ 録画する > 録画予約をする > 予約の設定を変更する

予約の詳細設定をする

1. 番組表や検索結果などから録画予約したい番組を選び、［決定］ボタンを押す
2. 番組内容を確認し、録画予約を選択して［決定］ボタンを押す
   - すでに予約設定されている番組を変更するときは、設定変更を選び、［決定］ボタンを押します。
3. 録画予約設定画面で詳細設定を選び、［決定］ボタンを押す
   - 録画機器がＵＳＢ　ＨＤＤのときは、録画予約設定画面上部に録画可能時間を表示します。
4. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   予約方式 / 録画機器 / 録画モード / 毎週予約設定 / 時間指定予約へ
   - 録画機器によっては選べない項目があります
5. 項目ごとに設定する
6. 予約するまたは修正するを選び［決定］ボタンを押す

予約方式

すでに予約設定されている番組のときに設定できます。

録画を選択すると、録画予約に設定します。

見るだけを選択すると、見るだけ予約に設定します。

- 見るだけを選んだときは、録画機器や録画モード、録画番組のプロテクトは設定できません。

録画機器

録画機器の種類を設定する

録画モード

録画モードを選択する

毎週予約設定

［決定］ボタンを押して、毎週予約の曜日指定を設定します。

- 曜日ごとにする / しないの設定をすることもできます。
- 毎週予約を設定しない場合はしないに設定してください。

時間指定予約へ

時間指定予約をするための確認画面を表示します。はいを選び、［決定］ボタンを押すと時間指定予約画面を表示します。

→ 録画する > 録画予約をする > 日時を指定して録画予約する

= お知らせ =

- 録画機器・録画モードについて、詳しくは以下をご参照ください。

  → 録画する > 録画予約をする > 録画予約について

- 毎週予約設定を毎日や毎週（火）などに設定してＵＳＢハードディスクに繰り返し録画した番組は、録画一覧画面でまとめ番組として表示します。
- 録画機器をＵＳＢ　ＨＤＤ以外に設定しているときは、毎週予約設定で曜日ごとの指定はできません。
- ディーガを接続して録画機器をディーガ（ビエラリンク）に設定したときは、予約方式、録画モードおよび録画番組のプロテクトは選べません。
- ディーガをネットワークに接続してお部屋ジャンプリンクで録画予約するときは、録画番組のプロテクトは選べません。

録画番組のプロテクトを設定する

誤消去を防ぐために、録画番組にプロテクト設定できます。プロテクト設定中の番組は消去できません。（フォーマットした場合は、プロテクト設定していても消去されます。）

1. 詳細設定画面や時間指定予約画面から、録画番組のプロテクトを選び、する / しないを設定する
2. 予約するまたは修正するを選び、［決定］ボタンを押す

- 録画番組のプロテクトをするに設定すると、ＵＳＢハードディスクに録画予約する番組のプロテクトを設定します。

  録画番組のプロテクトを設定しないときはしないに設定してください。

オートチャプターを設定する

デジタル放送の録画時、自動で番組にチャプターマークを付ける設定ができます。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > 録画設定 > オートチャプターを選び、［決定］ボタンを押す
3. オンを選び、設定する
   - オン（工場出荷時）に設定すると、デジタル放送の録画時に自動的にチャプターマークを作成します。

録画予約で利用できるアプリやサービスについて

本機ではアプリ一覧で以下のアプリやサービスを利用することができます。

- 利用できるアプリやサービス内容は予告なく変更する場合があります。

1. ［アプリ］ボタンを押して、アプリ一覧画面を表示する
2. アプリを選び、［決定］ボタンを押す

   最新ニュース / ニューストピックス / フリーワード録画

   - 以降は画面の表示内容に従って操作してください。

■ 最新ニュース

- 地上デジタル放送で指定したチャンネルのニュース番組を、自動でＵＳＢハードディスクに録画予約することができます。
- 録画したニュースは、最新ニュースやニューストピックスで見ることができます。

= お知らせ =

- 放送時間が１５分未満のニュース番組は録画予約しません。
- 録画したニュース番組は４８時間後に、自動で消去します。
  - リモコンで電源を「切」にし、録画などの動作を行っていない場合に消去します。
  - ４８時間経過前のニュース番組でもＵＳＢハードディスクの残量が少なくなると、消去する場合があります。
- 録画一覧画面からも録画したニュース番組を再生することができます。
  - 録画一覧画面では「ニュース番組」として、まとめ表示します。
  - まとめ番組の作成やまとめ番組の解除、プロテクト設定、番組名編集はできません。
- 予約が重なった場合は、番組表などからの録画を優先するため ニュース番組を録画できません。

■ ニューストピックス

- 最新ニュースを利用して録画したニュース番組の中から、話題のニュースに該当するシーンを一覧で表示することができます。

  見たいシーンを選び、［決定］ボタンを押してください。
- 本機をインターネットに接続する必要があります。

  → ネットワーク > ネットワークに接続する

  → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする
- ニューストピックスをご利用になるには、以下のホームページで会員登録を行ってください。

  http://r.me-mora.jp/

= お知らせ =

- シーン一覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。
- シーン情報は、放送後一定期間保存していますが、保存期間が過ぎるとシーン再生はできなくなります。

詳しくは、ミモーラのホームページをご覧ください。

http://me-mora.jp/

- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下も合わせてご参照ください。

テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

■ フリーワード録画

- フリーワードを登録して、番組情報から該当する番組を自動で検索して録画予約することができます。
  また、検索する放送の種類を設定したり、録画した番組を設定期間後に自動で消去することもできます。

= お知らせ =

- 録画一覧画面からフリーワード録画した番組を再生することができます。
  - 録画一覧画面ではフリーワードごとに、まとめ表示します。
  - まとめ番組の作成やまとめ番組の解除、番組名編集はできません。
- 予約一覧画面では、フリーワードごとに、まとめ表示します。
- 予約が重なった場合は、番組表などからの録画を優先するためフリーワードで検索した番組を録画できません。

予約の確認をする

予約された番組や予約履歴の一覧を表示します。

- 予約番組の変更や削除をしたり、予約履歴の削除ができます。

1. ［アプリ］ボタンを押して、アプリ一覧画面を表示する
2. 予約一覧を選び、［決定］ボタンを押す
    - 予約一覧の画面を表示します。

= お知らせ =

- 実行前の予約した番組（お客様の操作）と自動予約の番組（最新ニュースなど）、実行済みの予約（履歴）をそれぞれ６４件まで表示します。

予約の設定を変更する

1. ［アプリ］ボタンを押して、アプリ一覧画面を表示する
2. 予約一覧を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定を変更したい予約番組を選び、［決定］ボタンを押す
4. 予約内容画面で設定変更を選び、［決定］ボタンを押す
5. 内容を修正して、修正するを選び、［決定］ボタンを押す
   - 設定変更画面で詳細設定を選び、予約の詳細設定を変更したり、毎週予約に変更するを選び、毎週予約に変更することもできます。
   - 予約重複のメッセージを表示したときはいを選び、［決定］ボタンを押すと予約重複確認画面で、重複した予約番組を削除できます。

→ 録画する > 録画予約をする > 録画予約について

■ 予約を取り消すには

1. 予約一覧画面で［黄］ボタンを押す
2. 確認画面ではいを選び、［決定］ボタンを押す
   - 予約内容画面から予約削除（実行前の場合）または取り消し（実行中の場合）を選び、［決定］ボタンを押しても予約を取り消します。

■ 録画を途中で停止するには

1. テレビ視聴中に［停止］ボタンを押す
2. 停止する番組を選び、［決定］ボタンを押す
3. 確認画面ではいを選び、［決定］ボタンを押す

- 予約内容画面から取り消しを選び、［決定］ボタンを押しても録画を停止します。
- 実行済みの予約（履歴）を選び、［黄］ボタンを押すと、予約一覧から削除されます。
  - 予約内容画面から履歴削除を選び、［決定］ボタンを押しても履歴を削除できます。

■ 実行済みの予約（履歴）を一括で削除するには

1. 予約一覧を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
2. 全履歴削除を選び、［決定］ボタンを押す
3. 確認画面ではいを選び、［決定］ボタンを押す

= お知らせ =

- 毎週予約を設定した番組の予約を削除すると、次回以降の予約もすべて削除します。
  （予約内容画面の予約削除で削除した場合は、予約削除確認画面は表示しません）
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）やお部屋ジャンプリンクで予約した場合は、本機から予約情報の削除や変更はできません。本機からディーガに送信された予約情報の削除や変更はディーガで操作してください。

毎週予約の予約状況を確認・変更する

毎週予約設定を毎日や毎週（火）など曜日を設定した予約番組の、次回以降の予約状況や重複を確認したり、一時的に予約の実行を止めることができます。

1. ［アプリ］ボタンを押して、アプリ一覧画面を表示する
2. 予約一覧を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定を確認したい毎週予約の番組を選び、［決定］ボタンを押す
4. 予約内容画面で毎週一覧を選び、［決定］ボタンを押す
   - 毎週一覧の画面を表示し、次回以降の予約状況が確認できます。（最大８日間の予約を表示します）

■ 次回以降の予約実行を止める

1. 毎週一覧画面で、実行を止める予約番組を選び、［決定］ボタンを押す
2. 予約実行を選び、切に設定する
   - 予約実行を切に設定すると、予約一覧画面に予約実行切を表示します。
   - ［戻る］ボタンを押すと、毎週一覧画面に戻ります。

= お知らせ =

- 実行中の予約は予約実行を切に設定できません。

■ 予約の重複を確認 / 削除する

1. 毎週一覧画面で、重複している予約番組を選び、［決定］ボタンを押す
2. 重複確認を選び、［決定］ボタンを押す
   - 予約重複確認画面を表示します。
3. 削除 / 取り消したい予約番組を選び、［黄］ボタンを押す
   - ［戻る］ボタンを押すと、毎週一覧画面に戻ります。

■ 録画した番組を再生、または消去するには

メディアプレーヤーで録画した番組を再生 / 消去します。

● ［録画一覧］ボタンを押す

→ メディアプレーヤー > 録画した番組を再生・編集する

- ＵＳＢハードディスクに録画中に録画番組を再生すると、再生している映像に影響がでる場合があります。

お知らせ

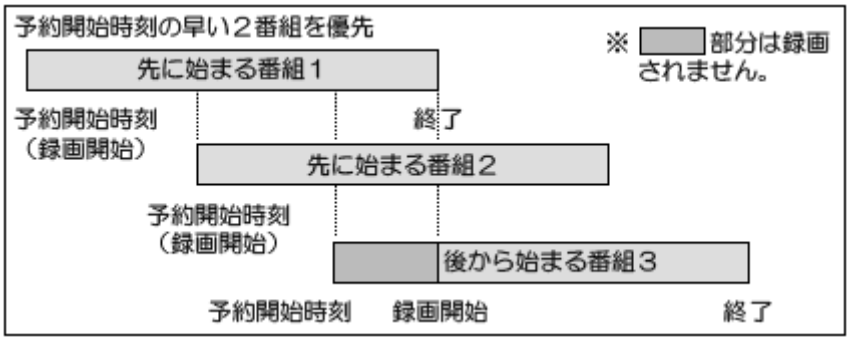
- 最大６４件の録画予約ができます。
- 録画予約は、テレビがオン、またはスタンバイ状態でなければ働きません。また、見るだけ予約は、テレビがオンの状態でなければ働きません。
- テレビがついた状態の場合、録画が始まる時間の約３０秒前にお知らせを表示します。
- 録画予約が設定されていると、リモコンで電源「切」時、電源ランプが橙色に点灯します。
- ＵＳＢハードディスクについて、詳しくは以下をご参照ください。

録画する > ＵＳＢハードディスクについて > ＵＳＢハードディスクについて

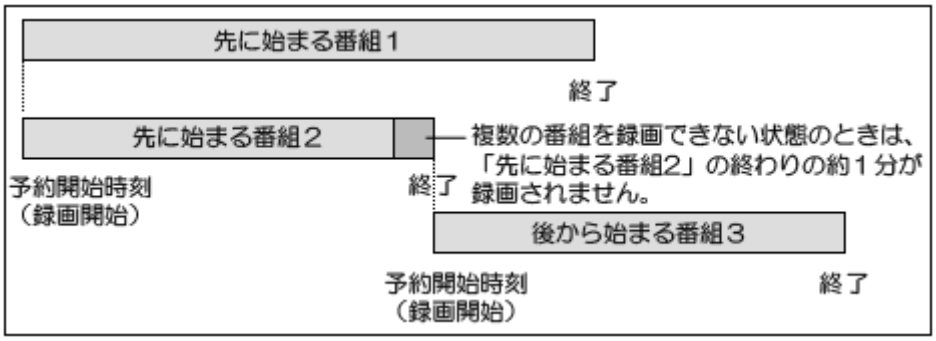
■ 予約の優先順位について

予約した番組の放送開始時刻がほかの予約した番組と重なり同時に録画できない場合は、本機内部で優先順位を付けて、自動的に予約動作を行います。

例：２番組録画中に予約が重複した場合は



例：２番組録画中に「先に始まる番組２」の終了時刻と、「後から始まる番組３」の開始時刻が同じ場合は



= お知らせ =

- 上記以外の場合は、予約一覧の順に録画します。
- 録画予約と［録画］ボタンによる録画が重複した場合は、録画予約が優先されます。

ＵＳＢハードディスクについて

ＵＳＢハードディスクについて

- 本機に登録できるのは、容量が１６０ GB 以上のＵＳＢハードディスクです。
- ＵＳＢハードディスクに電源ボタンがある場合は、電源を「入」にしてください。
- 本機でフォーマットしたＵＳＢハードディスクをご使用ください。

録画する > ＵＳＢハードディスクなどのＵＳＢ機器を接続・設定する > ＵＳＢハードディスクの設定をする

- ＵＳＢハードディスクによっては、動作しないものもあります。本機で動作確認済みのＵＳＢ機器については、以下のホームページで最新の情報を確認できます。

  http://panasonic.jp/support/tv/

= お知らせ =

- パソコンで編集したデータは、再生できないことがあります。
- 本機がデータにアクセスしているときに、機器を取り外さないでください。本機や機器が故障することがあります。
- 機器の金属ピン部に触らないでください。
- 機器に強い振動や衝撃を与えないでください。
- 電気的干渉や静電気、誤操作により、本機や機器が故障することがあります。
- たばこの煙や殺虫剤の煙、ほこりなどがＵＳＢハードディスクの内部に入ると、故障の原因となります。
- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下も合わせてご参照ください。

テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

メディアプレーヤー

メディアプレーヤーを使う

メディアプレーヤーについて

メディアプレーヤーで、ＳＤメモリーカードやＵＳＢ機器、ネットワーク機器などに保存している、写真やビデオ、録画番組、音楽などのコンテンツを、再生することができます。

（例）

写真一覧：

デジタルカメラなどで撮影した写真を再生します。

ビデオ一覧：

デジタルビデオカメラなどで撮影した動画やビデオ映像を再生します。

音楽一覧：

音楽データを再生します。

録画一覧：

ＵＳＢハードディスクに録画した番組を再生します。

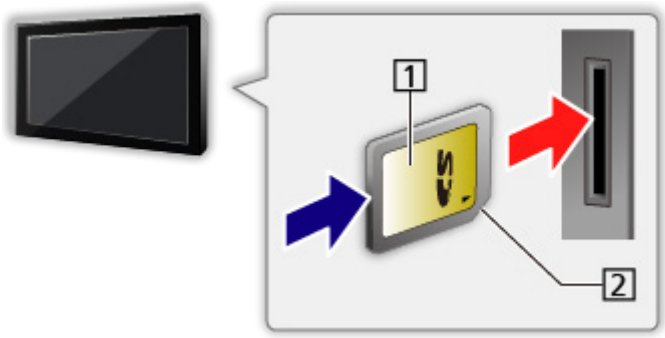
- メディアプレーヤーを使用しているときは、デジタル音声出力端子、ＨＤＭＩ１端子（ＡＲＣ対応）から音声信号が出力されています。ＨＤＭＩ１端子のＡＲＣ出力機能を利用するには、ＡＲＣ対応のアンプを接続してください。

  いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う

- 録画や撮影する機器によって記録された日付が表示されます。日付が不明のデータは、「＊＊＊＊／＊＊／＊＊」や「日付不明」で表示されます。
- ご使用の録画機器によっては、正しく表示されないことがあります。
- ファイルやフォルダが多い場合は、表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 一部不具合のあるファイルなどは、低い解像度で表示されることがあります。
- メディアプレーヤーでは、場合によって、映像調整の設定が効かないことがあります。
- ご使用のデジタルカメラやデジタルビデオカメラによって、フォルダ名やファイル名が異なることがあります。

■ ＳＤメモリーカードを本機に入れる / 取り出す

ラベル側を本機の前面へ向け、奥までゆっくり差し込みます。カチッと音がするまで、カード底面の真ん中を押します。（取り出すときは、再度、カード底面の真ん中を押します。）



1 ラベル面

2 切欠き

= お知らせ =

- ＵＳＢハードディスクを接続するには

  録画する > ＵＳＢハードディスクなどのＵＳＢ機器を接続・設定する

- ケーブルを接続する前に、端子の形状が一致していることを確認してください。
- 機器に関する情報は

  メディアプレーヤー > 接続機器について

- 本機で再生できるファイルフォーマットは

  メディアプレーヤー > メディアプレーヤーで再生できるコンテンツ

機器やコンテンツを選択する

1. ＳＤメモリーカードやＵＳＢ機器を本機に接続する
   - ＵＳＢハードディスクのコンテンツを再生するときは、接続と設定ができていることをご確認ください。

     録画する > ＵＳＢハードディスクなどのＵＳＢ機器を接続・設定する
   - ネットワーク機器のコンテンツを再生するときは、接続と設定ができていることをご確認ください。

     メディアプレーヤー > メディアプレーヤーを使う > ファイル共有機能を使う
2. ［ホーム］ボタンを押す
3. 接続機器一覧を選び、［決定］ボタンを押す
4. 再生したいコンテンツを保存している機器を選び、［決定］ボタンを押す
   - 本機と接続しているネットワーク機器も表示されます。
     - ネットワーク機器によっては、ユーザー名 / パスワードの入力が必要な場合があります。
5. 写真一覧 / ビデオ一覧 / 音楽一覧 / 録画一覧を選び、［決定］ボタンを押す

   写真一覧

   メディアプレーヤー > 写真を再生する

   ビデオ一覧

   メディアプレーヤー > ビデオ映像を再生する

   音楽一覧

   メディアプレーヤー > 音楽を再生する

   録画一覧

   メディアプレーヤー > 録画した番組を再生・編集する
6. 一覧画面が表示される

   （例）

- 選択したコンテンツの詳細情報を表示するには［データ］ボタンを押す

■ コンテンツを変更する

一覧画面からメディアプレーヤーの他のコンテンツに切り換えることができます。

1. 一覧画面が表示されているときに、［黄］ボタンでコンテンツ選択画面を表示する
2. コンテンツを選び、［決定］ボタンを押す

- 現在再生している機器の中でコンテンツを切り換えることができます。

ファイル共有機能を使う

ファイル共有サーバー機能に対応したネットワーク機器（パソコンなど）に保存している写真や動画（ビデオ映像）、音楽ファイルを、本機のメディアプレーヤーで再生できます。

- この機能を利用するには、本機をホームネットワークに接続する必要があります。

  → ネットワーク > ネットワークに接続する

  → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

■ ネットワーク機器の設定をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ファイル共有設定 > ネットワーク機器一覧を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定するネットワーク機器を選び、［決定］ボタンを押す
   - 新しく機器を登録する場合は新規登録を選び、設定します。
4. サーバー名 / 共有フォルダ名 / ユーザー名 / パスワードを選び、設定する
   - 文字入力については、📖 取扱説明書をご覧ください。
   - サーバー名 / 共有フォルダ名は新しく機器を登録する場合に設定します。
   - 設定については、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
5. 登録を選び、［決定］ボタンを押す
   - 登録を解除するには消去を選び、［決定］ボタンを押した後、画面の表示内容に従って操作してください。

= お知らせ =

- 本機に登録できるネットワーク機器は、最大で４８台です。
- ファイル共有機能の設定をするには、パソコンなどの機器側の設定が必要な場合があります。詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認ください。
- 動作確認済みのパソコンＯＳは、Windows® 7、Windows® 8、OS X 10.8 (Mountain Lion) です。
  - 動作確認済み対応ＯＳは、すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。対応ＯＳ以外やＯＳのアップグレード環境、お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
  - パソコンＯＳや対応するネットワーク機器などについては、以下の手順でメニュー画面に表示するホームページをご覧ください。

    1)［メニュー］ボタンを押す

    2) ネットワーク設定 > ファイル共有設定を選び、［決定］ボタンを押す

ファイル共有サーバー機能を使う

ご使用のパソコンに保存している写真や動画（ビデオ映像）、音楽ファイルを、本機に接続しているＵＳＢハードディスクやＳＤメモリーカードに転送し、メディアプレーヤーで再生できます。

- コンテンツを転送可能なＵＳＢハードディスクは、本機に録画用または再生用として登録済みのＵＳＢハードディスクです。
- この機能を利用するには、本機をホームネットワークに接続する必要があります。

  → ネットワーク > ネットワークに接続する

  → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ファイル共有設定 > ファイル共有サーバー機能を選び、［決定］ボタンを押す
3. オンを選び、設定する
4. パソコンを操作してファイルを転送する

- 操作については、以下のホームページをご覧ください。

  http://panasonic.jp/support/tv/network/netfs/index.html
- この機能をご使用になるときは、テレビ本体の電源を「切」にしないでください。
- ファイル共有サーバー機能がオンの場合は、以下のときにリモコンで本機の電源を「切」にしても、ファイル共有サーバー機能が利用できます。
  - お部屋ジャンプリンク設定のサーバー機能がオンに設定中
  - ＴＶリモート設定のリモート電源オン機能がオンに設定中
  - ＴＶリモート設定の転送機能がいつでも有効に設定中
  - ディモーラの設定のディモーラ機能が入に設定中
  - メディアアクセス設定のメディアアクセス機能がオンに設定中
  - 設置設定のクイックスタートが入に設定中で、電源「切」にして２４時間以内のとき

= お知らせ =

- ファイル共有機能の設定をするには、パソコンなどの機器側の設定が必要な場合があります。詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認ください。
- 動作確認済みのパソコンＯＳは、Windows® 7、Windows® 8、OS X 10.8 (Mountain Lion) です。
  - 動作確認済み対応ＯＳは、すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。対応ＯＳ以外やＯＳのアップグレード環境、お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
  - パソコンの対応ＯＳについては、以下のホームページで確認できます。

    http://panasonic.jp/support/tv/
- 読み込みやコピーなどの操作中に、本体の電源を切ったり、コンセントを抜いたり、機器を取り外したりしないでください。機器の故障やデータの破壊の原因となります。
- **本機でＵＳＢハードディスクを録画用にフォーマットすると、ＵＳＢハードディス**

ク内のすべてのデータが消去されます。

- ＵＳＢハードディスクの接続については

  録画する > ＵＳＢハードディスクなどのＵＳＢ機器を接続・設定する

- 読み込みやコピーなどの操作中に、メディアプレーヤーで再生を始めると、画面が乱れることがあります。
- ＵＳＢ機器やＳＤメモリーカードについては

  メディアプレーヤー > 接続機器について

- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下も合わせてご参照ください。

  テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

写真を再生する

ファイルを選択して再生する

一覧表示からファイルを選び、［決定］ボタンを押して 1 枚ずつ見る

：エラー表示

- 一覧に表示される枚数を変えるには
  1) 写真一覧を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
  2) 表示枚数切換を選び、［決定］ボタンを押す
- 本機で再生できるファイルフォーマットは

  → メディアプレーヤー > メディアプレーヤーで再生できるコンテンツ > 写真（画像）のフォーマット

■ 一覧表示

- 選択したコンテンツの詳細情報を表示するには［データ］ボタンを押す
- スライドショー設定を表示するには［青］ボタンを押す

  → メディアプレーヤー > 写真を再生する > スライドショーで見る
- 写真を分類して一覧表示するには［赤］ボタンを押す
- コンテンツを変更するには［黄］ボタンを押す

写真をシングル表示で操作する

■ 写真を見る

- 写真をシングル表示させて１枚ずつ見る

  ◁ ：前の写真へ

  ▷ ：次の写真へ

  ▽ ：停止（一覧表示に戻る）

  ［決定］：スライドショー

- 操作ガイドを表示 / 非表示するには［画面表示］ボタンを押す
- ９０°回転するには［黄］ボタンを押す
- 一覧表示に戻るには［戻る］または [▽] ボタンを押す

= お知らせ =

- 表示される写真の大きさは、写真の解像度により異なります。（常に画面いっぱいに表示されるわけではありません）

写真を分類表示する

■ フォルダ別、日付別、月別に分類表示する

1. 一覧画面が表示されているときに、［赤］ボタンで表示切換画面を表示する
2. フォルダ別 / 日付別 / 月別を選び、［決定］ボタンを押す

フォルダ別：

フォルダ別に分類表示します。

- ルートフォルダにある写真データは、「/」のフォルダに集められます。

日付別 / 月別：

日付別 / 月別に分類表示します。

- 撮影年月日が不明の写真は「日付不明」のグループに分類します。

- すべての写真の一覧表示に戻るには

1) 一覧画面が表示されているときに、［赤］ボタンで表示切換画面を表示する
2) 全画像を選び、［決定］ボタンを押す

スライドショーで見る

スライドショーは、一覧表示の写真をすべて表示し終わるまで続きます。

1. 一覧表示からファイルを選択する
2. ［青］ボタンでスライドショー開始を選び、［決定］ボタンを押してスライドショーを開始する
   - 操作ガイドを表示 / 非表示するには［画面表示］ボタンを押す
   - 一時停止（シングル表示に戻る）するには［決定］ボタンを押す
   - 一覧表示に戻るには［戻る］ボタンを押す
   - スライドショー設定のＢＧＭを設定することで、ＢＧＭ（バックグラウンド・ミュージック）を変更することができます。（以下参照）

■ スライドショー設定

スライドショーの表示方法やＢＧＭなどを設定します。

1. 写真一覧を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
2. スライドショー設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   表示モード / 表示間隔 / リピート / ＢＧＭ
4. 項目ごとに設定する

表示モード

（ノーマル / ズーム）

写真を拡大して表示できます。

- ポートレートスタイルなど、写真のサイズによっては画面いっぱいに拡大できないものもあります。

表示間隔

（長い / 普通 / 短い）

スライドショーで写真を切り換える間隔が設定できます。

- 写真サイズによっては、表示間隔に差が出ることがあります。また、写真サイズが大きいときは、表示間隔が長くなります。

リピート

（オン / オフ）

スライドショーで繰り返し見ることができます。

- 分類表示をしているときは、分類内の写真を繰り返し表示します。

ＢＧＭ

（オフ / ＢＧＭ１ / ＢＧＭ２ / ＢＧＭ３ / ＢＧＭ４ / ＢＧＭ５ / ユーザー / オート）

写真の表示中に再生するＢＧＭ（バックグラウンド・ミュージック）をお好みに合わ

せて選べます。

BGM1 - 5：

本機に内蔵されているデータを再生します。

オート：

写真が保存されている機器から音楽を自動的に再生します。

- 再生可能な音楽コンテンツがない場合は、ＢＧＭを再生しません。

ユーザー：

写真が保存されている機器から選んで音楽を再生します。

- 音楽が選ばれていなかったり選んだ音楽が機器から消去されると、ＢＧＭを再生しません。

● 音楽を選ぶには

1) 音楽ファイルを選び、［決定］ボタンを押す

- 機器のデータ保存状態によっては、目的の音楽ファイルを選択するのにフォルダを開く必要があります。

2) ファイル / フォルダを選び、設定する

ファイル：

選択した１曲のみ再生します。

フォルダ：

フォルダ内のすべての音楽を再生します。

= お知らせ =

- スライドショー設定の設定によっては、画質が悪くなることがあります。
- スライドショー設定の設定によっては、映像調整の設定が反映されないことがあります。

ビデオ映像を再生する

ファイルを選択して再生する

1. 一覧表示からタイトルを選択する

   ：エラー表示

   ：一覧表示に対応していないファイル

   - ファイルがプレビューに対応している場合、一覧表示のタイトルやシーンを選択すると、プレビューが始まります。

2. ［青］ボタンを押して再生する

   - 前回、再生を途中で停止したシーンを再生するとき、停止した場面から再生するか、先頭から再生するかの選択画面が表示された場合は、設定を選び、［決定］ボタンを押すと再生が始まります。

- 本機で再生できるファイルフォーマットは

  メディアプレーヤー > メディアプレーヤーで再生できるコンテンツ > 動画（ビデオ映像）のフォーマット

■ 一覧表示

- 選択したコンテンツの詳細情報を表示するには［データ］ボタンを押す
- コンテンツを変更するには［黄］ボタンを押す

■ シーン表示から選んで再生する

選択したシーンから再生が始まり、そのシーンを含んでいるタイトルの最後まで再生が続きます。

1. タイトルを選び、［決定］ボタンを押す
2. シーンを選択する
3. ［決定］ボタンを押して再生する

- タイトルやシーンの構成は、ご使用のデジタルビデオカメラによって異なります。
- 映像コンテンツによっては、シーンを続けて再生できない場合があります。
- 再生を繰り返すには

メディアプレーヤー > ビデオ映像を再生する > ビデオ映像の音声や字幕などを設定する

■ ビデオ映像を再生する

- 再生中の操作について

◁ ：早戻し（押すたびに５段階に速度が速くなります）

▷ ：早送り（押すたびに５段階に速度が速くなります）

▽ ：停止

［決定］：一時停止（タイムシークバーを表示します）/ 再生

- 見たい場面に移動する

1) ［決定］ボタンを押してタイムシークバーを表示する

2) タイムシークバーが表示している間に

◁ / ▷ ボタンを押す：

サーチ（カウンターを約１０秒進める / 戻す）

◁ / ▷ ボタンを押し続ける：

サーチ

3) ［決定］ボタンを押して見たい場面に移動する

- 操作ガイドと情報バーを表示 / 非表示するには［画面表示］ボタンを押す
- 前のタイトル / シーンにスキップするには［青］ボタンを押す
- 次のタイトル / シーンにスキップするには［赤］ボタンを押す

■ 画面モードを切り換えるには

1. 再生中に［画面モード］ボタンを押す
2. 画面モードを設定する

モード１ ：

元の映像の横縦比と大きさのまま表示します。

モード２ ：

元の映像の横縦比を保ちながら、画面に収まる範囲で拡大します。

- コンテンツによっては、画面モードを切り換えることができないものもあります。

- 一覧表示に戻るには［戻る］ボタンを押す

ビデオ映像の音声や字幕などを設定する

ビデオ映像の音声や字幕、リピートの設定をします。

1. ビデオ映像を再生中に［サブメニュー］ボタンを押す
2. ビデオ設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   音声切換 / 二重音声 / リピート / 字幕設定

   - 設定項目や選択肢は、コンテンツによって異なります。
4. 項目ごとに設定する

音声切換

ビデオ映像に含まれる音声信号を選ぶことができます。音声信号には、コーデックとオーディオチャンネルを表示します。

二重音声

ファイルによって主音声、副音声を設定できます。

リピート

（オン / オフ）

「まとめ」の単位で繰り返し再生します。

- ビデオ一覧を表示中に設定することもできます。

字幕設定

（字幕 / 字幕言語 / 字幕文字サイズ / 字幕文字色 / 字幕表示位置 / 字幕遅延時間）

字幕に関する設定を行います。設定したい項目を選び、設定してください。

- ビデオ映像を再生中に設定できます。

  字幕：

  ビデオ映像に含まれる字幕を選ぶことができます。

  - 設定できないファイルのときは字幕なしと表示されます。

  字幕言語：

  ビデオ映像に含まれる字幕言語を選ぶことができます。

  字幕文字サイズ：

  字幕の文字サイズを選ぶことができます。

  字幕文字色：

  字幕の文字カラーを選ぶことができます。

  字幕表示位置：

  字幕の表示位置を選ぶことができます。

  字幕遅延時間：

  字幕が映像よりも遅れたり進む場合に調整します。

音声出力を設定する

デジタル音声出力（光）端子またはＨＤＭＩ１端子に接続したアンプを経由して、マルチチャンネルの音声をお楽しみいただけます。

- ビデオ映像に含まれる音声信号を確認、変更するには

  → メディアプレーヤー > ビデオ映像を再生する > ビデオ映像の音声や字幕などを設定する

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 音声調整 > デジタル音声出力を選び、［決定］ボタンを押す
3. オート / ＰＣＭ / ビットストリームを選び、設定する

デジタル音声出力

（オート / ＰＣＭ / ビットストリーム）

デジタル音声出力（光）端子またはＨＤＭＩ１端子（ＡＲＣ）からの音声出力を設定します。

オート：

３ｃｈ以上の音声フォーマットのときは自動的に「ＡＡＣ」を出力します。ただし、メディアプレーヤーでのビデオ再生・アクトビラ動画の音声形式がドルビーデジタルフォーマットのサラウンド・ステレオで記録した場合に、自動的に「ドルビーデジタル」を出力します。

ＰＣＭ：

オーディオ機器がＡＡＣフォーマットやドルビーデジタルフォーマットに対応していないとき、常に「ＰＣＭ」を出力します。

ビットストリーム：

放送がＡＡＣフォーマット時は常に「ＡＡＣ」を出力します。ドルビーデジタルフォーマット時は常に「ドルビーデジタル」を出力します。ＡＡＣフォーマット・ドルビーデジタルフォーマット以外のときは「ＰＣＭ」を出力します。

- ＡＲＣとは、ＨＤＭＩケーブルでデジタル音声信号を送る機能です。
- ビットストリームに設定すると字幕放送やデータ放送の効果音が、デジタル音声出力（光）端子から出力されません。ＰＣＭに設定してご使用ください。
- ビデオ入力端子、Ｄ端子に接続した機器を視聴中は設定とは関係なく、常にＰＣＭ出力します。
- ＡＡＣ対応のオーディオ機器を接続する場合、ＰＣＭとＡＡＣの入力に対し自動切り換え機能のあるものをおすすめします。
- デジタル音声出力（光）端子からは、スピーカーと同じ音声を出力します。
- ＨＤＭＩ入力時のＤＶＤオーディオで暗号化されている場合は出力されません。

音楽を再生する

ファイルを選択して再生する

1. 一覧表示からフォルダを選択する
2. ［青］ボタンを押して再生する

- 本機で再生できるファイルフォーマットは

メディアプレーヤー > メディアプレーヤーで再生できるコンテンツ > 音楽のフォーマット

■ 一覧表示

- 選択したコンテンツの詳細情報を表示するには［データ］ボタンを押す
- コンテンツを変更するには［黄］ボタンを押す

音楽を再生・操作する

■ フォルダ一覧からファイルを選んで再生する

1. フォルダを選び、［決定］ボタンを押す
2. ファイルを選択する
3. ［決定］ボタンを押して再生する

■ 音楽を再生する

- 再生中の操作について

  ◁ ：早戻し（押すたびに５段階に速度が速くなります）

  ▷ ：早送り（押すたびに５段階に速度が速くなります）

  ▽ ：停止

  ［決定］：一時停止（タイムシークバーを表示します）/ 再生

- 聴きたい場所に移動する

  1)［決定］ボタンを押してタイムシークバーを表示する

  2) タイムシークバーが表示している間に

  ◁ / ▷ ボタンを押す：

  サーチ（カウンターを約１０秒進める / 戻す）

  ◁ / ▷ ボタンを押し続ける：

  サーチ

  3)［決定］ボタンを押して見たい場面に移動する

- 操作ガイドを表示 / 非表示するには［画面表示］ボタンを押す
- 前の音楽にスキップするには［青］ボタンを押す
- 次の音楽にスキップするには［赤］ボタンを押す
- 一覧表示に戻るには［戻る］ボタンを押す

繰り返し（リピート）を設定する

音楽再生の繰り返し（リピート）を設定します。

1. 音楽一覧を表示中または、音楽再生中に［サブメニュー］ボタンを押す
2. 音楽設定 > リピートを選び、［決定］ボタンを押す
3. オフ / フォルダリピート / 1曲リピートから選び、設定する

   フォルダリピート：

   フォルダ内の曲をリピートします。

   1曲リピート：

   選んだ曲を1曲だけリピートします。

録画した番組を再生・編集する

録画番組を選択して再生する

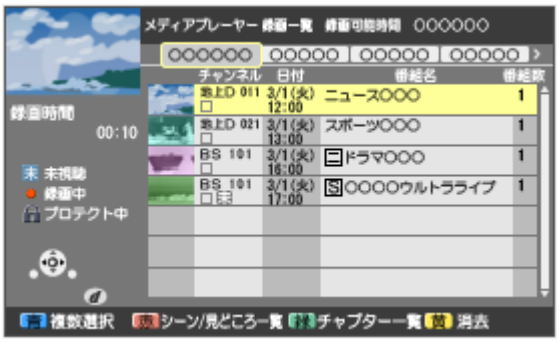
ＵＳＢハードディスクに録画した番組を再生します。

- ＵＳＢハードディスクの録画番組を再生するときは、接続と設定ができていることをご確認ください。

  → 録画する > ＵＳＢハードディスクなどのＵＳＢ機器を接続・設定する

1. ［録画一覧］ボタンを押す
   - 録画番組の一覧を表示します。

     （例）

   - 画面右上には、選択した機器の残容量が表示されます。
   - 録画番組は、すべてや未視聴、ジャンルなどの分類で一覧表示できます。

     すべて：

     　すべての録画番組を表示します。

     未視聴：

     　未視聴の録画番組を表示します。
   - アイコンを表示します。

     未 ：未視聴の録画番組（一度再生すると、このアイコンは消えます。）

     ：削除できないようにプロテクトされた録画番組

     ：録画中の録画番組（録画中でも、この録画番組を再生することができます。）

     ：２つ以上のまとめ番組
2. 録画番組を選び、［決定］ボタンを押して再生する。
   - 番組を選ぶには［△ / ▽］ボタンを押します。
   - 分類を選ぶには［◁ / ▷］ボタンを押します。
   - 前回、再生を途中で停止したシーンを再生するとき、停止した場面から再生するか、先頭から再生するかの選択画面が表示された場合は、設定を選び、［決定］ボタンを押すと再生が始まります。
   - 録画番組中に異なる視聴制限の番組が含まれているとき、最も高い年齢制限が適用されます。一度、視聴制限を解除した場合、録画番組中のすべての番組を見ることができます。

- チャプター一覧画面を表示するには［緑］ボタンを押す

- 番組の情報を表示するには［データ］ボタンを押す

= お知らせ =

- 録画中の番組を選んで［停止］ボタンを押してはいを選ぶと、録画を停止できます。
- 録画中の番組を選んで［再生／１．３倍速］ボタンを押すと、追っかけ再生を開始します。ただし、再生している映像に影響がでる場合があります。
- ＵＳＢハードディスクに録画中は１．３倍速で再生できません。
- 有料放送を無料期間中に録画した番組などの場合、再生したときに画面上にメッセージを表示することがあります。
- 分類表示のニュースには、最新ニュースで録画したニュース番組のみ表示します。

■ シーン／見どころ一覧

録画した番組の中から、見たいシーンや見どころを表示します。

● 録画一覧画面で［赤］ボタンを押す

- シーン／見どころ一覧から再生するには、以下のホームページで会員登録を行ってください。

  http://r.me-mora.jp/

- 会員登録したりシーン／見どころ一覧を見るには、本機をインターネットに接続する必要があります。
- シーン／見どころ一覧（ミモーラ）の対応サービスについて
  - サービスは対応サービス提供者が提供します。サービス内容やお申し込みについては、ミモーラのホームページなどでご確認ください。

    http://me-mora.jp/
  - 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
  - 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。
  - 本機では、サービスに一定期間お試しで登録して利用することができます。

    お試しの期間が終了後、引き続きすべての機能を利用したい場合は、パソコンなどからミモーラに会員登録する必要があります。すでに CLUB Panasonic に会員登録している場合は、本機からミモーラの会員登録することができます。

    本機でのお試しの登録や会員登録については、画面の表示内容に従って行ってください。
  - お試しの登録は機器登録解除で解除することができます。

    → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ディモーラの設定をする

= お知らせ =

- シーン／見どころ一覧でのシーン情報は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。
  対応番組についてはミモーラのホームページをご覧ください。

  http://me-mora.jp/

- シーン情報のない番組ではシーン／見どころ一覧は表示できません。
- シーン／見どころ一覧では、番組内容とは異なるシーン情報が表示される場合があります。
- シーン／見どころ一覧は録画してからすぐに表示されません。表示される時間についてはミモーラのホームページをご覧ください。

ネットワーク > ネットワークに接続する

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下も合わせてご参照ください。

テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

■ 再生

- 再生中の操作について

  △ ：３０秒スキップ

  - １回押すたびに、約３０秒飛び越して再生します。
  - ３秒以上押すと、約１５秒戻って再生します。

  ◁ ：早戻し（押すたびに５段階に速度が速くなります）

  ▷ ：早送り（押すたびに５段階に速度が速くなります）

  ▽ ：停止

  ［決定］：一時停止（タイムシークバーを表示します）/ 再生

- 見たい場面に移動する

  1)［決定］ボタンを押してタイムシークバーを表示する

  2) タイムシークバーが表示している間に

  ◁ / ▷ ボタンを押す：

  サーチ（カウンターを約１０秒進める / 戻す）

  ◁ / ▷ ボタンを押し続ける：

  サーチ

  3)［決定］ボタンを押して見たい場面に移動する

- 操作ガイドと情報バーを表示 / 非表示するには［画面表示］ボタンを押す
- 番組の一部を繰り返し再生する（ＡＢリピート）には［黄］ボタンを押す

  （Ａ点とＢ点を順番に設定する）

  - ＡＢリピート再生中に、再度［黄］ボタンを押す、またはサーチやスキップなどの操作をすると通常の再生に戻ります。
- 前 / 後チャプターにスキップするには［青］/［赤］ボタンを押す

  - オートチャプターをオンに設定すると、デジタル放送の録画時に自動的にチャプターマークを作成します。

  → 録画する > 録画予約をする > オートチャプターを設定する
- チャプター一覧画面を表示するには［緑］ボタンを押す
- 画面モードを切り換えるには［画面モード］ボタンを押す

  → テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画面モードを設定する
- 字幕を表示するには［字幕］ボタンを押す（可能な場合）
- 視聴中に関連する機能の設定を確認したり変更したりするには（可能な場合）

  → テレビを見る > テレビ放送を見る > 番組視聴中に関連機能を設定する
- 一覧に戻るには［戻る］ボタンを押す

= お知らせ =

- ＵＳＢハードディスクに録画中に録画番組を再生すると、再生している映像に影響がでる場合があります。

まとめ番組について

1. ［青］ボタンで、編集したい録画番組にチェックを入れる
2. ［サブメニュー］ボタンを押す
3. まとめ番組の作成 / まとめ番組の解除 / まとめ番組から除外を選び、設定する

まとめ番組の作成

複数の番組を 1 つにまとめます。まとめたいすべての録画番組にチェックを入れ、まとめ番組の作成を選択します。

- まとめ番組の番組名は、まとめ番組内の最初の番組名が付きます。

まとめ番組の解除

解除したいまとめ番組にチェックを入れ、まとめ番組の解除を選択します。（複数のまとめ番組を一度に解除したいときは、解除したいまとめ番組すべてにチェックを入れてください。）

まとめ番組から除外

まとめ番組を選び、［決定］ボタンを押してまとめ番組の構成を表示させます。まとめ番組から除外したい番組にチェックを入れ、まとめ番組からの除外を選択します。（複数の番組を一度に除外したいときは、除外したい番組すべてにチェックを入れてください。）

録画番組をプロテクトする

ＵＳＢハードディスクの録画番組が消去できないようにプロテクト設定します。

1. ［青］ボタンで、プロテクトする録画番組にチェックを入れる
2. ［サブメニュー］ボタンを押す
3. プロテクト設定変更を選び、［決定］ボタンを押す
   - プロテクトを解除するときは、同様の操作を行ってください。
   - ＵＳＢハードディスクをフォーマットするとプロテクト設定された番組もすべて消去されます。

録画番組を削除する

1. ［青］ボタンで、削除したい録画番組にチェックを入れる
2. ［黄］ボタンを押す
3. 確認画面ではいを選び、［決定］ボタンを押す

チャプター一覧を表示する

チャプター一覧画面で場面を選んで再生することができます。

1. ［緑］ボタンを押し、チャプター一覧を表示する
2. チャプターを選び、［決定］ボタンを押す

= お知らせ =

- 録画中のコンテンツは、チャプター一覧を表示できません。
- 録画番組によっては、一部の操作ができないことがあります。

録画番組の音声や字幕などを設定する

録画番組再生中に、字幕言語や音声などを設定します。

1. 録画番組を再生中に［サブメニュー］ボタンを押す
2. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   字幕言語 / 音声切換 / 二重音声 / 視聴制限一時解除

   - 選択肢は、コンテンツによって異なります。
3. 項目ごとに設定する

字幕言語

［字幕］ボタンを押して字幕オンにしたときに表示する字幕の言語を選択します。

音声切換

複数の音声信号が記録された録画番組を再生しているとき、出力する音声信号を切り換えます。

二重音声

二重音声信号（「主＋副」音声など）が記録されている録画番組を再生しているとき、出力する音声を選択します。

視聴制限一時解除

制限解除のための暗証番号の登録または入力画面を表示します。

録画番組の番組名を編集する

番組名を編集するには以下の手順で操作します。

1. 録画一覧画面で番組名を変更したい番組を選び、［サブメニュー］ボタンを押す
2. 番組名編集を選び、［決定］ボタンを押す
3. 画面に表示されている内容に従い、入力する
    - 番組名を入力しているときに［戻る］ボタンを押すと、番組名を変更しないで録画一覧画面に戻ります。
    - 録画一覧画面にチェックマークが 1 つでも表示されているとき、番組名を変更できません。
    - 以下の番組については、番組名を変更できません。
        - プロテクト設定された番組
        - 録画中の番組
        - まとめ番組（まとめ番組に含まれる番組の番組名は変更できます）
    - 文字入力については、📖 取扱説明書をご覧ください。

音声出力を設定する

デジタル音声出力（光）端子またはＨＤＭＩ１端子に接続したアンプを経由して、マルチチャンネルの音声をお楽しみいただけます。

- 録画番組に含まれる音声信号を確認、変更するには

  メディアプレーヤー > 録画した番組を再生・編集する > 録画番組の音声や字幕などを設定する

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 音声調整 > デジタル音声出力を選び、［決定］ボタンを押す
3. オート / ＰＣＭ / ビットストリームを選び、設定する

デジタル音声出力

（オート / ＰＣＭ / ビットストリーム）

デジタル音声出力（光）端子またはＨＤＭＩ１端子（ＡＲＣ）からの音声出力を設定します。

オート：

３ｃｈ以上の音声フォーマットのときは自動的に「ＡＡＣ」を出力します。ただし、メディアプレーヤーでのビデオ再生・アクトビラ動画の音声形式がドルビーデジタルフォーマットのサラウンド・ステレオで記録した場合に、自動的に「ドルビーデジタル」を出力します。

ＰＣＭ：

オーディオ機器がＡＡＣフォーマットやドルビーデジタルフォーマットに対応していないとき、常に「ＰＣＭ」を出力します。

ビットストリーム：

放送がＡＡＣフォーマット時は常に「ＡＡＣ」を出力します。ドルビーデジタルフォーマット時は常に「ドルビーデジタル」を出力します。ＡＡＣフォーマット・ドルビーデジタルフォーマット以外のときは「ＰＣＭ」を出力します。

- ＡＲＣとは、ＨＤＭＩケーブルでデジタル音声信号を送る機能です。
- ビットストリームに設定すると字幕放送やデータ放送の効果音が、デジタル音声出力（光）端子から出力されません。ＰＣＭに設定してご使用ください。
- ビデオ入力端子、Ｄ端子に接続した機器を視聴中は設定とは関係なく、常にＰＣＭ出力します。
- ＡＡＣ対応のオーディオ機器を接続する場合、ＰＣＭとＡＡＣの入力に対し自動切り換え機能のあるものをおすすめします。
- デジタル音声出力（光）端子からは、スピーカーと同じ音声を出力します。
- ＨＤＭＩ入力時のＤＶＤオーディオで暗号化されている場合は出力されません。

接続機器について

機器の取り扱いについて

- パソコンで編集したデータは、再生できないことがあります。
- 本機がデータにアクセスしているときに、機器を取り外さないでください。本機や機器が故障することがあります。
- 機器の金属ピン部に触らないでください。
- 機器に強い振動や衝撃を与えないでください。
- 機器を正しい向きに挿入してください。本機や機器が故障することがあります。
- 電気的干渉や静電気、誤操作により、本機や機器が故障することがあります。
- 記録データは、劣化や破損、操作異常などから守るため、定期的にバックアップを行ってください。いかなる記録データの劣化や破損に対して、当社は一切の責任を負いません。

ＳＤメモリーカードについて

■ ＳＤメモリーカード

ＳＤメモリーカードの規格に準拠したものをご使用ください。規格外のものを使用すると本機の故障の原因になります。

1 2.1 mm
2 32 mm
3 24 mm

- ｍｉｎｉＳＤメモリーカードやｍｉｃｒｏＳＤメモリーカードを本機で使用する場合は、アダプターごと出し入れしてください。

ＵＳＢハードディスクなどのＵＳＢ機器について

- ＵＳＢ機器を接続するときは、本機のＵＳＢ端子に直接取り付けてください。
- ＵＳＢカードリーダーを使用して本機に接続することはできません。
- 本機で動作確認済みのＵＳＢハードディスクについては、以下のホームページで最新の情報を確認できます。

  http://panasonic.jp/support/tv/　を開く。

  「動作確認情報」→『液晶テレビ（ビエラ）』→『「ＴＨ－〇〇〇」の接続検証』から、機器を選ぶ。

■ ＵＳＢハードディスク

- 録画用として使用できるのは、容量が１６０ GB 以上のＵＳＢハードディスクです。
- ＵＳＢハードディスクに電源ボタンがある場合は、電源を「入」にしてください。
- ＵＳＢハブを使って複数のＵＳＢハードディスクを同時に接続することはできません。

  （本機に登録できるＵＳＢハードディスクは８台ですが、一度に使用できるＵＳＢハードディスクは１台です）
- 本機でフォーマットしたＵＳＢハードディスクをご使用ください。

録画する > ＵＳＢハードディスクなどのＵＳＢ機器を接続・設定する > ＵＳＢハードディスクの設定をする

メディアプレーヤーで再生できるコンテンツ

写真（画像）のフォーマット

■ 本機で表示できる写真（画像）のフォーマット

● ＪＰＥＧ形式（.jpg、.jpeg）

サブサンプリング：

４：４：４、４：２：２、４：２：０

表示画素数：

最小８×８画素 ～ 最大 30719 × 17279 画素

- ＤＣＦおよびＥｘｉｆ規格に準拠（デジタルカメラなどで記録したもの）したファイルが再生できます。
- ＪＰＥＧ以外の形式（ＢＭＰ形式、ＧＩＦ形式、ＴＩＦＦ形式など）、プログレッシブＪＰＥＧ形式やＪＰＥＧ２０００形式の写真は再生できません。

動画（ビデオ映像）のフォーマット

■ 本機で再生できる動画（ビデオ映像）のフォーマット

● ＡＶＣＨＤ形式（.mts）

ビデオコーデック：

H.264

オーディオコーデック：

Dolby Digital

- 当社製デジタルビデオカメラで撮影した動画（AVCHD の Ver. 2.0 に対応した AVCHD Progressive や AVCHD）を再生できます。
- フォルダの構成を変更すると再生できなくなることがあります。

● ＭＰ４形式（.f4v、.m4v、.mp4）

ビデオコーデック：

H.264、H.265(HEVC)、MPEG1、MPEG2

オーディオコーデック：

AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、HE-AAC、MPEG Audio、MP3

- 当社製デジタルビデオカメラで撮影した動画が再生できます。

● ＭＫＶ形式（.mkv）

ビデオコーデック：

H.264、H.265(HEVC)、MPEG1、MPEG2

オーディオコーデック：

AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、HE-AAC、MPEG Audio、MP3、Vorbis

---

● ＦＬＶ形式（.flv）

ビデオコーデック：

H.264

オーディオコーデック：

AAC、MP3

● ３ＧＰＰ形式（.3gp、.3g2）

ビデオコーデック：

H.264

オーディオコーデック：

AAC、HE-AAC

● ＰＳ形式（.mod、.mpg、.mpeg、.vob、.vro）

ビデオコーデック：

H.264、MPEG1、MPEG2

オーディオコーデック：

AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、HE-AAC、LPCM、MPEG Audio、MP3

● ＴＳ形式（.mts、.m2ts、.tp、.trp、.ts、.tts）

ビデオコーデック：

H.264、H.265(HEVC)、MPEG1、MPEG2

オーディオコーデック：

AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、HE-AAC、MPEG Audio、MP3

● ＷｅｂＭ形式（.webm）

ビデオコーデック：

VP9

オーディオコーデック：

Vorbis

■ 本機で表示できる字幕のフォーマット

● MicroDVD、SubRip、TMPlayer（.srt、.sub、.txt）

- 動画ファイルと同じフォルダ内に保存した同名の字幕ファイルを表示できます。
- ２つ以上の字幕ファイルが同じフォルダ内にあるとき、「.srt」、「.sub」、「.txt」の優先順位で表示されます。

音楽のフォーマット

■ 本機で再生できる音楽のフォーマット

● ＭＰ３形式（.mp3）

● Ｍ４Ａ形式（ＡＡＣ、Ａｐｐｌｅ　Ｌｏｓｓｌｅｓｓ）（.m4a）

- 著作権保護技術により保護されたファイルは再生できません。

● ＦＬＡＣ形式（.flac）

● ＷＡＶ形式（ＬＰＣＭ）（.wav）

お知らせ

- これらの条件を満たしているファイルであっても、再生を保証するものではありません。
- ファイルによっては、字幕やチャプターの機能は使えないことがあります。
- ファイル名にマルチバイト文字や特殊文字を使用しないでください。
- ファイル名やフォルダ名を変更した場合、本機で使えなくなることがあります。
- メディアプレーヤーとお部屋ジャンプリンクでは、再生できるファイルフォーマットが異なります。
- すべてのサーバー機器とのファイル再生を保証するものではありません。
- 再生可能なファイル形式であっても、ご使用の編集ソフト、ファイルの仕様やコーデックによっては、再生できない場合があります。

ネットワーク

インターネットを利用する

インターネットに接続して利用できるアプリやサービスについて

本機ではアプリ一覧で以下のアプリやサービスを利用することができます。

※利用できるアプリやサービス内容は予告なく変更する場合があります。

- アクトビラ

  アクトビラを利用するとインターネットを通じて、便利で役立つ情報サービスを受けることができます。

- Ｗｅｂブラウザ

  ウェブサイトの閲覧ができます。

  - ウェブサイトの一部の機能は、ご利用できない場合があります。

    また、ウェブサイトによっては、正しく表示できない場合があります。

- ＮＥＴＦＬＩＸ

  ＮＥＴＦＬＩＸを利用すると、インターネットを通じて配信される映画やドラマなどの動画を本機で視聴できます。

  - ＮＥＴＦＬＩＸは、2015 年秋以降サービス開始予定です。

（例）

- ご利用になるにはブロードバンド環境に対応したネットワークへの接続と設定が必要です。ネットワーク接続とネットワーク設定ができていることを確認してください。

  → ネットワーク > ネットワークに接続する

  → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- 動画コンテンツをご利用になるには、光ファイバー（ＦＴＴＨ）などの高速回線との接続をおすすめします。（ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、映像が乱れたり、映らないなどの場合があります）

インターネットコンテンツを選択する

1. ［アプリ］ボタンを押して、アプリー覧画面を表示する
   - アプリー覧画面については

     ホームを使う > アプリー覧画面を操作する
   - ご使用の環境によっては、すべてのデータを読み込むのにしばらく時間がかかることがあります。
2. アプリを選び、［決定］ボタンを押す

   （例）

   - アプリー覧画面を終了するには［元の画面］ボタンを押す
   - 付属のタッチパッドリモコンのカーソル操作や音声操作機能を使ってインターネットコンテンツを操作することができます。

     いろいろな機能 > 音声操作機能を使う

インターネット上の有害情報へのアクセス制限機能について

本機には、お子様などに見せたくないブログやソーシャル・ネットワーキング・サービス（ＳＮＳ）などのアプリの利用を制限するための機能が組み込まれています。
「ネット上のいじめ」などのトラブルを未然に防ぐため、お子様などが本機を使ってインターネットをご使用の際は、制限機能の利用を強くおすすめします。

- アプリの使用を制限したいとき

ホームを使う > アプリ一覧画面を操作する > アプリ一覧画面に関する操作をする

お知らせ

- インターネットコンテンツにアクセスできない場合は、ネットワークの接続と設定をご確認ください。

  ネットワーク > ネットワークに接続する

  ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- 利用できるアプリやサービス内容は予告なく変更する場合があります。
- ソフトウェアの更新通知がテレビ画面に表示されたときは、ソフトウェアの更新を実施してください。更新をしない場合、アプリ一覧画面が使用できなくなることがあります。更新は、あとから手動で実施することもできます。

  ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ソフトウェアの確認と更新をする

- インターネットのサービスによっては、利用者登録が必要なサービスがあります。
- コンテンツによっては、お子様などにふさわしくない情報が含まれている場合があります。
- 当社は、インターネットのサービスによって提供されるコンテンツに一切の責任を負いません。
- システム障害などによりサービスを利用できない場合があります。
- 接続環境によっては、インターネット接続が遅かったり接続できないことがあります。

お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）

お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）について

本機は、ＤＬＮＡの認証を取得しています。

ＤＬＮＡ（Digital Living Network Alliance）は、家庭にあるオーディオ機器、パソコン、家電などをネットワークで接続して利用するために決められた仕様です。ＤＬＮＡに対応した製品や機能については、ＤＬＮＡのホームページを参照してください。

- この機能を利用するには、本機をホームネットワークに接続する必要があります。

  ネットワーク > ネットワークに接続する

  ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- 対応機器（ディーガ、ビエラ）や再生できるコンテンツについては、以下のホームページでご覧になれます。

  http://panasonic.jp/support/　を開き、「お部屋ジャンプリンク」を選ぶ。

■ ネットワークにあるサーバー機器のコンテンツを再生する

お部屋ジャンプリンクに対応したディーガなど、ＤＭＳ（デジタルメディアサーバー）機能を持つ機器に保存されているコンテンツ（写真やビデオなど）を検索して、本機のＤＭＰ（デジタルメディアプレーヤー）機能で再生できます。

- ＤＭＳやＤＭＰは、ＤＬＮＡで決められた機能の１つです。
- 本機のＤＭＰ機能を利用する場合、ＤＭＳ機能を持つ機器が接続機器一覧画面に表示されます。

ＤＬＮＡで決められたＤＭＳ機能を持つサーバー機器に格納したコンテンツ（写真やビデオなど）を本機で再生できます。

（例）

- ネットワークにあるコンテンツを、本機で再生したり操作したりするには

  ネットワーク > お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）> お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）を使う

- 本機で再生できるファイルフォーマットは

  ネットワーク > ＤＭＰ・ＤＭＲ機能で再生できるコンテンツ

● パソコンをＤＭＳ（デジタルメディアサーバー）として使うには

パソコンにサーバーソフトのインストールが必要です。本機とネットワークで接続できる動作確認済みのパソコンＯＳは Windows® 7、Windows® 8 です。

- Windows 7 / Windows 8 のホームグループ設定が必要です。詳しくは Windows 7 / Windows 8 のヘルプ機能をご参照ください。
- 動作確認済み対応ＯＳは、すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。対応ＯＳ以外やＯＳのアップグレード環境、お客様が自作されたパソコン

での動作は保証していません。

= お知らせ =

- サーバーソフトに関する情報は、それぞれのソフトウェア会社にお問い合わせください。
- ４Ｋ映像は、お部屋ジャンプリンクで正しく再生できない場合があります。
- サーバーソフトをパソコンにインストールすると、パソコンのデータが他人からアクセスされる危険があります。職場やホテル、ルーターを使用していない自宅などのネットワーク環境では、特に設定や接続の確認をお願いします。

● ＤＬＮＡ対応のディーガをＤＭＳ（デジタルメディアサーバー）として使うには

ＤＬＮＡ対応のディーガをネットワークで本機と接続することで、ディーガをＤＭＳの１つとして操作することができます。

- お持ちのディーガがＤＬＮＡに対応しているかどうかは、ディーガの取扱説明書でご確認ください。

■ ＤＭＣ（デジタルメディアコントローラー）対応のネットワーク機器の操作で、ネットワークにある共有コンテンツを本機で再生する

ＤＭＳ（デジタルメディアサーバー）機能を持つ機器に保存されているコンテンツ（写真やビデオなど）を検索し、ＤＭＣからの操作によってＤＭＲ（デジタルメディアレンダラー）機能を持つ機器に配信して再生することができます。本機のＤＭＲ機能を利用する場合にＤＭＣとして使えることが確認済みの機器は Windows® 7、Windows® 8 のパソコンです。

- ＤＭＣやＤＭＲは、ＤＬＮＡで決められた機能の１つです。
- この機能をスマートフォンや Windows® 7、Windows® 8 のパソコンで使用するには、ＴＶリモート機能をオンに設定してください。

  → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ＴＶリモートの設定をする

- この機能をスマートフォンやタブレット端末などで使用するには、ＴＶ Ｒｅｍｏｔｅ ２のインストールが必要です。ＴＶ Ｒｅｍｏｔｅのアプリや機能、操作方法などについては、以下のホームページでご覧になれます。

  http://panasonic.jp/support/tv/

お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）を使う

お部屋ジャンプリンクを使用するには、サーバー機器の準備と、ネットワークへの接続と設定ができていることをご確認ください。

ネットワーク > お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）> お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）について

ネットワーク > ネットワークに接続する

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

1. ［ホーム］ボタンを押す
2. 接続機器一覧を選び、［決定］ボタンを押す
3. サーバー機器を選び、［決定］ボタンを押す
   - ネットワーク接続した別のテレビにアクセスするには、接続機器一覧の中からテレビの名前を選択してください。
   - 選択したサーバー機器の詳細情報を表示するには

     1)［サブメニュー］ボタンを押す

     2) 情報を見るを選び、［決定］ボタンを押す
4. ファイルを選び、［決定］ボタンを押す

   （例）

   - サーバー機器によっては、ファイルを選択する前にフォルダを選択する必要があります。
   - 早戻し／早送りなどの操作をするには、映像を視聴中に以下のボタンを押して操作ガイドを表示してください。

     ディーガ：［サブメニュー］ボタン

     サーバー機器 / 本機以外のビエラ：［画面表示］ボタン
   - 選択したファイルの詳細情報を表示するには［データ］ボタンを押す

= お知らせ =

- 再生できないファイルも表示されますが、選択することはできません。
- 本機への配信を許可するよう、サーバー機器の設定が必要なことがあります。詳細については、サーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続環境によっては、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。2.4 GHz の無線ＬＡＮ使用時は、１１ｎ（5 GHz）の無線ＬＡＮまたはＬＡＮケーブル接続に変更すると再生状態が改善される場合があります。
- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下も合わせてご参照ください。

テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

対応ディーガや対応ビエラでできること

お部屋ジャンプリンクに対応したディーガや本機以外のビエラをＬＡＮで接続・設定すると、離れたお部屋から操作できます。

■ 対応ディーガでできる操作について

- ディーガのハードディスクに録画予約
- ディーガのハードディスクに記録した以下のコンテンツの再生
  （無線ＬＡＮを暗号化設定していないときは、再生できないものがあります）
  - デジタル放送とアナログ放送の番組
  - アクトビラからダウンロードした番組
  - スカパー！プレミアムサービスＤＶＲからダビングした番組
  - デジタルビデオカメラやデジタルカメラからダビングした映像または写真

    （ディーガのハードディスクに保存された音楽の再生はできません）
- ディーガで受信しているデジタル放送の視聴

■ 対応ビエラでできる操作について

- 本機以外のビエラのハードディスクに記録された録画番組の再生
- 本機以外のビエラで受信しているデジタル放送の視聴

= お知らせ =

- 本機でお部屋ジャンプリンクに対応したディーガやビエラに録画された番組を見るには、番組を録画した機器側で設定が必要になる場合があります。

  設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 機種によってできる操作が異なる場合があります。
- 対応するディーガやビエラについては、以下のホームページをご覧ください。

  http://panasonic.jp/support/　を開き、「お部屋ジャンプリンク」を選ぶ。
- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下も合わせてご参照ください。

テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

お部屋ジャンプリンクサーバー機能で視聴できるコンテンツについて

本機のお部屋ジャンプリンクサーバー機能を利用して、ネットワーク接続した本機以外のビエラやＤＴＣＰ－ＩＰ対応のスマートフォンなどで、以下のコンテンツを視聴できます。

- お部屋ジャンプリンク設定のサーバー機能をオンに設定してください。

  ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > お部屋ジャンプリンクサーバー機能を設定する

視聴できるコンテンツ	視聴できる機器	
	本機以外のビエラ	スマートフォンなど
本機で受信している放送 （別の機器に放送を転送できます。）	○	○
本機に接続したＵＳＢハードディスク内の録画番組	○	○
本機に接続したＵＳＢハードディスク内の画像（写真）や動画（ビデオ）、音楽	○	○
本機に挿入したＳＤメモリーカード内の画像（写真）や動画（ビデオ）、音楽	○	○

- お使いの端末によっては視聴できない場合があります。
- ＤＴＣＰ - ＩＰは、著作権保護されたコンテンツを送信するための規格で、家庭内での映像の配信に使われます。
- この機能をスマートフォンやタブレット端末などで使用するには、ＴＶ Ｒｅｍｏｔｅ ２のインストールが必要です。ＴＶ Ｒｅｍｏｔｅ のアプリや機能、操作方法などについては、以下のホームページでご覧になれます。

  http://panasonic.jp/support/tv/
- この機能を、本機以外のお部屋ジャンプリンク対応当社製テレビで使用するには、本機のお部屋ジャンプリンク設定を設定してください。

  ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > お部屋ジャンプリンクサーバー機能を設定する
- ディーガやビエラで受信している地上デジタル放送、ＢＳデジタル放送、１１０度ＣＳデジタル放送を視聴できます。
- ２台以上の機器で同時に視聴することはできません。

＝ お知らせ ＝

- この機能を使用するときは、本機の電源を「入」にしておいてください。
- お部屋ジャンプリンク設定のサーバー機能をオンにすると、消費電力が増加することがあります。
- 暗号化設定していない無線ＬＡＮでは、サーバー機能を使用できません。
- 本機と通信できるテレビを制限することができます。お部屋ジャンプリンク設定の接続許可方法を手動に設定した上で、お部屋ジャンプリンク設定の接続機器一覧から設定してください。

- サーバー機能による配信中、以下の機能は実行されません。
  - メディアアクセス機能を利用して、外出先から放送番組や録画番組を視聴する
  - 配信中のコンテンツを録画一覧画面で削除する
- サーバー機能による配信中、以下の機能を使用すると配信が停止する場合があります。
  - 録画
  - ２画面
  - インターネットサービスやメディアプレーヤー、お部屋ジャンプリンクでの写真や動画の再生
  - ダビング
  - ソフトウェアの更新（インターネット経由、放送ダウンロード）
- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下も合わせてご参照ください。

テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

ネットワークに接続する

インターネット接続をする

インターネットサービスを利用するには、ブロードバンド環境が必要です。

- ブロードバンド環境がない場合は、専門の業者にご相談ください。
- 電話回線によるインターネット接続は、ご利用いただけません。
- 接続方法の詳細については、📖 取扱説明書をご覧ください。
- 本機でインターネットサービスをご利用いただく際の利用規約や個人情報の取り扱いに関するプライバシーポリシーについては以下の利用規約で確認できます。

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > クラウドサービスを利用するためのアカウント設定をする

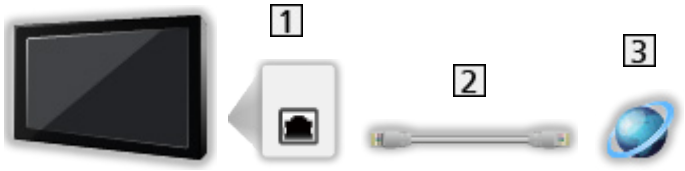
■ 無線ＬＡＮ接続

1 内蔵無線ＬＡＮ（テレビの背面）

2 アクセスポイント（無線ブロードバンドルーター）

3 インターネット環境

■ 有線ＬＡＮ（ＬＡＮストレートケーブル）接続



1 ＬＡＮ端子

2 ＬＡＮストレートケーブル

3 インターネット環境

インターネット接続について

- プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- インターネットへ接続する場合は、パソコンでの設定が必要になることがあります。
- ＳＤメモリーカード挿入口に、無線ＬＡＮ対応カードを接続しても使えません。
- 動画コンテンツをご利用になるには、光ファイバー（ＦＴＴＨ）などの高速回線との接続をおすすめします。（ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、映像が乱れたり、映らないなどの場合があります）
  - 100BASE-TX 対応のハブまたはブロードバンドルーターをご使用ください。
  - 有線ＬＡＮ接続の場合は、「カテゴリ５」以上のＬＡＮケーブルをご使用ください。
- 本機に接続したＤＨＣＰでのＩＰアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるＩＰアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、ブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
  - ＤＨＣＰとは、サーバーやブロードバンドルーターが、ＩＰアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。
- 本機にＤＨＣＰでのＩＰアドレス自動取得が使えないハブを経由して、各機器を接続しているとき、本機の電源を「入」にした直後は、各機器との通信に失敗することがあります。
  時間をおいて（約３分間）再度試してください。
- 本機の接続に必要なインターネット接続機器（モデムやルーター、ハブなど）や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- ルーターのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。セキュリティー設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。
- ルーターの設定・使用方法やネットワークのセキュリティーなどに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。
- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。

■ 無線ＬＡＮ接続について

- 本機との接続に対応したアクセスポイント（無線ブロードバンドルーター）が別途必要です。
- アクセスポイントはＷＰＳ対応であることをご確認ください。（ＷＰＳに対応していない場合は、設定の際にアクセスポイントの暗号キーが必要になります。）詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
  - 「ＷＰＳ」は「Wi-Fi Protected Setup」の略称で、Ｗｉ－Ｆｉアライアンスが認証する無線ＬＡＮで簡単にアクセスポイントへの接続を設定するための規格です。
- 本機とアクセスポイント間の無線方式は、１１ｎ（5 GHz）を推奨します。
  １１ａ、１１ｂ、１１ｇ、１１ｎ（2.4 GHz）でも通信できますが、映像が途切れ

たり、接続が切れることがあります。

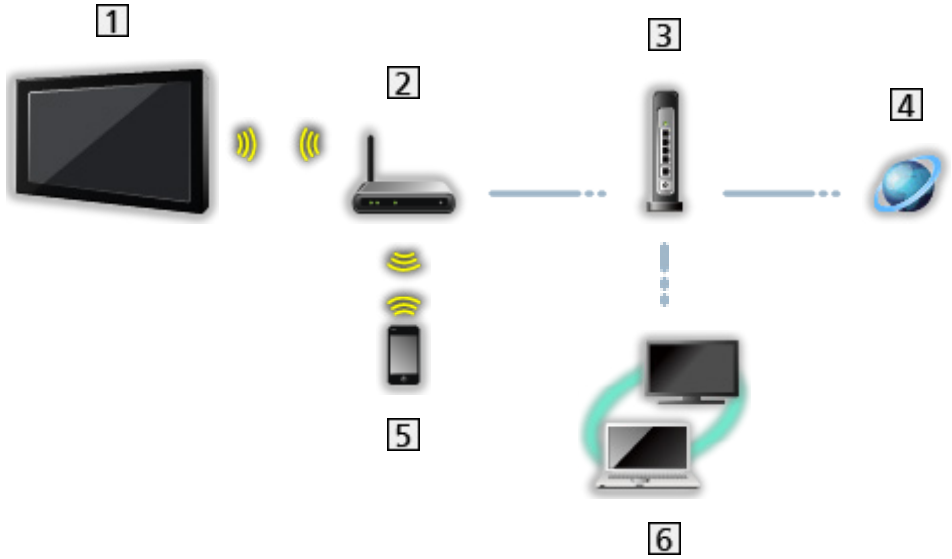
- アクセスポイントの無線方式を切り換えた場合は、無線ＬＡＮで接続できていた機器（パソコンなど）が接続できなくなることがあります。
- 電波の干渉による悪影響を防止するため、以下の機器からできるだけ離してください。
  - 他の無線ＬＡＮ機器やＢｌｕｅｔｏｏｔｈ対応機器
  - 電子レンジやデジタルコードレス電話
  - その他２．４ GHz、５ GHz の電波を使用する機器（ゲーム機、ワイヤレスオーディオ機器、パソコン周辺機器など）
- 通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティー設定（暗号化設定）を行ってください。
- 無線ＬＡＮのセキュリティー設定をオープン（暗号なし）に設定している場合、以下のような制限が発生します。
  - お部屋ジャンプリンクに対応したディーガの映像を見るときに再生できない映像があります。
  - ＵＳＢハードディスクから無線ＬＡＮを経由してのダビングができません。
  - サーバー機能やメディアアクセス機能を使用できません。
  - セキュリティー設定については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク（ＳＳＩＤ）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
  - ＳＳＩＤとは、無線ＬＡＮで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このＳＳＩＤが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）接続をする

お部屋ジャンプリンク機能を使用するには、ホームネットワーク環境が必要です。

- 接続方法の詳細については、📖 取扱説明書をご覧ください。

■ 無線ＬＡＮ接続（お部屋ジャンプリンクとインターネットサービス）



1 内蔵無線ＬＡＮ（テレビの背面）

2 アクセスポイント（無線ブロードバンドルーター）

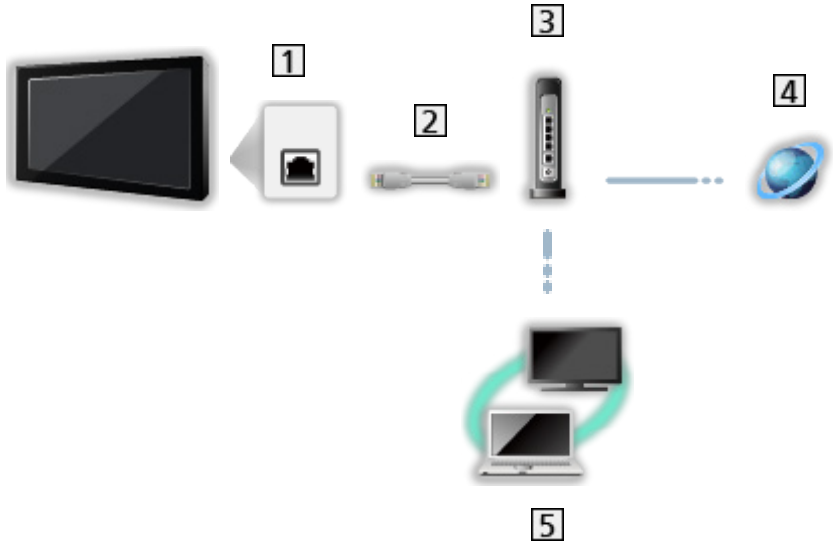
3 ハブまたはブロードバンドルーター

4 インターネット環境

5 スマートフォンなど

6 お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）対応のサーバー機器（ディーガやパソコンなど）

■ 有線ＬＡＮ（ＬＡＮストレートケーブル）接続（お部屋ジャンプリンクとインターネットサービス）



1 ＬＡＮ端子

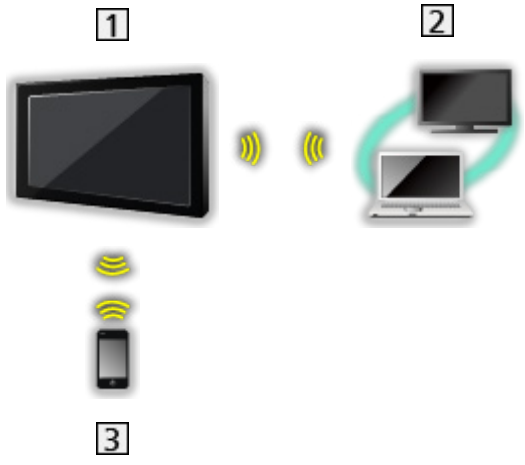
2 ＬＡＮストレートケーブル

3 ハブまたはブロードバンドルーター

4 インターネット環境

5 お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）対応のサーバー機器（ディーガやパソコンなど）

■ 無線ＬＡＮ親機接続（お部屋ジャンプリンク）



1 本機

- 本機を無線親機として使用するには

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > 本機を無線親機に設定する

2 お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）対応のサーバー機器（ディーガやパソコンなど）

3 スマートフォンなど

お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）接続について

- ネットワーク環境に必要な機器を接続・設定してください。本機でそれらの機器の設定はできません。ネットワーク機器の設定については、機器の取扱説明書をご参照ください。
- ＦＴＴＨ（光）回線終端装置・ケーブルモデム・ＡＤＳＬモデムにルーター機能がない場合は、ブロードバンドルーターをご使用ください。
- ブロードバンドルーターのポートが足りない場合は、ハブをご使用ください。
- ハブまたはブロードバンドルーターは、100BASE-TX に対応のものをご使用ください。
- 有線ＬＡＮ接続の場合は、「カテゴリ５」以上のＬＡＮケーブルをご使用ください。
- ネットワーク機器については、インターネットサービスプロバイダー、または回線業者にご相談ください。
- インターネットサービスプロバイダーや回線業者との契約条件をご確認ください。ご契約の内容によっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- 本機の接続に必要なブロードバンドルーターやハブ、インターネットサービスプロバイダーや回線業者との契約・設置・接続などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- ネットワーク接続を変更したり再接続した場合は、本体の電源ボタンで電源を切り、再度、電源を入れてください。
- ネットワークの状況によっては、コンテンツの再生が正常にできないことがあります。

■ 無線ＬＡＮ接続について

- 本機との接続に対応したアクセスポイント（無線ブロードバンドルーター）が別途必要です。
- 無線ＬＡＮのセキュリティー設定をオープン（暗号なし）に設定している場合、お部屋ジャンプリンクに対応したディーガの映像を見るときに再生できない映像があります。
  - セキュリティー設定については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

ネットワークを利用するための接続設定をする

ネットワーク接続設定をする

ネットワークの設定を始める前に、接続が正しくできていることをご確認ください。

→ ネットワーク > ネットワークに接続する

- 設定については、以下のホームページも合わせてご覧ください。

  http://panasonic.jp/support/tv/ を開く。

  「機能情報」の「デジタル・AV ネット接続設定ガイド」→「実践編」→「機器から選ぶ」→「プラズマテレビ / 液晶テレビ」から、機器（〇〇シリーズ）を選ぶ。

■ かんたん設定 - 無線ＬＡＮ

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ネットワーク接続を選び、［決定］ボタンを押す
   - 設定を始める前に、アクセスポイントのパスワード、設定、設置場所を確認してください。詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご参照ください。
3. かんたん設定を選び、［決定］ボタンを押す
   - ＬＡＮケーブルが接続されていると、有線（ＬＡＮケーブル）のセットアップが自動で始まります。
4. アクセスポイントを選び、［決定］ボタンを押す
   - 利用できる無線ＬＡＮネットワークが自動で表示されます。

     : セキュリティーロックがかかっているアクセスポイント
   - ＷＰＳ（プッシュボタン）の場合

     1) プッシュボタンでかんたん接続を選び、［決定］ボタンを押す

     2) アクセスポイントのＷＰＳボタンをライトが光るまで押す

     3) ［決定］ボタンを押すと、本機とアクセスポイントが接続されます

     - ＷＰＳは「Wi-Fi Protected Setup」の略です。
     - 接続できなかったときは、アクセスポイントの設定や設置場所を確認し、画面の表示内容に従って再度、お試しください。
   - セキュリティーロックがかかっているアクセスポイントを使用することをおすすめします。
5. アクセスポイントのパスワードを入力し、［決定］ボタンを押す
   - 文字入力については、📖 取扱説明書をご覧ください。
6. 自動的に設定され、ネットワーク状態が表示されます

   → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ネットワークの接続状況を確認する
7. 終了を選び、［決定］ボタンを押す

- 手動で設定する

→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > 手動で無線ＬＡＮ接続設定をする

■ かんたん設定 - 有線（ＬＡＮケーブル）

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ネットワーク接続を選び、［決定］ボタンを押す
3. かんたん設定を選び、［決定］ボタンを押す
4. 自動的に設定され、ネットワーク状態が表示されます

   ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ネットワークの接続状況を確認する
5. 終了を選び、［決定］ボタンを押す

- 手動で設定する

  ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > 手動で有線（ＬＡＮケーブル）接続設定をする

= お知らせ =

- ネットワークの接続方法を有線（ＬＡＮケーブル）に設定すると、無線ＬＡＮは無効になります。
- 通信によるＧガイド受信は自動的にオンに設定されます。

手動で無線ＬＡＮ接続設定をする

ネットワークの設定を始める前に、接続が正しくできていることをご確認ください。

ネットワーク > ネットワークに接続する

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ネットワーク接続 > 詳細設定 > 無線ＬＡＮを選び、［決定］ボタンを押す
   - 設定を始める前に、アクセスポイントのパスワード、設定、設置場所を確認してください。詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご参照ください。
3. アクセスポイントを選び、［決定］ボタンを押す
   - 利用できる無線ＬＡＮネットワークが自動で表示されます。

     : セキュリティーロックがかかっているアクセスポイント
   - ＷＰＳ（プッシュボタン）の場合

     1) ［青］ボタンを押す

     2) アクセスポイントのＷＰＳボタンをライトが光るまで押す

     3) ［決定］ボタンを押すと、本機とアクセスポイントが接続されます

     - ＷＰＳは「Wi-Fi Protected Setup」の略です。
     - 接続できなかったときは、アクセスポイントの設定や設置場所を確認し、画面の表示内容に従って再度、お試しください。
   - ＷＰＳ（ＰＩＮコード）の場合

     1) ［赤］ボタンを押す

     2) 本機に表示されたＰＩＮコードをアクセスポイントに入力する

     3) ［決定］ボタンを押すと、本機とアクセスポイントが接続されます
   - マニュアルの場合

     1) ［緑］ボタンを押す

     2) 接続するアクセスポイントに合わせてＳＳＩＤやセキュリティーなどを手動で設定する

     3) 画面の表示内容に従って手動で設定する

   - アクセスポイントを再検索するには［黄］ボタンを押す
   - 選択したアクセスポイントの詳細情報を表示するには［データ］ボタンを押す
   - セキュリティーロックがかかっているアクセスポイントを使用することをおすすめします。
4. アクセスポイントのパスワードを入力し、［決定］ボタンを押す
   - 文字入力については、取扱説明書をご覧ください。
5. ＩＰアドレス／ＤＮＳ設定画面が表示されます

ＩＰアドレス自動取得 / ＤＮＳ－ＩＰ自動取得

- するに設定することをおすすめします。

- 自動的に設定が表示されます。
- 手動で設定するには、ＩＰアドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレス / ＤＮＳを選択して入力してください。

プロキシサーバー設定

- 一般のご家庭では、通常プロキシサーバーの設定は必要ありません。
- プロキシサーバー設定をすると、アクトビラの動画コンテンツが視聴できない場合があります。

  プロキシアドレス：

  本機の代わりに目的のサーバーに接続し、本機にデータを送る中継サーバーのアドレスです。プロバイダーからの指定があるときのみ、設定が必要です。

  プロキシポート番号：

  プロキシアドレスとともにプロバイダーから指定される番号です。

---

6. ネットワーク状態確認を選び、［決定］ボタンを押す

   ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ネットワークの接続状況を確認する

7. 終了を選び、［決定］ボタンを押す

手動で有線（ＬＡＮケーブル）接続設定をする

ネットワークの設定を始める前に、接続が正しくできていることをご確認ください。

ネットワーク > ネットワークに接続する

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ネットワーク接続 > 詳細設定 > 有線（ＬＡＮケーブル）を選び、［決定］ボタンを押す
3. ＩＰアドレス／ＤＮＳ設定画面が表示されます

ＩＰアドレス自動取得 / ＤＮＳ－ＩＰ自動取得

- するに設定することをおすすめします。
- 自動的に設定が表示されます。
- 手動で設定するには、ＩＰアドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレス / ＤＮＳを選択して入力してください。

プロキシサーバー設定

- 一般のご家庭では、通常プロキシサーバーの設定は必要ありません。
- プロキシサーバー設定をすると、アクトビラの動画コンテンツが視聴できない場合があります。

  プロキシアドレス：

  本機の代わりに目的のサーバーに接続し、本機にデータを送る中継サーバーのアドレスです。プロバイダーからの指定があるときのみ、設定が必要です。

  プロキシポート番号：

  プロキシアドレスとともにプロバイダーから指定される番号です。

---

4. ネットワーク状態確認を選び、［決定］ボタンを押す

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ネットワークの接続状況を確認する

5. 終了を選び、［決定］ボタンを押す

= お知らせ =

- ネットワークの接続方法を有線（ＬＡＮケーブル）に設定すると、無線ＬＡＮは無効になります。

本機を無線親機に設定する

本機を無線親機に設定し、宅内の各機器（無線子機）と接続する設定をします。

- ＰＩＮコードや機器のネットワーク設定をご確認ください。詳しくは機器の取扱説明書をご参照ください。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ネットワーク接続 > 詳細設定 > 無線親機設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. ＷＰＳで子機接続を選び、［決定］ボタンを押す
   - 手動で設定するには、設定変更を選択してください。（以下参照）
4. ＷＰＳ（プッシュボタン）/ ＷＰＳ（ＰＩＮコード）を選び、［決定］ボタンを押す

   ＷＰＳ（プッシュボタン）：

   ＷＰＳ（プッシュボタン）の機器を設定してください。詳しくは機器の取扱説明書をご参照ください。

   ＷＰＳ（ＰＩＮコード）：

   機器のＰＩＮコードを入力してください。

   - 接続できなかったときは、機器の設定や設置場所を確認し、画面の表示内容に従って再度、お試しください。

■ 設定を変更する

無線ネットワーク（ＳＳＩＤ）や暗号キー、無線方式、チャンネルを手動で設定することができます。

画面の表示内容に従って手動で設定してください。

- 設定変更の項目を初期値に戻すには、設定リセットを選択してください。

= お知らせ =

- 無線ブロードバンドルーターを利用したインターネット環境がある場合には、本機とルーターを無線ＬＡＮ接続することを推奨します。
- 本機を無線親機に設定すると本機はインターネットに接続できません。
- 最大７つの機器まで接続できます。転送レートは通信環境や接続している機器の数によって変化します。
- 現在のネットワーク設定を確認するには

  ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ネットワークの接続状況を確認する

- ＷＰＳ（Wi-Fi Protected Setup）に対応している機器以外は接続できません。

ネットワークの接続状況を確認する

ネットワークの状態（ＭＡＣアドレスや現在のネットワーク設定など）を表示させ、確認することができます。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ネットワーク状態を選び、［決定］ボタンを押す
3. 自動的にチェックが始まり、チェックが終わるとネットワーク状態が表示されます。

   再接続確認：

   本機のネットワーク接続状況を自動的に確認し、現在の接続状況を表示します。

   詳細状況：

   詳細なネットワーク接続状況を表示します。（ＩＰアドレスやＭＡＣアドレスなど）

- ネットワーク接続について、詳しくはヘルプを選択してご確認ください。

クラウドサービスを利用するためのアカウント設定をする

本機で利用できるクラウドサービス（インターネット経由で提供されるさまざまなサービス）を利用するためのアカウントを設定します。

- 設定するには、本機をインターネットに接続する必要があります

  → ネットワーク > ネットワークに接続する

  → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > マイホームクラウド設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   アカウント設定 / アカウント情報の編集 / アカウント設定の解除 / 利用規約
4. 画面の表示内容に従って設定する

アカウント設定

本機で利用するアカウントを設定します。

アカウント情報の編集

本機で設定したアカウントを変更します。

アカウント設定の解除

本機で設定したアカウントを解除します。

利用規約

利用規約の画面を表示します。

- 「利用規約」または「プライバシーポリシー」を選び、［決定］ボタンを押すと、詳しい内容が確認できます。

本機の名称を変更する

ネットワークで連携する機器に表示される本機の名称を設定します。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > 本機の名称変更を選び、［決定］ボタンを押す
3. 画面の表示内容に従って本機の名称を入力する

= お知らせ =

- 同じネットワーク内に、2台以上のテレビがある場合は、識別するために、それぞれのテレビで名称を設定してください。

ＴＶリモートの設定をする

ＴＶリモートの設定をすると以下のようなことができます。

- スマートフォンやタブレット端末などを本機のリモコンとして使用できます。
- スマートフォンやタブレット端末などのコンテンツを本機に転送したり、本機に転送したコンテンツを他のスマートフォンやタブレット端末などにダウンロードして共有できます。
- ＵＳＢハードディスクやＳＤメモリーカード内のコンテンツ、本機で受信している放送などをスマートフォンやタブレット端末などで視聴できます。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ＴＶリモート設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   ＴＶリモート機能 / リモート電源オン機能 / 転送機能 / コンテンツアップロード先
4. 項目ごとに設定する

ＴＶリモート機能

（オン / オフ）

オンにすると、スマートフォンやタブレット端末などで本機を操作できます。

リモート電源オン機能

（オン / オフ）

オンにすると、スマートフォンやタブレット端末などで本機の電源を「入」にできます。

- 本体の電源を「切」にしないでリモコンで「切」にしている必要があります。
- 設定によっては、リモコンで電源「切」時、消費電力が増えることがあります。
- リモート電源オン機能をオンに設定している場合、リモコンで電源を「切」にすると、待機状態であることを示すために本体の電源ランプが橙色になります。

転送機能

（いつでも有効 / 電源オン時のみ有効）

いつでも有効にすると、リモコンで本機の電源を「切」にしても、ＵＳＢハードディスクやＳＤメモリーカード内のコンテンツや、本機で受信している放送などをスマートフォンやタブレット端末などで視聴できます。

- 設定によっては、リモコンで電源「切」時、消費電力が増えることがあります。
- 転送機能をいつでも有効に設定している場合、リモコンで電源を「切」にすると、待機状態であることを示すために本体の電源ランプが橙色になります。

コンテンツアップロード先

スマートフォンなどからコンテンツをアップロードする機器を設定します。（設定できる機器は本機に接続している機器です）

= お知らせ =

- この機能をご使用になるときは、本体の電源を「切」にしないでリモコンで「切」にしている必要があります。
- ＴＶリモートで操作するには、本機の操作ができるスマートフォンやタブレット端末などの機器にＴＶ Ｒｅｍｏｔｅ ２をインストールし、本機が接続されているネットワークに無線ＬＡＮで接続する必要があります。
- ＴＶリモートの機能や操作などについては、以下のホームページでご覧になれます。

  http://panasonic.jp/support/tv/　を開く。

  テレビお客様サポートの「アプリ情報」から、ＴＶ Ｒｅｍｏｔｅ ２の情報を参照する。

  （お使いの端末に合わせて、ＡｎｄｒｏｉｄアプリまたはｉＯＳアプリをお選びください。）
- ネットワークの状況によっては、この機能をご使用できないことがあります。
- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下も合わせてご参照ください。

テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

お部屋ジャンプリンクサーバー機能を設定する

ＤＬＮＡのＤＭＳ（デジタルメディアサーバー）として、本機から視聴中の番組や接続したＵＳＢハードディスクに保存している録画番組などを配信する場合に設定します。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > お部屋ジャンプリンク設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   サーバー機能 / 接続許可方法 / 接続機器一覧
4. 項目ごとに設定する

サーバー機能

（オン / オフ）

オンに設定すると、視聴中の番組や接続したＵＳＢハードディスクに保存している録画番組などを、ＤＭＰ（デジタルメディアプレーヤー）機能やＤＭＲ（デジタルメディアレンダラー）機能を持つ機器に配信します。

- この機能を２台以上のテレビ同士で使用するときは、サーバーリストから機器の名称を選び、コンテンツを選択してください。それぞれのテレビの取扱説明書もご参照ください。
- この機能をスマートフォンやタブレット端末で使用するときは、スマートフォンやタブレット端末などにＴＶ Ｒｅｍｏｔｅ ２をインストールしてください。ＴＶ Ｒｅｍｏｔｅ ２アプリの情報は、以下のホームページをご参照ください。

  http://panasonic.jp/support/tv/

  ＴＶ Ｒｅｍｏｔｅ ２の操作については、ＴＶ Ｒｅｍｏｔｅ ２アプリのサポートページをご参照ください。
- 設定によっては、リモコンで電源「切」時、消費電力が増えることがあります。
- サーバー機能をオンに設定している場合、リモコンで電源を「切」にすると、待機状態であることを示すために本体の電源ランプが橙色になります。
- 本機で受信している放送をお部屋ジャンプリンク対応の当社製テレビに転送して視聴する場合、チューナを選んでください。

接続許可方法

（自動 / 手動）

本機への接続制限を設定するかどうか、選択します。

自動：

本機に接続できるすべての機器に配信を許可します。（最大１６台）

手動：

接続機器一覧で指定した機器だけを許可します。

接続機器一覧

本機に接続できる機器の一覧を表示します。

- お部屋ジャンプリンクサーバー機能で視聴できるコンテンツなどについては

  → ネットワーク > お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）> お部屋ジャンプリンクサーバー機能で視聴できるコンテンツについて

メディアアクセス機能を設定する

メディアアクセス機能を設定すると、外出先や家の中で現在放送中の番組、本機に接続したＵＳＢハードディスクやディーガに保存している録画番組を、スマートフォンやタブレット端末などで視聴できます。

- ご利用になるには、対応サービスへの会員登録とスマートフォンやタブレット端末などの機器にＭｅｄｉａ Ａｃｃｅｓｓをインストールし、本機をインターネットに接続する必要があります。また、スマートフォンやタブレット端末などを、本機が接続されているネットワークに無線ＬＡＮで接続し、ペアリング（登録）する必要があります。

  → ネットワーク > ネットワークに接続する

  → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- 会員登録およびサービス内容、動作環境やペアリング（登録）や、スマートフォンやタブレット端末などの操作については、以下のホームページをご覧ください。

  http://panasonic.jp/support/av/m_access/

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > メディアアクセス設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   メディアアクセス機能 / スワイプ＆シェア電源オン
4. 項目ごとに設定する

メディアアクセス機能

（オン / オフ）

- 設定によっては、リモコンで電源「切」時、消費電力が増えることがあります。
- メディアアクセス機能をオンに設定している場合、リモコンで電源を「切」にすると、待機状態であることを示すために本体の電源ランプが橙色になります。

スワイプ＆シェア電源オン

（オン / オフ）

オンに設定すると、スマートフォンやタブレット端末などを操作して本機の電源を「入」にできます。

- 本体の電源を「切」にしないでリモコンで「切」にしている必要があります。
- 意図せず本機の電源が「入」になることを防止するため、本機が見える位置から操作してください。
- メディアアクセス機能をオンにしている場合に設定できます。

＝ お知らせ ＝

- 本機にはスマートフォンやタブレット端末などの機器を６台までペアリング（登録）可能ですが、２台以上の機器で同時に利用できません。
- メディアアクセス機能を利用する場合は、本体の電源を「切」にしないでリモコン

で「切」にしてください。また、録画番組を視聴中はＵＳＢハードディスクを取り外さないでください。

- 放送局や録画番組、ネットワークの状態によっては視聴できない、または正しく再生できない場合があります。
- 暗号化設定していない無線ＬＡＮでは、メディアアクセス機能を使用できません。
- メディアアクセス機能を利用中、以下の機能は実行されません。
  - お部屋ジャンプリンクサーバー機能を利用して、放送番組や録画番組を配信する
  - 視聴中の録画番組を録画一覧画面で削除する
- メディアアクセス機能を利用中、以下の機能を使用すると視聴が停止する場合があります。
  - 録画
  - ２画面
  - インターネットサービスやメディアプレーヤー、お部屋ジャンプリンクでの写真や動画の再生
  - ダビング
  - ソフトウェアの更新（インターネット経由、放送ダウンロード）
- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下も合わせてご参照ください。

テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

ディモーラの設定をする

外出先から録画予約などを行う場合に設定します。

- 外出先のパソコンなどから、本機に接続している録画用に登録したＵＳＢハードディスクに録画予約や録画番組の削除などの操作ができます。ご利用になるには、パソコンから以下のホームページで会員登録を行ってください。

  http://dimora.jp/

  - 会員登録するには、本機をインターネットに接続する必要があります

    → ネットワーク > ネットワークに接続する

    → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

■ ディモーラの対応サービスについて

- サービスは対応サービス提供者が提供します。サービス内容やお申し込みについては、ディモーラのホームページなどでご確認ください。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- ディモーラ機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本機では、サービスに一定期間お試しで登録して利用することができます。

  お試しの期間が終了後、引き続きすべての機能を利用したい場合は、パソコンなどからディモーラに会員登録する必要があります。すでに CLUB Panasonic に会員登録している場合は、本機からディモーラの会員登録することができます。

  本機でのお試しの登録や会員登録については、画面の表示内容に従って行ってください。

  - お試しの登録は機器登録解除で解除することができます。

■ ディモーラの登録をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ディモーラの設定 > ディモーラ機能を選び、［決定］ボタンを押す
3. 入を選び、設定する
4. メッセージを確認し、［決定］ボタンを押す
5. 機器ＩＤ確認を選択して［決定］ボタンを押し、機器ＩＤを確認する

   （ディモーラのホームページで機器ＩＤなどを入力する必要があります）
6. ディモーラのホームページで機器ＩＤなどを入力し、会員登録をする
   - ディモーラの機能を使うことができるようになります。

ディモーラ機能

入に設定すると、ディモーラ機能を使うことができるようになります。

機器ＩＤ確認

ディモーラ機能を使ってインターネット経由でパソコンや携帯電話から本機を操作するとき、機器を特定するための番号を表示します。

■ ディモーラの設定をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ディモーラの設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す
   ディモーラからの番組消去 / 機器パスワード初期化 / 機器登録解除
4. 項目ごとに設定する

ディモーラからの番組消去

(入 / 切)

入に設定すると、ディモーラ機能を使って外出先から録画番組を消去できます。

機器パスワード初期化

ネットワーク経由で本機を操作する際に使用する機器パスワードの初期化を行います。

機器登録解除

機器登録や会員登録を解除する画面を表示します。(本機をインターネットに接続してください)

= お知らせ =

- ディモーラ機能を使う場合、リモコンで本機の電源を「切」にしてください。
- 不正利用を防ぐため、機器ＩＤや機器パスワードは他人に見られたり、教えたりしないでください。
  - 第三者が本機の設置・設定を行った場合は、必ず変更してください。
  - 修理依頼する場合は機器パスワードを初期化し、再設定してください。
  - 第三者に本機を譲渡したり廃棄する場合は、機器パスワードを初期化してください。
- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下も合わせてご参照ください。

テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

ファイル共有機能を設定する

ファイル共有サーバー機能

(オン / オフ)

パソコンと本機に接続しているＵＳＢハードディスクなどの機器でファイルを共有できるように設定します。

メディアプレーヤー > メディアプレーヤーを使う > ファイル共有サーバー機能を使う

ネットワーク機器一覧

本機のメディアプレーヤーで再生するために、ファイル共有できるネットワーク機器の一覧を表示します。

メディアプレーヤー > メディアプレーヤーを使う > ファイル共有機能を使う

= お知らせ =

- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下をご参照ください。

テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

トラッキング拒否機能を設定する

インターネットサービスを利用する場合に、閲覧履歴などの情報を追跡しないようにｗｅｂサイトに通知します。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > トラッキング拒否設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. トラッキング / トラッキング拒否機能についてを選び、［決定］ボタンを押す
4. 項目ごとに設定する

トラッキング

（モード１ / モード２ / モード３）

トラッキング拒否機能を設定します。

モード１：

トラッキングの許可をｗｅｂサイトに通知します。

モード２：

トラッキングの拒否をｗｅｂサイトに通知します。

モード３：

トラッキングに関する設定は一切ｗｅｂサイトに通知しません。

トラッキング拒否機能について

トラッキング拒否機能（Ｄｏ Ｎｏｔ Ｔｒａｃｋ）に関する注意事項を表示します。

- 表示するには、本機をインターネットに接続する必要があります

→ ネットワーク > ネットワークに接続する

→ ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

ソフトウェアの確認と更新をする

最新のソフトウェアをインターネット経由で確認し、更新できます。

- ネットワーク接続とネットワーク設定ができていることを確認してください。

  → ネットワーク > ネットワークに接続する

  → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ソフトウェアの更新確認を選び、［決定］ボタンを押す
3. 確認画面ではいを選び、［決定］ボタンを押す

   ソフトウェアが最新でなければ、ソフトウェアを更新します。

= お知らせ =

- ダウンロードには、数時間かかることがあります。
- ダウンロード中は、本体の電源を「切」にしないでください。
- ソフトウェアの更新中は、見るだけ予約の開始時刻になっても実行されません。

ソフトウェアの更新を通知する

最新のソフトウェアがある場合、本機に自動的に通知するか設定します。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ソフトウェアの更新通知を選び、［決定］ボタンを押す
3. オン / オフを選び、設定する

   オン：

   最新のソフトウェアがあるとき、本機の電源を「切」「入」するとソフトウェアの更新についてのメッセージを表示します。［決定］ボタンを押すと、ソフトウェアの更新を開始します。

   オフ：

   ソフトウェアの更新確認でソフトウェアの更新を確認します。

録画した番組をダビングする

ダビングする前にご確認ください

- 本機に接続したＵＳＢハードディスクの録画番組を、ＬＡＮで接続したダビング対応のディーガのハードディスクにダビングできます。
- ダビング対応のディーガが、ハブやルーターを経由して本機と接続されていますか？
  接続後はネットワーク設定をしてください。（アクトビラなどを視聴されている場合は、ネットワーク設定は必要ありません）

  → ネットワーク > ネットワークに接続する

  → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする
- ダビング対応のディーガをハブやルーターを使わずに本機に直接接続する場合は、ＬＡＮクロスケーブルをご使用ください。
- ディーガで設定や登録が必要になることがあります。ディーガの設定や登録については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。
- 本機はディーガ以外のダビング対応機器にもダビングできます。
- ディーガなどダビング対応機器の操作方法については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

■ ダビングに対応するディーガなどについて

- ダビングに対応するディーガについては、以下のホームページで最新の情報を確認できます。

  http://panasonic.jp/support/bd/　を開く。
  「動作確認情報」→ディーガの各機種内の「ＤＬＮＡダビング動作確認機器一覧表」
- ダビングに対応するディーガ以外の機器については、以下のホームページで最新の情報を確認できます。

  http://panasonic.jp/support/tv/connect/index.html

■ コピー制限について

本機はダビング１０に対応しています。

本機で録画したデジタル放送をディーガのハードディスクへダビングする場合、各番組に加えられたコピー制御信号（個数制限コピー可能・１回だけ録画可能・コピー可能・コピー不可）によって、次のように動作します。

- 個数制限コピー可能（例：ダビング１０）

  ９回までコピー（複製）ができます。１０回目はムーブ（移動）となり、ＵＳＢハードディスクに録画した番組は消えます。
- １回だけ録画可能

  ムーブ（移動）のみできます。
  ＵＳＢハードディスクに録画した番組は消えます。
- コピー可能

  回数の制限なくコピー（複製）ができます。
- コピー不可

  コピー（複製）できません。

= お知らせ =

- 「ダビング１０」対応の番組をＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクに録画した場合は、「１回だけ録画可能」な番組として録画します。

録画した番組をディーガへダビングする

ＵＳＢハードディスクに録画した番組をディーガなどへダビングします。

- ＵＳＢハードディスクに電源ボタンがある場合は、電源を「入」にしてください。

1. ［録画一覧］ボタンを押す
2. ダビングする録画番組を選び、［サブメニュー］ボタンを押す
3. ダビングを選び、［決定］ボタンを押す
4. ダビング機器を選び、［決定］ボタンを押す
   - ディーガの場合、ダビング機器はディーガ側で設定した名称を表示します。（最大４８台表示します）
5. ダビング画面の内容を確認したあと、ダビング開始を選び、［決定］ボタンを押す
   - ダビング開始メッセージを約５秒間表示後、録画一覧画面に戻ります。

- ダビングを中止するには、本機でテレビ放送視聴中に［停止］ボタンを押し、確認画面ではいを選び、［決定］ボタンを押す

■ ダビングするときの注意点について

- ダビング中は本体の電源を「切」にしないでください。電源を切りたい場合は、リモコンで電源を「切」にしてください。
- ダビングの進捗を確認するには［画面表示］ボタンを押す

= お知らせ =

- ダビング速度について
  - 480i、480p の番組は等倍速より早くなる場合があります。
  - ネットワークの接続状態により変わります。
- 本機で作成されたチャプターは番組と同時にダビングされます。
（ただし、先頭から１００個まで）
- 本機でプロテクトされた番組はプロテクトを解除してからダビングしてください。
- ディーガなどから、本機に接続したＵＳＢハードディスクにはダビングできません。
- 複数の番組やまとめ番組を選んでダビングすることはできません。

ダビング履歴を確認する

本機に接続したＵＳＢハードディスクから、ＬＡＮ接続のダビング対応ディーガなどにダビングした履歴を確認できます。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > 録画設定 > ダビング履歴を選び、［決定］ボタンを押す

   ダビング履歴画面では、実行したダビングの概要を表示します。

- ダビングした番組の放送、チャンネル番号、録画日、開始 / 終了時刻、番組タイトルを表示します。
  - ダビングした番組を選び、［決定］ボタンを押すとダビング履歴の詳細情報を表示します。ダビング失敗のときは、ダビングの失敗理由を表示します。
  - ダビングを実行した順番に表示します。

お部屋ジャンプリンクで写真を再生する

ファイルを選択して再生する

サーバー機器の準備と、ネットワークへの接続と設定ができていることをご確認ください。

ネットワーク > お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）> お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）について

ネットワーク > ネットワークに接続する

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

1. ［ホーム］ボタンを押す
2. 接続機器一覧を選び、［決定］ボタンを押す
3. サーバー機器を選び、［決定］ボタンを押す
   - ネットワーク接続した別のテレビにアクセスするには、接続機器一覧の中からテレビの名前を選択してください。
   - 選択したサーバー機器の詳細情報を表示するには
     1) ［サブメニュー］ボタンを押す
     2) 情報を見るを選び、［決定］ボタンを押す
4. ファイルを選び、［決定］ボタンを押して１枚ずつ見る
   - サーバー機器によっては、ファイルを選択する前にフォルダを選択する必要があります。
   - 選択したファイルの詳細情報を表示するには［データ］ボタンを押す

= お知らせ =

- 再生できないファイルも表示されますが、選択することはできません。

写真をシングル表示で操作する

■ 写真を見る

- 写真をシングル表示させて１枚ずつ見る

  ◁　：前の写真へ

  ▷　：次の写真へ

  ▽　：停止（一覧表示に戻る）

  ［決定］：スライドショー

- 操作ガイドを表示 / 非表示するには［画面表示］ボタンを押す
- ９０°回転するには［黄］ボタンを押す
- 一覧表示に戻るには［戻る］ボタンを押す

スライドショーで見る

スライドショーは、一覧表示の写真をすべて表示し終わるまで続きます。

1. 一覧表示からファイルを選択する
2. ［青］ボタンでスライドショー開始を選び、［決定］ボタンを押してスライドショーを開始する
   - 操作ガイドを表示 / 非表示するには［画面表示］ボタンを押す
   - 一時停止（写真表示に戻る）するには［決定］ボタンを押す
   - 一覧表示に戻るには［戻る］ボタンを押す

■ スライドショー設定

スライドショーの表示方法やＢＧＭなどを設定します。

1. 一覧を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
   - 再生中に［サブメニュー］ボタンを押してもスライドショー設定を表示します。
2. スライドショー設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   表示間隔 / リピート / ＢＧＭ
4. 項目ごとに設定する

表示間隔

（長い / 普通 / 短い）

スライドショーで写真を切り換える間隔が設定できます。

リピート

（オン / オフ）

スライドショーで繰り返し見ることができます。

ＢＧＭ

（オフ / ＢＧＭ１ / ＢＧＭ２ / ＢＧＭ３ / ＢＧＭ４ / ＢＧＭ５）

写真の表示中に再生するＢＧＭ（バックグラウンド・ミュージック）をお好みに合わせて選べます。

お部屋ジャンプリンクでビデオ映像を再生する

ファイルを選択して再生する

サーバー機器の準備と、ネットワークへの接続と設定ができていることをご確認ください。

ネットワーク > お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）> お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）について

ネットワーク > ネットワークに接続する

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

1. ［ホーム］ボタンを押す
2. 接続機器一覧を選び、［決定］ボタンを押す
3. サーバー機器を選び、［決定］ボタンを押す
   - ネットワーク接続した別のテレビにアクセスするには、接続機器一覧の中からテレビの名前を選択してください。
   - 選択したサーバー機器の詳細情報を表示するには
     1) ［サブメニュー］ボタンを押す
     2) 情報を見るを選び、［決定］ボタンを押す
4. ファイルを選び、［決定］ボタンを押して再生する
   - サーバー機器によっては、ファイルを選択する前にフォルダを選択する必要があります。
   - 選択したファイルの詳細情報を表示するには［データ］ボタンを押す

= お知らせ =

- ４Ｋ映像は、お部屋ジャンプリンクで正しく再生できない場合があります。
- 再生できないファイルも表示されますが、選択することはできません。

ビデオ映像を再生・操作する

■ 再生する

前回、再生を途中で停止したシーンを再生するとき、停止した場面から再生するか、先頭から再生するかの選択画面が表示された場合は、設定を選び、［決定］ボタンを押すと再生が始まります。

- 再生中の操作について

  △ ：３０秒スキップ（可能な場合）

  - 1回押すたびに、約３０秒飛び越して再生します。

  ◁ ：早戻し

  ▷ ：早送り

  ▽ ：停止

  ［決定］：一時停止（タイムシークバーまたはスロー再生を表示します）/ 再生

- 見たい場面に移動する

  1)［決定］ボタンを押してタイムシークバーを表示する

  2) タイムシークバーが表示している間に

  ◁ / ▷ ボタンを押す：

  サーチ（カウンターを約１０秒進める / 戻す）

  ◁ / ▷ ボタンを押し続ける：

  サーチ

  3)［決定］ボタンを押して見たい場面に移動する

- スロー再生するには

  1)［決定］ボタンを５秒間押し続ける

  ◁ / ▷ ボタンを押す：

  ゆっくりサーチ

  2)［決定］ボタンを押して通常の再生に戻る

- 操作ガイドと情報バーを表示 / 非表示するには［画面表示］ボタンを押す
- 前のコンテンツにスキップするには［青］ボタンを押す
- 次のコンテンツにスキップするには［赤］ボタンを押す
- 画面モードを切り換えるには

  1) 再生中に［画面モード］ボタンを押す

  2) 画面モードを選び、［決定］ボタンを押す

  モード１：

  元の映像の横縦比と大きさのまま表示します。

  モード２：

  元の映像の横縦比を保ちながら、画面に収まる範囲で拡大します。

  - コンテンツによっては、画面モードを切り換えることができないものもあります。

- 一覧表示に戻るには［戻る］ボタンを押す

ビデオ映像の音声や字幕などを設定する

ビデオ映像の音声や字幕、リピートの設定をします。

1. ビデオ映像を再生中に［サブメニュー］ボタンを押す
2. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   音声切換 / 二重音声 / リピート / 字幕設定

   - 設定項目や選択肢は、コンテンツによって異なります。
3. 項目ごとに設定する

音声切換

ビデオ映像に含まれる音声信号を選ぶことができます。音声信号には、コーデックとオーディオチャンネルを表示します。

二重音声

ファイルによって主音声、副音声を設定できます。

リピート

(オン / オフ)

「まとめ」の単位で繰り返し再生します。

- 一覧を表示中に設定することもできます。

字幕設定

(字幕 / 字幕言語 / 字幕文字サイズ / 字幕文字色 / 字幕表示位置 / 字幕遅延時間)

字幕に関する設定を行います。設定したい項目を選び、設定してください。

- ビデオ映像を再生中に設定できます。

  字幕：

  ビデオ映像に含まれる字幕を選ぶことができます。

  - 設定できないファイルのときは字幕なしと表示されます。

  字幕言語：

  ビデオ映像に含まれる字幕言語を選ぶことができます。

  字幕文字サイズ：

  字幕の文字サイズを選ぶことができます。

  字幕文字色：

  字幕の文字カラーを選ぶことができます。

  字幕表示位置：

  字幕の表示位置を選ぶことができます。

  字幕遅延時間：

  字幕が映像よりも遅れたり進む場合に調整します。

音声出力を設定する

デジタル音声出力（光）端子またはＨＤＭＩ１端子に接続したアンプを経由して、マルチチャンネルの音声をお楽しみいただけます。

- ビデオ映像に含まれる音声信号を確認、変更するには

ネットワーク > お部屋ジャンプリンクでビデオ映像を再生する > ビデオ映像の音声や字幕などを設定する

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 音声調整 > デジタル音声出力を選び、［決定］ボタンを押す
3. オート / ＰＣＭ / ビットストリームを選び、設定する

デジタル音声出力

（オート / ＰＣＭ / ビットストリーム）

デジタル音声出力（光）端子またはＨＤＭＩ１端子（ＡＲＣ）からの音声出力を設定します。

オート：

３ｃｈ以上の音声フォーマットのときは自動的に「ＡＡＣ」を出力します。ただし、メディアプレーヤーでのビデオ再生・アクトビラ動画の音声形式がドルビーデジタルフォーマットのサラウンド・ステレオで記録した場合に、自動的に「ドルビーデジタル」を出力します。

ＰＣＭ：

オーディオ機器がＡＡＣフォーマットやドルビーデジタルフォーマットに対応していないとき、常に「ＰＣＭ」を出力します。

ビットストリーム：

放送がＡＡＣフォーマット時は常に「ＡＡＣ」を出力します。ドルビーデジタルフォーマット時は常に「ドルビーデジタル」を出力します。ＡＡＣフォーマット・ドルビーデジタルフォーマット以外のときは「ＰＣＭ」を出力します。

- ＡＲＣとは、ＨＤＭＩケーブルでデジタル音声信号を送る機能です。
- ビットストリームに設定すると字幕放送やデータ放送の効果音が、デジタル音声出力（光）端子から出力されません。ＰＣＭに設定してご使用ください。
- ビデオ入力端子、Ｄ端子に接続した機器を視聴中は設定とは関係なく、常にＰＣＭ出力します。
- ＡＡＣ対応のオーディオ機器を接続する場合、ＰＣＭとＡＡＣの入力に対し自動切り換え機能のあるものをおすすめします。
- デジタル音声出力（光）端子からは、スピーカーと同じ音声を出力します。
- ＨＤＭＩ入力時のＤＶＤオーディオで暗号化されている場合は出力されません。

＝ お知らせ ＝

- メディアプレーヤーを使用しているときは、デジタル音声出力端子、ＨＤＭＩ１端子（ＡＲＣ対応）から音声信号が出力されています。ＨＤＭＩ１端子のＡＲＣ出力機能を利用するには、ＡＲＣ対応のアンプを接続してください。

いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う

お部屋ジャンプリンクで音楽を再生する

ファイルを選択して再生する

サーバー機器の準備と、ネットワークへの接続と設定ができていることをご確認ください。

ネットワーク > お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）> お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）について

ネットワーク > ネットワークに接続する

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

1. ［ホーム］ボタンを押す
2. 接続機器一覧を選び、［決定］ボタンを押す
3. サーバー機器を選び、［決定］ボタンを押す
   - ネットワーク接続した別のテレビにアクセスするには、接続機器一覧の中からテレビの名前を選択してください。
   - 選択したサーバー機器の詳細情報を表示するには
     1) ［サブメニュー］ボタンを押す
     2) 情報を見るを選び、［決定］ボタンを押す
4. ファイルを選び、［決定］ボタンを押して再生する
   - サーバー機器によっては、ファイルを選択する前にフォルダを選択する必要があります。
   - 選択したファイルの詳細情報を表示するには［データ］ボタンを押す

= お知らせ =

- 再生できないファイルも表示されますが、選択することはできません。

音楽を再生・操作する

■ 再生

- 再生中の操作について

  ◁ ：早戻し

  ▷ ：早送り

  ▽ ：停止

  ［決定］：一時停止（タイムシークバーを表示します）/ 再生

- 聴きたい場所に移動する

  1)［決定］ボタンを押してタイムシークバーを表示する

  2) タイムシークバーが表示している間に

  ◁ / ▷ ボタンを押す：

  サーチ（カウンターを約１０秒進める / 戻す）

  ◁ / ▷ ボタンを押し続ける：

  サーチ

  3)［決定］ボタンを押して聴きたい場所に移動する

- 操作ガイドを表示 / 非表示するには［画面表示］ボタンを押す
- 前の音楽にスキップするには［青］ボタンを押す
- 次の音楽にスキップするには［赤］ボタンを押す
- 一覧表示に戻るには［戻る］ボタンを押す

繰り返し（リピート）を設定する

音楽再生の繰り返し（リピート）を設定します。

1. 一覧を表示中に［サブメニュー］ボタンを押す
2. 音楽設定 > リピートを選び、［決定］ボタンを押す
   - 再生中に［サブメニュー］ボタンを押しても音楽設定を表示します。
3. オフ / フォルダリピート / 1曲リピートを選び、設定する

   フォルダリピート：

   フォルダ内の曲をリピートします。

   1曲リピート：

   選んだ曲を1曲だけリピートします。

お部屋ジャンプリンクでディーガやビエラのコンテンツを再生する

ディーガや本機以外のビエラのコンテンツを再生する

ディーガや本機以外のビエラに保存されている番組や写真、ディーガやビエラで受信している番組を視聴します。

- サーバー機器の準備と、ネットワークへの接続と設定ができていることをご確認ください。

  ネットワーク > お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）> お部屋ジャンプリンク（ＤＬＮＡ）について

  ネットワーク > ネットワークに接続する

  ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

1. ［ホーム］ボタンを押す
2. 接続機器一覧を選び、［決定］ボタンを押す
3. ディーガまたは本機以外のビエラを選び、［決定］ボタンを押す

   ディーガまたはビエラの画面が表示されます。操作ガイドに従って、本機のリモコンでディーガやビエラを操作することができます。

   - 操作については、ディーガまたはビエラの取扱説明書をご参照ください。

DMP・DMR機能で再生できるコンテンツ

写真（画像）のフォーマット

■ 本機で表示できる写真（画像）のフォーマット

● ＪＰＥＧ形式（.jpg、.jpeg）

サブサンプリング：

４：４：４、４：２：２、４：２：０

表示画素数：

最小８×８画素 ～ 最大 30719 × 17279 画素

- ＤＣＦおよびＥｘｉｆ規格に準拠（デジタルカメラなどで記録したもの）したファイルが再生できます。
- ＪＰＥＧ以外の形式（BMP形式、ＧＩＦ形式、ＴＩＦＦ形式など）、プログレッシブＪＰＥＧ形式やＪＰＥＧ２０００形式の写真は再生できません。

動画（ビデオ映像）のフォーマット

■ 本機で再生できる動画（ビデオ映像）のフォーマット

● ＡＶＣＨＤ形式（.mts）

ビデオコーデック：

H.264

オーディオコーデック：

Dolby Digital

- 当社製デジタルビデオカメラで撮影した動画（AVCHD の Ver. 2.0 に対応した AVCHD Progressive や AVCHD）を再生できます。
- フォルダの構成を変更すると再生できなくなることがあります。

● ＭＰ４形式（.f4v、.m4v、.mp4）

ビデオコーデック：

H.264、H.265(HEVC)、MPEG1、MPEG2

オーディオコーデック：

AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、HE-AAC、MPEG Audio、MP3

- 当社製デジタルビデオカメラで撮影した動画が再生できます。

● ＭＫＶ形式（.mkv）

ビデオコーデック：

H.264、H.265(HEVC)、MPEG1、MPEG2

オーディオコーデック：

AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、HE-AAC、MPEG Audio、MP3、Vorbis

---

● ＦＬＶ形式（.flv）

ビデオコーデック：

H.264

オーディオコーデック：

AAC、MP3

● ３ＧＰＰ形式（.3gp、.3g2）

ビデオコーデック：

H.264

オーディオコーデック：

AAC、HE-AAC

● ＰＳ形式（.mod、.mpg、.mpeg、.vob、.vro）

ビデオコーデック：

MPEG1、MPEG2

オーディオコーデック：

Dolby Digital、ＬＰＣM、MPEG Audio

● ＴＳ形式（.mts、.m2ts、.tp、.trp、.ts、.tts）

ビデオコーデック：

H.264、H.265(HEVC)、MPEG1、MPEG2

オーディオコーデック：

AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、HE-AAC、MPEG Audio

● ＷｅｂM形式（.webm）

ビデオコーデック：

VP9

オーディオコーデック：

Vorbis

■ 本機で表示できる字幕のフォーマット

● MicroDVD、SubRip、TMPlayer（.srt、.sub、.txt）

- 動画ファイルと同じフォルダ内に保存した同名の字幕ファイルを表示できます。
- ２つ以上の字幕ファイルが同じフォルダ内にあるとき、「.srt」、「.sub」、「.txt」の優先順位で表示されます。

= お知らせ =

- メディアプレーヤーとお部屋ジャンプリンクでは、再生できるファイルフォーマットが異なります。

音楽のフォーマット

■ 本機で再生できる音楽のフォーマット

● ＭＰ３形式（.mp3）

● Ｍ４Ａ形式（ＡＡＣ、Ａｐｐｌｅ　Ｌｏｓｓｌｅｓｓ）（.m4a）

- 著作権保護技術により保護されたファイルは再生できません。

● ＦＬＡＣ形式（.flac）

● ＷＡＶ形式（ＬＰＣＭ）（.wav）

お知らせ

- これらの条件を満たしているファイルであっても、再生を保証するものではありません。
- ファイルによっては、字幕やチャプターの機能は使えないことがあります。
- ファイル名にマルチバイト文字や特殊文字を使用しないでください。
- ファイル名やフォルダ名を変更した場合、本機で使えなくなることがあります。
- すべてのサーバー機器とのファイル再生を保証するものではありません。
- 本機が対応していないファイル形式の動画、静止画なども一覧に表示されます。
- サーバー機器によっては、ファイルを配信する際にファイル形式を変換（トランスコード）して配信する機器があります。この場合には変換後のファイル形式が本機の再生可能なファイル形式と同じである必要があります。ファイル形式を変換するか、変換後のファイル形式が何になるかについては、サーバー機器の取扱説明書をご覧ください。また、ファイル形式を変換して配信するサーバー機器との動作を保証するものではありません。
- 動画、静止画などの再生および表示などはサーバーの状態によっては行えない場合があります。また、本機が対応していないファイル形式の動画、静止画などの再生および表示は行えません。
- ＴＳ形式／ＰＳ形式の映像としてはディーガやパソコンなどで録画したデジタル放送や地上アナログ放送の番組などがあります。
- 地上デジタル／ＢＳデジタル放送などを録画したものの再生には、ＤＴＣＰ－ＩＰ機能に対応したサーバー機器が必要になります。サーバー機器にＤＴＣＰ－ＩＰがあるかどうかは、サーバー機器の取扱説明書をご覧ください。

いろいろな機能

インフォメーションバーを使う

インフォメーションバーについて

テレビ画面の４辺に番組情報やおすすめの関連情報など、さまざまな情報やサービスを必要なときに表示することができます。

（例）

- 本機をインターネット（ブロードバンド環境）に接続したときに表示される情報があります。

= お知らせ =

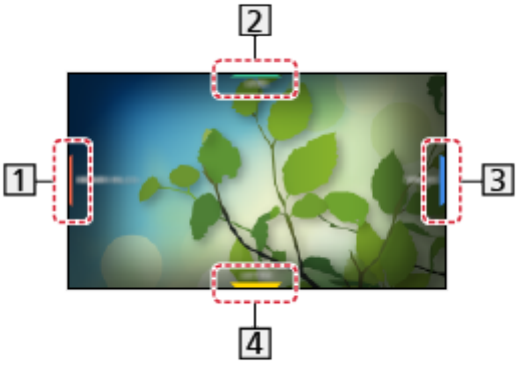
- 表示できるサービス内容や画面は予告なく変更する場合があります。

インフォメーションバーを使う

テレビを視聴中にインフォメーションバーを表示してさまざまな情報やサービスを確認します。

1. ［ホーム］ボタンを３秒以上押す
   - テレビ画面の４辺にインフォメーションバーを表示します。

（例）



1 放送中の番組情報 / インターネットのお気に入りなどの情報

2 天気などの関連情報

3 お知らせ

4 テレビ番組やインターネットコンテンツなどのおすすめ情報

- 音声タッチパッドリモコンの［⌂（ホーム）］ボタンを３秒以上押して表示することもできます。
- インフォメーションバーの表示を消すには［戻る］ボタンを押す

2. △ / ▽ / ◁ / ▷ またはカラー（青 / 赤 / 緑 / 黄）ボタンでインフォメーションバーの１辺を選ぶ
   - 音声タッチパッドリモコンのタッチパッドを使って操作することもできます。
3. 画面の表示内容に従って操作する

= お知らせ =

- 電源「入」時はインフォメーションバーを数秒間表示します。

→ いろいろな機能 > インフォメーションバーを使う > インフォメーションバーの設定をする

インフォメーションバーの設定をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > 表示の設定 > インフォメーションバー自動表示を選び、［決定］ボタンを押す
3. オン / オフを選び設定する

インフォメーションバー自動表示

（オン / オフ）

電源「入」時にインフォメーションバーを数秒間表示します。

音声操作機能を使う

音声操作機能をお使いになる前に

音声操作では、発話した言葉を認識し、テレビのチャンネルや音量を操作したりインターネットに接続して検索したりすることができます。

- インターネットに接続して音声による検索などを行う場合は、ブロードバンド環境が必要です。ネットワークへの接続と設定ができていることをご確認ください。

  ネットワーク > ネットワークに接続する

  ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- 音声タッチパッドリモコンと本機のペアリングができていることをご確認ください。

  いろいろな機能 > 音声タッチパッドリモコンを使う > 音声タッチパッドリモコンの設定をする

- スマートフォンなどを本機のリモコンとして設定して、音声で操作することもできます。

  - 本機でＴＶリモートの設定が必要です。

    ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ＴＶリモートの設定をする

音声で操作する

1. 音声タッチパッドリモコンの［（音声操作）］ボタンを押す
   - マイクアイコンと操作ガイドが表示されます。

     （例）

   - 画面にメッセージが表示された場合は、表示内容に従ってください。
2. マイクアイコン表示中に、マイクに向かって音声コマンドを発話する

   （例）

- マイクアイコンが青く点灯しているときは、音声操作できません。
- 音声による検索や操作をするための音声コマンドを表示するには、マイクアイコン表示中に音声タッチパッドリモコンの［（サブメニュー）］ボタンを押す
- 音声操作を終了するには［戻る］ボタンを押す

= お知らせ =

- 音声操作をご利用中は、一時的にテレビの音量が小さくなります。
- 以下のようなときは、音声操作が働かないことがあります。
  画面にメッセージが表示された場合は、画面の表示内容に従ってください。
  - 発音が不鮮明、または正しくない
  - 発話の音量が大きすぎる、または小さすぎる
  - 周囲に雑音が多い
- 音声コマンドにない言葉は認識できません。
- 音声操作を使うときは、音声タッチパッドリモコンのマイクから約１５ cm 以内で発話してください。
- 音声操作機能は予告なく変更する場合があります。

音声操作の設定をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > 音声操作の設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す
   発話検出レベル / 利用規約 / 音声操作の使い方ガイド
4. 項目ごとに設定する

発話検出レベル

（高 / 標準）

音声操作の発話検出レベルを調節します。

利用規約

音声操作の利用規約の画面を表示します。

音声操作の使い方ガイド

音声操作の使い方を確認します。

= お知らせ =

- プロキシサーバーを経由してインターネットに接続している場合、音声操作機能が使えないことがあります。音声操作機能を使うときはプロキシサーバー設定を行わずにインターネットに接続してください。（一般のご家庭では、通常プロキシサーバーの設定は必要ありません。お客様のインターネット接続環境については、プロバイダーにお問い合わせください）
- 音声による検索などを行う場合は、発話した言葉を音声データにしてインターネットを通じて音声認識サーバーに送信する必要があるため、利用規約に同意していただく必要があります。利用規約の画面が表示されたときは、画面の表示内容に従って操作してください。

ＴＶリモートから音声で操作する

- ＴＶリモートで操作するには、本機の操作ができるスマートフォンやタブレット端末などの機器にＴＶ Ｒｅｍｏｔｅ ２をインストールし、本機が接続されているネットワークに無線ＬＡＮで接続する必要があります。
- ＴＶリモートの機能や操作などについては、以下のホームページでご覧になれます。

  http://panasonic.jp/support/tv/　を開く。

  テレビお客様サポートの「アプリ情報」から、ＴＶ Ｒｅｍｏｔｅ ２の情報を参照する。

  （お使いの端末に合わせて、ＡｎｄｒｏｉｄアプリまたはｉＯＳアプリをお選びください。）

音声タッチパッドリモコンを使う

音声タッチパッドリモコンについて

音声タッチパッドリモコンで音声操作機能を使って本機の操作をしたり、ホーム画面やインターネットなどの画面操作が簡単にできます。

- 初めてお使いになる前に、音声タッチパッドリモコンとテレビ本体をペアリング（登録）してください。

  いろいろな機能 > 音声タッチパッドリモコンを使う > 音声タッチパッドリモコンとテレビ本体をペアリング（登録）する

- 音声による検索などを行う場合は、発話した言葉を音声データにしてインターネットを通じて音声認識サーバーに送信する必要があるため、利用規約に同意していただく必要があります。利用規約の画面が表示されたときは、画面の表示内容に従って操作してください。
- 音声タッチパッドリモコンは、本機との送受信にＢｌｕｅｔｏｏｔｈ無線技術を使っています。
- 電源を「入」「切」するときは、テレビ本体のリモコン受信部に向けてください。テレビ本体のリモコン受信部と音声タッチパッドリモコンの間に障害物があると電源の「入」「切」ができないことがあります。（本機に登録しなくても、電源の「入」「切」は操作できます）
- 音声操作を使うときは、音声タッチパッドリモコンのマイクから約１５ cm 以内で発話してください。

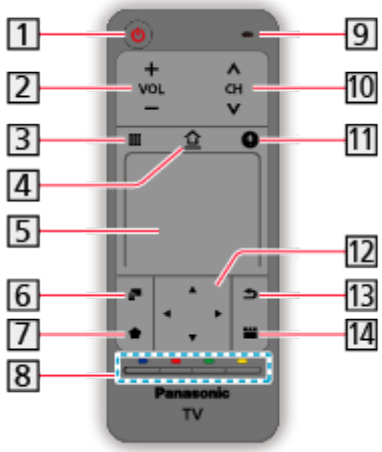
= お知らせ =

- 音声タッチパッドリモコンは、本機専用のリモコンです。
- 音声タッチパッドリモコンを使用できる距離は、使用環境によって異なります。
- メインリモコンのリモコンモードを変更した場合は、音声タッチパッドリモコンのリモコンモードも変更してください。
  リモコン設定については、以下をご参照ください。

  いろいろな機能 > 地域やチャンネルなど設置に関する設定をする > 設置設定をする

- タッチパッドの上にものを置いたり、爪など先のとがったものや硬いもの、ペンのような跡の残るもので操作しないでください。破損や誤動作の原因となります。
- 油などでタッチパッドを汚さないでください。正常に動作しなくなることがあります。

音声タッチパッドリモコンの名称とはたらき



1 電源ボタン

- 本体の電源「入」状態で、電源を「入」「切」する
- テレビ本体のリモコン受信部に向けて操作してください。

2 音量ボタン

- 音量を調整する（画面下に音量を表示）

3 画面リモコンボタン

- メインリモコンのボタンを表すアイコン（画面リモコン）を表示する

いろいろな機能 > 音声タッチパッドリモコンを使う > メインリモコンのボタンを表示する

4 ホームボタン

- ホーム画面を表示する

5 タッチパッド

- スワイプやカーソル移動などの方法で操作する
- タッチパッドをクリックして決定する
- 操作方法については、タッチパッド操作ガイドをご覧ください。

いろいろな機能 > 音声タッチパッドリモコンを使う > 音声タッチパッドリモコンの設定をする

6 サブメニューボタン

- 関連する機能を表示する

7 ホームに登録ボタン

- お気に入りのチャンネルやアプリなどを登録する

ホームを使う > ホーム画面を操作する > ホームに機能を登録する

8 カラーボタン

- 画面に従って使う

9 マイク

10 チャンネルボタン

- チャンネルを順送りで選ぶ

11 音声操作ボタン

- 音声操作機能を使う

いろいろな機能 > 音声操作機能を使う

12 カーソルボタン

- 画面上で項目を選ぶ
- △ / ▽ / ◁ / ▷ ボタンで項目を選びます。

13 戻るボタン

- １つ前の画面に戻る

14 アプリボタン

- アプリ一覧画面を表示する

音声タッチパッドリモコンとテレビ本体をペアリング（登録）する

音声タッチパッドリモコンは、電池を入れたあとタップなどの操作をするとペアリング（登録）を行います。ペアリング（登録）をやり直す場合は、メインリモコンで以下の手順を行ってください。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > タッチパッドリモコン設定 > 登録を選び、［決定］ボタンを押す
3. 画面の表示内容に従って音声タッチパッドリモコンをペアリング（登録）する

= お知らせ =

- 本機に音声タッチパッドリモコンをペアリング（登録）するときは、音声タッチパッドリモコンを本機から約５０ cm 以内に近づけてください。
- ペアリング（登録）がうまくできないときは、本機のＢｌｕｅｔｏｏｔｈ送受信部に音声タッチパッドリモコンを近づけて、再度ペアリング（登録）してください。
  - 本機のＢｌｕｅｔｏｏｔｈ送受信部については、📖 取扱説明書をご覧ください。
- 本機にペアリング（登録）できる音声タッチパッドリモコンは１つだけです。
- 音声タッチパッドリモコンの電池残量が少ない場合や、通信状態がよくない場合に、正しくペアリング（登録）できないことがあります。

音声タッチパッドリモコンの設定をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > タッチパッドリモコン設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す
   登録 / カーソル速度 / タッチパッド操作ガイド
4. 画面の表示内容に従って設定する

登録

付属の音声タッチパッドリモコンを本機にペアリング（登録）します。

→ いろいろな機能 > 音声タッチパッドリモコンを使う > 音声タッチパッドリモコンとテレビ本体をペアリング（登録）する

カーソル速度

（速い / 普通 / 遅い）

カーソルの速度を設定します。

タッチパッド操作ガイド

タッチパッドの操作を確認するため、操作ガイドを表示します。

メインリモコンのボタンを表示する

メインリモコンのボタンを表すアイコン（画面リモコン）を画面に表示させて、音声タッチパッドリモコンでメインリモコンと同様の操作をすることができます。

1. 音声タッチパッドリモコンの［ ▦（画面リモコン）］ボタンを押す
    - 画面リモコン表示中にもう一度［ ▦（画面リモコン）］ボタンを押すと、アイコン（画面リモコン）の表示位置が移動します。
2. 上下左右のスワイプ操作でアイコンを選び、クリックして決定する
    - △ / ▽ / ◁ / ▷ ボタンでアイコンを選択することもできます。

- テレビ画面に戻るには、音声タッチパッドリモコンの［ ⮌（戻る）］ボタンを押す

ミラーリング機能を使う

ミラーリング機能を利用する

ミラーリング機能に対応したスマートフォンやタブレット端末などの画面を、本機の画面に表示できます。

- スマートフォンやタブレット端末など、機器側での設定が必要になる場合があります。
- スマートフォンやタブレット端末などの設定や操作については、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

1. ［ホーム］ボタンを押す
2. 接続機器一覧を選び、［決定］ボタンを押す
3. ミラーリングを選び、［決定］ボタンを押す

- 以降は画面の表示に従って操作してください。

= お知らせ =

- かんたんミラーリング機能をオンに設定している場合は、スマートフォンやタブレット端末などの操作でミラーリングを開始できます。

→ いろいろな機能 > ミラーリング機能を使う > ミラーリング機能の設定をする

ミラーリング機能の設定をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ネットワーク設定 > ミラーリング設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   かんたんミラーリング機能 / かんたんミラーリング電源オン機能 / ペアリング情報削除
4. 画面の表示内容に従って設定する

かんたんミラーリング機能

（オン / オフ）

本機の電源が「入」のときは本機を操作することなくスマートフォンやタブレット端末などの操作でミラーリングを開始できます。

- 本機を無線親機に設定している場合は、かんたんミラーリング機能は動作しません。

かんたんミラーリング電源オン機能

（オン / オフ）

スマートフォンやタブレット端末などを操作してミラーリングを開始したとき、本機の電源を「入」にできます。

- 本体の電源を「切」にしないでリモコンで「切」にしている必要があります。
- 意図せず本機の電源が「入」になることを防止するため、本機が見える位置から操作してください。
- かんたんミラーリング電源オン機能を使用する前に、本機とスマートフォンやタブレット端末などをミラーリング接続し、ペアリング（登録）する必要があります。
- 設定によっては、リモコンで電源「切」時、消費電力が増えることがあります。
- かんたんミラーリング電源オン機能をオンに設定している場合、リモコンで電源を「切」にすると、待機状態であることを示すために本体の電源ランプが橙色になります。

ペアリング情報削除

ペアリング（登録）済みのスマートフォンやタブレット端末などの情報をすべて削除します。

= お知らせ =

- 本機にはスマートフォンやタブレット端末などの機器を６台までペアリング（登録）できます。

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う

ビエラリンクの概要

本機とＨＤＭＩケーブルを使って接続したビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応機器（ディーガやシアターなど）を自動的に連動させて、本機のリモコン１つで簡単に操作して、映像や音楽を楽しむことができます。

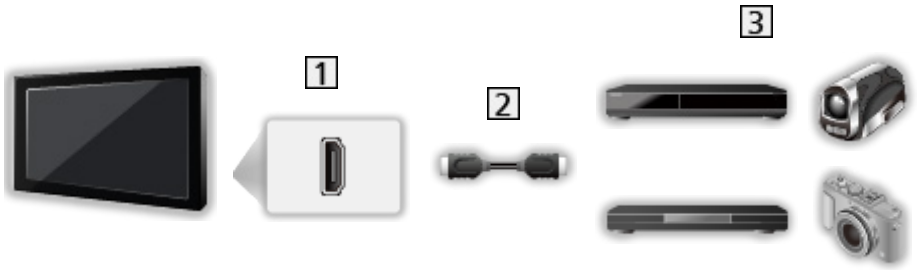
- すべての操作ができるものではありません。
- 本機はビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．５に対応しています。
- 機器が対応しているビエラリンクのバージョンによって、一部、機能が制限されることがあります。対応しているビエラリンクのバージョンについては接続する機器の取扱説明書をご確認ください。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）は、ＨＤＭＩ ＣＥＣ（Consumer Electronics Control）と呼ばれる業界標準のＨＤＭＩによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。よって、他社製ＨＤＭＩ ＣＥＣ対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンクは、他社製ＨＤＭＩ ＣＥＣ対応機器でも一部機能が動作することがあります。
- ビエラリンクに対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 接続方法の詳細については、➡🕮 取扱説明書をご覧ください。

■ ビエラリンク（ＨＤＭＩ接続）

- ＨＤＭＩケーブル（別売品）は、当社製を推奨します。ＨＤＭＩ規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- ビエラリンク対応機器を、本機のＨＤＭＩ端子へＨＤＭＩケーブル（別売品）で接続してください。

  ビエラリンクで録画に使う機器は、ＨＤＭＩ１端子に接続してください。

  ビエラリンク対応デジタルビデオカメラやデジタルカメラを接続するときのケーブルについては、機器の取扱説明書をご参照ください。



1 ＨＤＭＩ端子

2 ＨＤＭＩケーブル（別売品）

3 ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応機器（ディーガ / ＤＶＤプレーヤー / ブルーレイディスクプレーヤー / ＣＡＴＶデジタルＳＴＢ / スカパー！プレミアムサービス ＤＶＲ / デジタルビデオカメラ / デジタルカメラ）

■ 機能（ＨＤＭＩ接続）

ディーガ / ＤＶＤプレーヤー / ブルーレイディスクプレーヤー

- 簡単再生
- 電源オン連動
- 電源オフ連動
- ＥＣＯスタンバイ※２
- こまめにオフ※１
- 機器を操作する※１

ＣＡＴＶデジタルＳＴＢ / スカパー！プレミアムサービスＤＶＲ

- 電源オン連動
- 電源オフ連動
- ＥＣＯスタンバイ※２
- こまめにオフ※２
- 機器を操作する※１

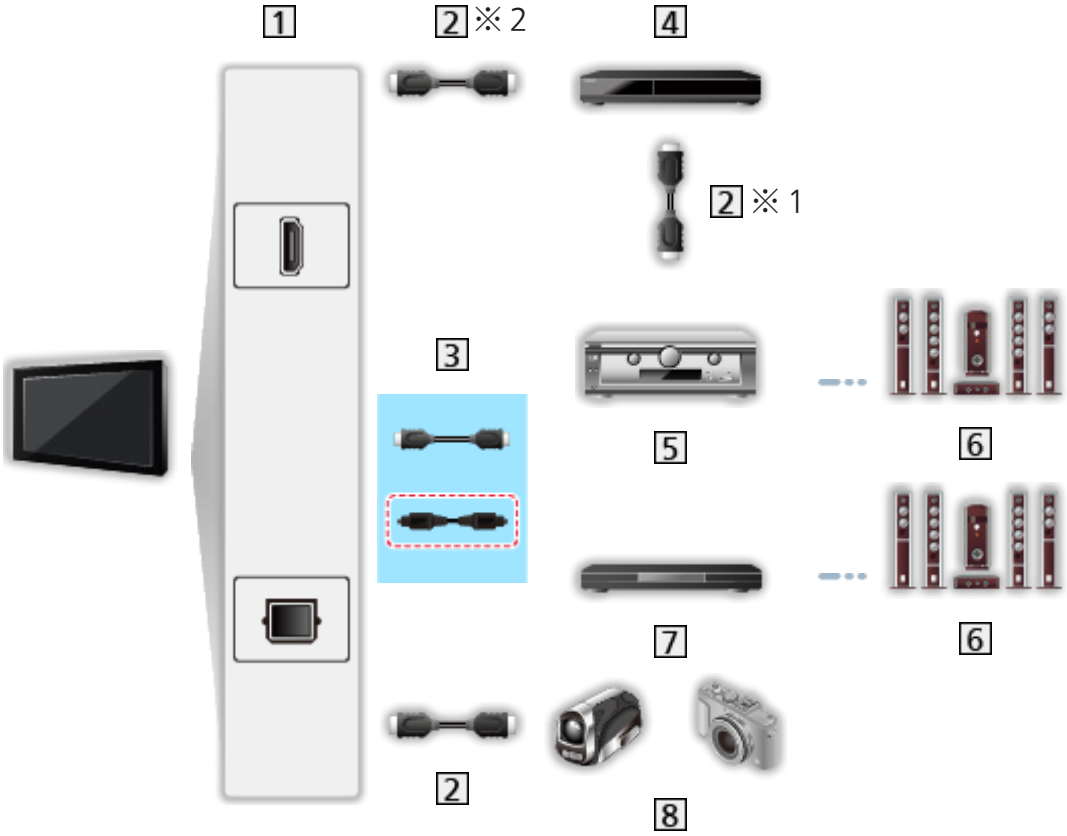
デジタルビデオカメラ / デジタルカメラ

- 簡単再生
- 電源オン連動
- 電源オフ連動
- 機器を操作する※１

※１：ビエラリンクＶｅｒ．２以上に対応している機器
※２：ビエラリンクＶｅｒ．４以上に対応している機器

■ ビエラリンク（ＨＤＭＩと音声出力の接続）

- ＨＤＭＩケーブルは、当社製を推奨します。ＨＤＭＩ規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応機器を、本機のＨＤＭＩ端子へＨＤＭＩケーブルで接続してください。



1 ＨＤＭＩ端子 / デジタル音声出力端子

2 ＨＤＭＩケーブル（別売品）

3 ＨＤＭＩケーブル（光デジタルケーブル※3）（別売品）

4 ビエラリンク対応ディーガ

5 ビエラリンク対応アンプ

6 スピーカーシステム

7 ビエラリンク対応シアター / ブルーレイディスクシアター

8 ビエラリンク対応デジタルビデオカメラ / デジタルカメラ

※1：アンプやシアターは、本機とディーガの間に接続します。

※2：アンプやシアターのＨＤＭＩ端子が４Ｋ映像信号に対応していない場合に本機で４Ｋ映像を見るには、ディーガを本機のＨＤＭＩ端子に直接接続してください。

※3：接続するアンプやシアターがＡＲＣに対応している場合、光デジタルケーブルでの接続は不要です。その場合は、ＨＤＭＩケーブルを本機のＨＤＭＩ１端子に接続してください。
ＡＲＣ非対応のアンプやシアターと接続するときは、光デジタルケーブルの接続も必要です。

- 接続方法の詳細については、📖 取扱説明書をご覧ください。

■ 機能（ＨＤＭＩと音声出力の接続）

シアター

- 簡単再生※３
- 電源オン連動
- 電源オフ連動
- こまめにオフ※１※４
- 機器を操作する※１
- 音声を切り換える

ブルーレイディスクシアター

- 簡単再生※３
- 電源オン連動
- 電源オフ連動
- こまめにオフ※１※４
- 機器を操作する※１
- 音声を切り換える

アンプ

- 電源オフ連動
- こまめにオフ※１
- 音声を切り換える

※１：ビエラリンクＶｅｒ．２以上に対応している機器

※２：ビエラリンクＶｅｒ．４以上に対応している機器

※３：ディスクを再生中

※４：ディスクを再生して本機で映像を映しているとき以外

■ ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応機器を操作する

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）で操作できるのは、各機器につき１台です。同じ種類のビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応機器を複数接続した場合、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）で操作できるものは、番号の小さいＨＤＭＩ端子に接続した機器のみです。

→ いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > ディーガなどの機器を操作する

ビエラリンクをお使いになる前に

- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応機器を接続してください。
- ビエラリンクの接続については

  → いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > ビエラリンクの概要
- ＨＤＭＩケーブルは、当社製を推奨します。ＨＤＭＩ規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使うには、接続した機器側の設定も必要です。設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 機器設定のビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定で、ビエラリンクをオンに設定してください。
- 本機を連携させるには

  接続完了後、すべての接続したビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応機器の電源を入れた状態で、本機の電源を入れ直してください。その後、［入力切換］ボタンを押して入力を切り換え、接続したＨＤＭＩ入力ごとに映像を確認してください。（これらの作業は、以下の場合に必要です。）

  - 最初に設定するとき
  - 機器を追加したり、再接続したとき
  - 設定を変更したとき

簡単再生

自動入力切り換え - 接続機器を操作すると、本機の画面が自動的に接続機器の入力に切り換わります。

電源オン連動

この機能を使用するには、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定の電源オン連動をオンに設定してください。

接続機器が作動すると、本機の電源を自動的に「入」にします。（リモコンで本機の電源を「切」にしている場合）

= お知らせ =

- 電源オン連動をオンに設定している場合、リモコンで電源を「切」にすると、待機状態であることを示すために本体の電源ランプが橙色になります。

電源オフ連動

この機能を使用するには、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定の電源オフ連動をオンに設定してください。

本機の電源を「切」にしたとき、ディーガやシアターの電源も「切」にします。

- この機能は自動的に本機の電源が切れる場合にも働きます。

= お知らせ =

- 電源オフ連動をオンに設定中、接続機器の状態（録画中など）によっては、電源が「切」にならない場合があります。

ＥＣＯスタンバイ

この機能を使用するには、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定のＥＣＯスタンバイをオンに設定してください。

接続機器の待機時の消費電力を最小にしたり、すぐに立ち上がるように少し消費電力を大きくしたり、本機の状態に合わせてコントロールします。

本機の電源を「切」にしたとき、連動して接続機器の消費電力を最小モードに切り換えます。

本機の電源を「入」にしたとき、接続機器はまだ待機状態ですが、すばやく起動するように、接続機器の消費電力が少し上がります。

- この機能は、接続機器が待機時の消費電力を調整できる機能を持っているとき、電力消費を節約できます。
- この機能を使用するには、電源オフ連動をオンに設定してください。

こまめにオフ

この機能を使用するには、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定のこまめにオフをオンに設定してください。

本機の電源が「入」であっても、消費電力を減らすため、使っていない接続機器の電源を個別に自動で「切」にします。例えば、入力がＨＤＭＩから切り換わったときや音声を切り換えるでテレビに変更したとき（ディスクを再生して本機で映像を映しているとき以外）に働きます。

- この機能は接続機器によっては正しく働かないことがあります。そのような場合は、設定をオフにしてください。

ケーブルテレビの電源オン連動

この機能を使用するには、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定のケーブルテレビの電源オン連動をオンに設定してください。

本機の電源を「入」にしたとき、ＣＡＴＶデジタルＳＴＢの電源も「入」にします。

- ケーブルテレビで視聴される場合におすすめします。
- スカパー！プレミアムサービスＤＶＲとは連動できません。

ディーガの操作

ディーガの入力に切り換えているときに、本機のリモコンでディーガ操作に有効なボタンを追加します。

この機能を使用するには、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定のディーガの操作を拡大に設定してください。

- 拡大に設定すると、以下のボタンがディーガ操作に有効なボタンとして追加されます。
  - ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．４以上の場合（接続するディーガの機能により操作できないボタンがあります）

    [チャンネル]、[１～１２]、[地上]、[ＢＳ]、[ＣＳ]、[番組表]、[音声切換]、[データ]
  - ビエラリンクＶｅｒ．2、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．3の場合

    [チャンネル]、[番組表]
- 通常に設定するとビエラリンク（ＨＤＭＩ）接続のディーガ視聴中に使えるボタンを追加しません。

テスト（ディーガ電源）

ビエラリンクを使ってディーガの電源が「入」/「切」できるか確認します。

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定のテスト（ディーガ電源）をオンまたはオフに設定してください。

- オンまたはオフに連動してディーガの電源が「入」または「切」すれば正常です。
- ディーガの電源が「入」または「切」しない場合は、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）の接続をご確認ください。

→ いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > ビエラリンクの概要

ディーガなどの機器を操作する

本機のリモコンで接続機器の操作ができます。リモコンは、本機に向けて操作します。

1. ［ビエラリンク］ボタンを押す
2. 機器を操作するを選び、［決定］ボタンを押す
3. 操作する接続機器を選び、［決定］ボタンを押す

   （アクセスした接続機器のメニュー画面が表示されます。）

   - 接続機器によって表示される内容は異なります。
4. 画面の表示内容に従って接続機器のメニューを操作する
   - 操作ガイドを表示するには、映像を視聴中に以下のボタンを押してください。

     ディーガ：［サブメニュー］ボタン

     サーバー機器 / 本機以外のビエラ：［画面表示］ボタン

     （他社製の接続機器にアクセスした場合は、設定 / コンテンツ選択メニュー画面が表示されることがあります。）
   - 利用できるリモコンボタンは、接続機器によって異なります。
   - 同じ種類のビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応機器を複数接続した場合、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）で操作できるものは、番号の小さいＨＤＭＩ端子に接続した機器のみです。

● 本機の操作に戻るには

1) ［ビエラリンク］ボタンを押す

2) テレビに戻るを選び、［決定］ボタンを押す

■ ＨＤＭＩ接続のディーガを操作する

本機とＨＤＭＩケーブルを使って接続したビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応のディーガを自動的に連動させて、本機のリモコンで簡単に操作できます。

- すべての操作ができるものではありません。

1. ［ディーガ操作］ボタンを押す
   - ディーガの操作画面に切り換わります。
2. 接続したディーガに応じて、メニューを操作する
   - ディーガの詳しい操作方法については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。

= お知らせ =

- ディーガのリモコンを操作して、再生したときやディーガの操作画面が表示状態になったときは、自動的に本機の電源が「入」になり、ディーガの画面に切り換わります。

■ ケーブルテレビ（ＣＡＴＶ）のＳＴＢやスカパー！プレミアムサービスＤＶＲを操作する

本機とＨＤＭＩケーブルを使って接続したビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応のＣＡＴＶデジタルＳＴＢやスカパー！プレミアムサービスＤＶＲを自動的に連動させて、本機のリモコンで簡単に操作できます。

- すべての操作ができるものではありません。

1.［ビエラリンク］ボタンを押す

2.機器を操作するでケーブルテレビまたはスカパー！を選び、［決定］ボタンを押す

- ケーブルテレビまたはスカパー！プレミアムサービスの画面になります。
- ＣＡＴＶデジタルＳＴＢ側またはスカパー！プレミアムサービスＤＶＲ側のメニュー画面を表示するには、接続した機器の画面でもう一度上記の操作を行ってください。
- ＣＡＴＶデジタルＳＴＢまたはスカパー！プレミアムサービスＤＶＲの詳しい操作方法については、接続した機器の説明書をご覧ください。

- ＣＡＴＶデジタルＳＴＢの操作から本機の操作に戻るには

  1)［ビエラリンク］ボタンを押す

  2) テレビに戻るを選び、［決定］ボタンを押す
- スカパー！プレミアムサービスＤＶＲの操作から本機の操作に戻るには［元の画面］ボタンを押します。

= お知らせ =

- 初めて接続したときや接続・設定を変更したときは、［入力切換］ボタンを押して機器を接続しているＨＤＭＩ入力に切り換えてください。
- 操作できるＣＡＴＶデジタルＳＴＢやスカパー！プレミアムサービスＤＶＲはそれぞれ１台のみです。

■ ビエラリンク非対応の機器にアクセスしたとき

接続機器のタイプが表示されます。機器にアクセスはできますが、リモコンで操作することはできません。接続機器のリモコンで操作してください。

= お知らせ =

- 接続機器を操作できない場合は、設定や接続機器を確認してください。

  → いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > ビエラリンクの概要
- 接続機器によっては、本機のリモコンでは操作できない機能もあります。そのような場合は、接続機器のリモコンで操作してください。
- 接続機器の操作の詳細については、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

シアターの音声を切り換える

本機のリモコンでシアターの操作ができます。リモコンは、本機に向けて操作します。

- すべての操作ができるものではありません。

1. ［ビエラリンク］ボタンを押す
2. 音声を切り換えるを選び、［決定］ボタンを押す
3. シアター / テレビを選び、設定する

シアター：

シアターのスピーカーから音声が流れます。シアターが待機状態の場合は、自動的に電源が入ります。

- 本機からの音声は消えます。シアターの電源が切れた場合は、また本機から音声が流れます。
- ［音量］ボタン、［消音］ボタンで音量を調節できます。

テレビ：

本機から音声が流れます。

= お知らせ =

- ディーガなどの外部機器を本機にＨＤＭＩケーブルで接続してシアターから音声を出力している場合は、本機に接続したヘッドホン／イヤホンで音声を聴くことができます。
- ディーガなどの外部機器を直接シアターに入力してシアターから音声を出力している場合は、本機に接続したヘッドホン／イヤホンで音声を聴くことはできません。

■ シアターのサウンドを切り換える

シアターサウンドを楽しむときに設定します。

- ビエラリンク > 音声を切り換えるでシアターを選択すると設定できます。

1. ［ビエラリンク］ボタンを押す
2. シアターサウンドを切り換えるを選び、設定する

オート：

番組に応じた最適なサウンドに自動的に切り換えます。

スタンダード：

全音域をバランスよくした音に調整します。

スタジアム：

広がり感を重視した音に調整します。

ミュージック：

メリハリ感を強調した音に調整します。

シネマ：

映画の視聴に適した音に調整します。

ニュース：

人の声を聴きやすくした音に調整します。

= お知らせ =

- 本機で選んだサウンドに応じ、シアターの音場効果が切り換わります。
- シアターがビエラリンクＶｅｒ．2に対応している場合はオートを除く５つ、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．3以上に対応している場合はオートを含めた６つのサウンドに切り換えられます。
- メディアプレーヤーのＢＧＭ設定をオフにして、写真を見ているときはサウンドは切り換わりません。

■ マルチチャンネルの音声

アンプを使ってドルビーデジタル ５．１ｃｈなどのマルチチャンネルの音声をお楽しみいただくには、アンプをＨＤＭＩケーブルと光デジタルケーブルで接続し、シアターを選択してください。接続するアンプがビエラリンクＶｅｒ．5に対応している場合、光デジタルケーブルでの接続は不要です。その場合は、ＨＤＭＩケーブルを本機のＨＤＭＩ１端子に接続してください。

ディーガからのマルチチャンネルの音声をお楽しみいただくには、ディーガとアンプをＨＤＭＩケーブルで接続してください。

= お知らせ =

- 接続機器を操作できない場合は、設定や接続機器を確認してください。

→ いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > ビエラリンクの概要

お知らせ

- 接続機器によっては、これらの機能が正常に働かないことがあります。
- 入力が切り換わったとき、最初の数秒間、映像や音声が出ないことがあります。
- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．５とは従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。
- 本機のビエラリンクのバージョンを確認するには

→ 困ったときは > サポート情報 > ヘルプメニューを使う

制限項目や暗証番号に関する設定をする

制限項目を設定する

暗証番号を設定し、視聴できる年齢などを制限します。

- 設定した年齢を超える番組を選ぶと暗証番号の入力画面になります。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > 制限項目設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. ［1～10］ボタンを押して暗証番号を4桁で入力する
   - 暗証番号を初めて入力するときは、番号を2回入力して登録します。
   - 番号は必ずメモをしておいてください。
4. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す
   暗証番号変更 / 視聴可能年齢 / 暗証番号削除
5. 項目ごとに設定する

暗証番号変更

登録済みの暗証番号を変更します。

1) ［1～10］ボタンを押して新しい暗証番号を4桁で入力する
2) 画面の表示内容に従って、もう一度同じ暗証番号を入力する

視聴可能年齢

4才～19才（1才単位）、無制限（工場出荷時は4才です）

- 年齢制限を超える番組は番組表などで「.....」で表示します。

暗証番号削除

登録済みの暗証番号を取り消します。

確認画面ではいを選び、［決定］ボタンを押すと、視聴制限など制限項目が解除されます。

地域やチャンネルなど設置に関する設定をする

設置設定をする

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > 設置設定を選び、［決定］ボタンを押す
3. 設定したい項目を選び、［決定］ボタンを押す

   受信対象設定 / チャンネル設定 / 番組表設定 / 地域設定 / 受信設定 / リモコン設定 / クイックスタート / Ｂ－ＣＡＳカードテスト
4. 項目ごとに設定する

受信対象設定

ＢＳ / ＣＳ：

（使う / 使わない）

視聴しない放送をリモコンの放送切換ボタンで、操作できないように設定します。

- 受信対象設定の設定に関係なく、本体の［入力切換 / 決定 / メニュー長押し］ボタンではＢＳとＣＳの操作ができます。

チャンネル設定

地上 / 衛星デジタル放送のチャンネルを設定する

地上デジタル：

- 地上デジタル放送のチャンネルを設定する（初期スキャン）
  1) 地上デジタル > 初期スキャン > 地域選択を選び、［決定］ボタンを押す
  2) お住まいの地域を選び、設定する
     - 地上デジタル放送のチャンネル設定を行うために、お住まいの地域を設定する必要があります。
  3) 次へを選び、［決定］ボタンを押す
  4) ＵＨＦ / 全帯域を選び、設定する
     - 通常はＵＨＦを選択してください。
     - 全帯域を選択すると、ＶＨＦ、ＵＨＦ、Ｃ１３～Ｃ６３の帯域をスキャンします。
     - 今までの設定はすべてリセットされ、自動的に設定し直します。
     - スキャンには１０分程度かかり、スキャン中は映像が乱れることがあります。
     - 放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは、アッテネーターをオンに設定し、もう一度操作してください。
  5) 内容を確認し、［戻る］ボタンを押して終了する
     - 修正するときは「地上デジタル放送のチャンネルを設定する（マニュアル）」をご覧ください。

- 地上デジタル放送のチャンネルを設定する（再スキャン）

  受信状況が変わったときや新しい放送局が開局したときなどに、受信できる放送局を自動で追加します。

  1) 地上デジタル > 再スキャンを選び、［決定］ボタンを押す
     - 新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。
     - スキャンには１０分程度かかり、スキャン中は映像が乱れることがあります。
  2) 内容を確認し、［戻る］ボタンを押して終了する
     - 修正するときは「地上デジタル放送のチャンネルを設定する（マニュアル）」をご覧ください。
     - 画面下部に電波が強すぎます。と表示された場合は、受信設定のアッテネーターをオンに設定し、再スキャンを行ってご確認ください。

- 地上デジタル放送のチャンネルを設定する（マニュアル）

  リモコンの数字ボタンへの割り当てを、お好みで変えたいときに行います。

  1) 地上デジタル > マニュアルを選び、［決定］ボタンを押す
  2) リモコンの数字ボタンで、修正したい行を選び、［決定］ボタンを押す
  3) ＣＨのチャンネル番号を変更する
  4) ［戻る］ボタンを押して終了する

  - 行を入れ換えたいときは
    1) 地上デジタル > マニュアルを選び、［決定］ボタンを押す
    2) ［緑］ボタンを押す
    3) 入れ換えたい行を選び、［決定］ボタンを押す
    4) 入れ換え先の行を選び、［決定］ボタンを押す
    5) ［戻る］ボタンを押す
  - 地上デジタル放送のチャンネル一覧表は、以下のホームページでご覧になれます。

    http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html　を開く。

    テレビお客様サポートの「取扱説明書一覧」→『ご利用の条件』に「同意する」→ 品番選択の「ＴＨ－〇〇〇〇」→取扱説明書の「放送チャンネルなどの一覧表」を選ぶ。

ＢＳ / ＣＳ１ / ＣＳ２：

衛星デジタル放送のチャンネルを設定します。

- 衛星デジタル放送（ＢＳデジタル / １１０度ＣＳデジタル）のチャンネルは工場出荷時に設定されていますが、リモコンの数字ボタンへの割り当てをお好みで変えたいときに行います。

1) ＢＳ / ＣＳ１ / ＣＳ２ を選び、［決定］ボタンを押す
2) リモコンの数字ボタン、修正したい行を選び、［決定］ボタンを押す
3) ＣＨのチャンネル番号を変更する

4) ［戻る］ボタンを押して終了する

- 行を入れ換えたいときは

  1) ＢＳ / ＣＳ１ / ＣＳ２ を選び、［決定］ボタンを押す

  2) ［緑］ボタンを押す

  3) 入れ換えたい行を選び、［決定］ボタンを押す

  4) 入れ換え先の行を選び、［決定］ボタンを押す

  5) ［戻る］ボタンを押す

番組表設定

Ｇガイド（電子番組表）の設定をします

Ｇガイド地域設定：

お住まいの地域に合った番組表を表示させる設定をします。お住まいの地域を選択してください。

Ｇガイド受信確認：

番組表データの受信スケジュールを確認します。

- Ｇガイド受信スケジュールの表示に最大６分かかります。
- 番組データの受信ができませんが表示されたときは、アンテナの接続およびＧガイド地域設定をご確認ください。

通信による Ｇ ガイド受信：

（オン / オフ）

本機の電源を「入」にしたとき、インターネットを利用して最新の番組データを取得するための設定をします。

オンに設定すると、インターネットを利用して自動的に番組データを取得します。

- インターネットアクトビラの画面に切り換える必要はありません。

地域設定

データ放送で地域の情報を受信するための設定をします。お住まいが変わったときなどに必要です。

県域設定：

お住まいの地域を設定します

- 伊豆、小笠原諸島地域は東京都島部を選びます。

  南西諸島鹿児島県地域は鹿児島県島部を選びます。

郵便番号：

郵便番号を入力します

- 郵便番号を入力するには、［１～１０］ボタンで、１～９、０の番号を入力します。
- ［黄］ボタンを押すと、１文字ずつ番号を消去します。

受信設定

地上：

アッテネーターを設定したり、アンテナレベルが最大になるように調整します。

1) 必要であればアッテネーターを設定します。

放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときはオンに設定し、電波を弱めて安定させます。

2) アンテナ（受信）レベルを確認する（受信の目安は４４以上）

3) 物理チャンネル選択を選び、［決定］ボタンを押す

4) 物理チャンネルを選び、設定する

5) アンテナの向きを調整し、アンテナ（受信）レベルを最大値にする

- アンテナの向きの調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

衛星：

アンテナ電源のオフ / オンを設定したり、アンテナレベルが最大になるように調整します。

1) アンテナ電源を選び、［決定］ボタンを押す

2) オン / オフを選び、設定する

- オンにすると衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。（ブースターなどからコンバーターへ電源を供給しているときはオフにしてください）
- トランスポンダ選択 / 衛星周波数は、変えると視聴できなくなりことがあります。放送局などから案内がない限り、変えないでください。

3) アンテナ（受信）レベルを確認後、アンテナの向きを調整し、アンテナ（受信）レベルを最大値にする

- アンテナの向きの調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

リモコン設定

リモコンモードを変更します。

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぎたいときに設定します。（モード 1 とモード 2 があり、リモコン側と設定を同じにする必要があります）

受信リモコンモード設定：

（モード 1 / モード 2）

テレビ本体側の受信リモコンモードを設定します。

- メインリモコンのリモコンモードは、音声タッチパッドリモコンでは設定できません。
- 続けて音声タッチパッドリモコンのリモコンモードを設定します。

画面の表示内容に従って操作してください。

リモコンモードエラー表示：

（オン / オフ）

テレビ本体側の設定と異なるリモコンモードを連続して受信したときに、エラー画面を表示するか設定します。

    - オンに設定すると、エラー画面を表示します。
- リモコンモード２に設定されたリモコンを紛失した場合
    - リモコンモード１に設定された別のパナソニック製テレビのリモコンがあれば、本体側のリモコンモードを強制リセットしてリモコンモード１に変更できます。

      リモコンモードの設定については、📖 取扱説明書をご覧ください。
    - 強制リセットでは、リモコンモード１からリモコンモード２に変更できません。

クイックスタート

（入 / 切）

リモコンで電源「切」の状態から「入」にして映像が表示されるまでの時間を短縮する設定ができます。（工場出荷時は切に設定）

- １日以上本機を使用しないときは、通常の表示時間となります。

Ｂ－ＣＡＳカードテスト

Ｂ－ＣＡＳカードの動作を確認します。

- Ｂ－ＣＡＳカード挿入後、３秒以上たってから行ってください。
- ＮＧが表示されたらＢ－ＣＡＳカードの挿入を確認してください。

＝ お知らせ ＝

- Ｇガイド地域設定 / 地域設定はかんたん設置設定を実行すると、自動的に設定されます。変更が必要な場合のみ設定してください。
- Ｇガイド地域設定を変更すると、番組情報を表示しなくなることがあります。
  表示されなくなった場合は、かんたん設置設定を最初からやり直してください。

お買い上げ時の設定に戻す

個人情報をリセットする

本機を廃棄されるときなどに記録されている情報をすべて消去します。

本機に記録されているお客様の操作に関する個人情報（アクトビラ有料情報サービスの購入情報やメール、データ放送のポイントなど）は、すべて消去されます。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > システム設定 > 個人情報リセットを選び、［決定］ボタンを押す
3. 確認画面ではいを選び、［決定］ボタンを押す
4. 画面の表示内容に従って操作する
    - いったん画面が暗くなり、お買い上げ設定画面が表示されます。
        - お買い上げ設定画面が表示されるまで、本体の電源を切らないでください。故障の原因となります。

= お知らせ =

- 地上デジタル放送のチャンネルのみ再設定する場合は、初期スキャン、または再スキャンを実施してください。

    → いろいろな機能 > 地域やチャンネルなど設置に関する設定をする > 設置設定をする

- 廃棄などで本機を手放される以外には、実行しないでください。
- 本機で録画・再生に使用したＵＳＢハードディスクの登録情報も削除されるため、ＵＳＢハードディスクの録画番組は再生できなくなります。（ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを除く）
- 制限項目設定で設定した暗証番号は消去されません。制限項目設定の暗証番号削除で消去してください。
- テレビ本体側をリモコンモード２に設定していた場合は、リモコンモード１に戻ります。
- 双方向データ放送やアクトビラをご利用の場合、本機からの操作により、放送局やインターネットのホームページに登録された情報は、この操作では消去されませんので、ご注意ください。それぞれのサービスで情報の消去操作（退会手続きなど）を行ってください。

ソフトウェアの更新

ソフトウェアの更新について

新しいソフトウェアがある場合、本機にダウンロードして操作性や性能を向上できます。

利用可能な更新がデジタル放送で送られてきたら、通知画面が表示されます。

- 新しいソフトウェアをダウンロードするには、［決定］ボタンを押します。

放送ダウンロード予約の方法を設定する

デジタル放送で送られてくる新しいソフトウェアのダウンロード予約の方法を選びます。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > システム設定 > 放送ダウンロード予約を選び、［決定］ボタンを押す
3. 自動 / 手動を選び、設定する

- 利用可能なソフトウェアがあれば、通知画面が表示されます。新しいソフトウェアをダウンロードするには、［決定］ボタンを押します。

  自動：

  情報が届いた場合は、リモコンで電源「切」時に自動的にダウンロードを実行します。通常は自動をおすすめします。

  手動：

  情報が届いた場合、放送メールでお知らせします。

- 自動更新は、以下の場合には実施されません。
  - 本体の電源ボタンで電源を「切」にしているとき
  - 録画中のとき

= お知らせ =

- 放送ダウンロードは、デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。
- ダウンロードには、数時間かかることがあります。
- ダウンロード中は、本体の電源を「切」にしないでください。
- ソフトウェアの更新中は、見るだけ予約の開始時刻になっても実行されません。
- 最新のソフトウェアをインターネット経由で確認・更新するには

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ソフトウェアの確認と更新をする

Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ対応機器を使う

Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ対応機器をペアリング（登録）する

Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ対応機器などを本機にペアリング（登録）して使用することができます。

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. 機器設定 > Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ設定 > デバイスを選び、［決定］ボタンを押す
   - Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ機器の電源を「入」にしてください。

デバイス

利用できる機器を検索し、接続状態を表示します。

- 機器によっては、あらかじめ「ペアリング」モードに設定する必要があります。

  ペアリング設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

  未登録：

  機器は、本機にペアリング（登録）されていません。本機で使用するには、画面の表示内容に従ってペアリングしてください。

  接続済み：

  機器は、本機にペアリング（登録）されて使用できる状態です。

  未接続：

  機器は、本機にペアリング（登録）されていますが、本機と接続できていない状態です。機器の電源が入っているか、または機器の使用可能な距離内で使用しているかご確認ください。

= お知らせ =

- 本機にＢｌｕｅｔｏｏｔｈ対応機器をペアリング（登録）するときは、本機から約５０ cm 以内に近づけてください。
- ペアリング（登録）がうまくできないときは、本機のＢｌｕｅｔｏｏｔｈ送受信部にＢｌｕｅｔｏｏｔｈ対応機器を近づけて、再度ペアリング（登録）してください。
  - 本機のＢｌｕｅｔｏｏｔｈ送受信部については、📖 取扱説明書をご覧ください。
- 登録機器一覧画面には音声タッチパッドリモコンは表示されません。
- 本機はスピーカーなどのオーディオ機器には対応していません。

各種設定

設定メニュー

設定方法

メニュー画面で、映像や音声、各種機能の設定を行います。

1. ［メニュー］ボタンを押す
   - メニュー項目は、入力信号によって異なります。
2. 設定したいメニューを選び、［決定］ボタンを押す
3. 項目ごとに設定する
   - 設定可能な項目のみ、選択できます。
   - 一部の項目は、ビエラ操作ガイドから［赤］ボタンを押して設定画面を表示することができます。

- 選択肢の中から選び、［決定］ボタンを押して設定することができます。
- サイドバーを調整し、［決定］ボタンを押して設定することができます。
- ［決定］ボタンを押して、次の画面に進むことができます。
- 項目によっては名前や番号を自由に設定することができます。
  1) 文字を１つずつ入力し、［決定］ボタンで確定する
     - 文字入力については、📖 取扱説明書をご覧ください。
  2) ［戻る］ボタンを押して設定する
- 設定を標準に戻す
  - 映像や音声の設定のみを初期状態に戻すには、映像調整、音声調整の標準に戻すを選択してください。
  - お買い上げ時の設定に戻すには、個人情報リセットを選択してください。

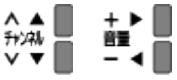
    → いろいろな機能 > お買い上げ時の設定に戻す
- メニュー画面を閉じるには［元の画面］ボタンを押す
- １つ前の画面に戻るには［戻る］ボタンを押す

= お知らせ =

- メニュー項目や選択肢は、視聴するコンテンツによって異なる場合があります。（テレビ放送、メディアプレーヤー、ネットワークサービスなど）
- ４Ｋの映像を見ているとき、映像調整のいくつかの設定はメニュー画面に影響を及ぼすことがあります。

■ 本体操作部のボタンを使う

1. ［入力切換 / 決定 / メニュー長押し］ボタンを約 3 秒以上押して、メニュー画面を表示する
2. 以下のボタンで、選択や設定をする
   - ［チャンネル］/［音量］ボタンで、カーソル移動 / 選択肢の中から選択 / メニュー項目を選択 / 調節



   - ［入力切換 / 決定 / メニュー長押し］ボタンで、選択や調節した内容を決定

映像調整

映像モード

ご覧になる番組や外部入力の映像に合わせて、見やすい画質が選べます。

(ダイナミック / スタンダード / リビング / シネマ / シネマプロ / ユーザー)

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像モードを設定する

映像の基本設定

バックライト、ピクチャー、黒レベル、色の濃さ、色あい、シャープネス

お好みに合わせて調整してください。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像の基本設定をする

- シャープネスは、１０８０Ｐドットバイ４ドットをオンに設定しているときには調整できません。

色域切換

（オート / オン / オフ）

入力した映像に対して表示する色域を切り換えます。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像の基本設定をする

色温度

お好みの色調に切り換えます。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像の基本設定をする

ビビッド

（オン / オフ）

色をより鮮やかにします。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像の基本設定をする

バックライトＡＩ

（強 / 中 / 弱 / オフ）

映像に応じて、バックライトを自動でコントロールします。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像の基本設定をする

リマスター超解像

（オート / 強 / 中 / 弱 / オフ）

見た目の解像度を上げ、鮮明な映像にします。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像の基本設定をする

Wスピード

（強 / 中 / 弱 / オフ）

動きの速い映像をよりなめらかに表示します。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 映像の基本設定をする

- 以下の場合は設定できません。
  - ゲームモードをオンに設定しているとき

- １０８０ｐピュアダイレクトをオンに設定しているとき
- ４Ｋピュアダイレクトをオンに設定しているとき
- １０８０ｐドットバイ４ドットをオンに設定しているとき

明るさオート

自動的に明るさを調節する機能です。

オンに設定すると、周囲の明るさに応じた見やすい画面にします。

(オン / オフ)

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 明るさオートを設定する

ノイズ低減設定

ＮＲ

（オート / 強 / 中 / 弱 / オフ）

映像のざらつき感を低減させます。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > ノイズ低減設定をする

- 以下の場合は設定できません。
  - ゲームモードをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - ４Ｋピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐドットバイ４ドットをオンに設定しているとき

ＨＤオプティマイザー

（オート / 強 / 中 / 弱 / オフ）

ブロックノイズ（小さな四角形のノイズ）や輪郭部のちらつき（ノイズ）を低減させます。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > ノイズ低減設定をする

- 以下の場合は設定できません。
  - ゲームモードをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - ４Ｋピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐドットバイ４ドットをオンに設定しているとき

画質の詳細設定

コントラストＡＩ、ホワイトバランス調整、カラーマネージメント調整、ガンマ補正、標準に戻す

より詳細に画像を調整できます。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画質の詳細設定をする

映像モードがリビング、シネマ、シネマプロ、ユーザーのとき、より詳細に画像を調整できます。

オプション機能

ゲームモード

（オン / オフ）

すばやい操作を要求されるゲームを楽しむ際に、描画の遅延を防ぎます。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

- 以下の場合は設定できません。
  - テレビ放送を視聴中
  - ２画面のとき
  - １０８０ｐピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - ４Ｋピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐドットバイ４ドットをオンに設定しているとき

デジタルシネマリアリティ

（オート / オン / オフ）

毎秒２４コマで撮影された映画の映像を忠実に再現します。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

- １画面のとき、かつ 480i、1080i 信号の場合のみ設定できます。

１０８０ｐピュアダイレクト

（オン / オフ）

接続機器から入力された 1080p ４：４：４の信号を、原画に忠実に表示します。設定値はＨＤＭＩ入力ごとに記憶されます。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

- 以下の場合は設定できません。
  - ２画面のとき
  - １０８０ｐドットバイ４ドットをオンに設定しているとき

４Ｋピュアダイレクト

（オン / オフ）

接続機器から入力された４Ｋ ４：４：４の信号を、原画に忠実に表示します。設定値はＨＤＭＩ入力ごとに記憶されます。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

- ４Ｋ映像の場合のみ設定できます。
- 以下の場合は設定できません。
  - ２画面のとき

１０８０ｐドットバイ４ドット

（オン / オフ）

接続機器から入力された 1080p 信号のドットをパネルの解像度に合わせて忠実に再現し、くっきり表示します。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

- ＨＤＭＩ端子からの 1080p 信号に設定できます。
- 以下の場合は設定できません。
  - ２画面のとき

ＨＤＭＩ画質連動設定

（グラフィック固定 / 写真固定 / オート / オフ）

ＨＤＭＩ入力された映像の画質を設定します。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

- ＨＤＭＩ入力の場合のみ設定できます。

ＨＤＭＩ　ＲＧＢレンジ設定

（オート / エンハンス / スタンダード）

ＤＶＩ対応機器などＲＧＢ出力機器を接続した場合、機器に合わせて設定します。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

- ＨＤＭＩ入力の場合のみ設定できます。

３次元Ｙ／Ｃ分離

（オン / オフ）

虹模様や、つぶ状のノイズを低減します。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > オプション機能を設定する

- 以下の場合は設定できません。
  - テレビを視聴中
  - Ｄ端子入力のとき
  - ＨＤＭＩ入力のとき

画面の設定

画面モード

画面モードを変更します。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画面モードを設定する

オーバースキャン

（オン / オフ）

１６：９映像の際に周囲を隠して表示します。１６：９映像の端まで表示する場合はオフに設定してください。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画面の設定をする

- 以下の場合は設定できません。
  - ４Ｋ映像のとき
  - ２画面のとき
  - 写真の映像のとき
  - インターネットを利用しているとき（アクトビラ、Ｗｅｂブラウザなど）
  - ゲームモードをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - ４Ｋピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐドットバイ４ドットをオンに設定しているとき

水平表示領域

（サイズ１ / サイズ２）

映像の左右の幅を変更できます。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画面の設定をする

- 以下の場合は設定できません。
  - ２画面のとき
  - ゲームモードをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - ４Ｋピュアダイレクトをオンに設定しているとき
  - １０８０ｐドットバイ４ドットをオンに設定しているとき

垂直位置／サイズ

画面モードがズームのときの垂直（上下）の位置やサイズを微調整します。

垂直位置の調整範囲は拡大状況により変わります。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画面の設定をする

- 以下の場合は設定できません。
  - ４Ｋ映像のとき

画質設定コピー

映像モードがシネマプロまたはユーザーの場合は、現在の画質設定を他の入力へコピーできます。

テレビを見る > 映像（画質）を設定・調整する > 画質設定をコピーする

標準に戻す

現在の映像モードを工場出荷時の設定に戻します。

音声調整

音声を切り換える

音声の出力先を設定します。

(テレビ / シアター)

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声出力を設定する

- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）対応のシアターを接続しているときに設定できます。

音声モード

放送や入力信号ごとに、お好みの音声モードが選べます。

（スタンダード / ミュージック / 快聴 / ユーザー）

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声モードを設定する

- 音声を切り換えるをテレビにしているときに設定できます。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声出力を設定する

シアターサウンドを切り換える

シアターサウンドを楽しむときに設定します。

（オート / スタンダード / スタジアム / ミュージック / シネマ / ニュース）

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > シアターサウンドを設定する

- 音声を切り換えるをシアターにしているときに設定できます。

  テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声出力を設定する

- シアターがビエラリンクＶｅｒ．2に対応している場合はオートを除く5つ、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）Ｖｅｒ．3以上に対応している場合はオートを含めた6つのサウンドに切り換えられます。
- メディアプレーヤーのＢＧＭ設定をオフにして、写真を見ているときはサウンドは切り換わりません。

音声の基本設定

バス

低音を調整します。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の基本設定をする

トレブル

高音を調整します。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の基本設定をする

イコライザー

イコライザーの調整をします。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の基本設定をする

バランス

左右の音量を調整します。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の基本設定をする

サラウンド

（バーチャル３Ｄ / オフ）

臨場感を楽しみたいときに設定します。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の基本設定をする

低音強調

（オン / オフ）

低音を増強して響かせます。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の基本設定をする

音量設定

ヘッドホン／イヤホン音量

ヘッドホン / イヤホンの音量を調整します。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音量設定をする

音量オート

(オン / オフ)

小さな音を大きく、大きな音を小さく自動調整し、音量変化を抑えます。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音量設定をする

- 音声を切り換えるをテレビにしているときに設定できます。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声出力を設定する

音量補正

放送や入力信号を切り換えて音量が変化するときは、調整したい放送や外部入力の視聴状態にしてから音量を調整してください。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音量設定をする

- 音声を切り換えるをテレビにしているときに設定できます。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声出力を設定する

壁寄せ設定

(オン / オフ)

低音が反響するときや、低音を抑えて聴くときはオンに設定し、通常の使用のときはオフに設定してください。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音量設定をする

- 音声を切り換えるをテレビにしているときに設定できます。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声出力を設定する

音声ガイドの設定

音声ガイド機能

（オン / オフ）

番組表、番組内容、入力切換、録画予約設定の画面を操作したり、チャンネル選局したときなどやＷｅｂブラウザ上に表示される文章を音声読み上げするようにできます。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声ガイドの設定をする

- ２画面のとき、音声ガイド機能は働きません。

読み上げ速度

（高速 / 標準 / 低速）

音声ガイドの読み上げ速度を調整します。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声ガイドの設定をする

読み上げ音量

（強 / 中 / 弱）

音声ガイドの読み上げ音量を調整します。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声ガイドの設定をする

Ｗｅｂブラウザ

（オン / オフ）

Ｗｅｂブラウザを起動し、読み上げたい文章にカーソルを合わせると、１段落ごとに文章を読み上げます。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声ガイドの設定をする

音声の詳細設定

デジタル音声出力

デジタル音声入力（光）端子のあるオーディオ機器を接続したときに音声出力の設定をします。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の詳細設定をする

ＨＤＭＩ音声入力設定

（デジタル / アナログ）

対応機器入力信号に合わせて設定します。

テレビを見る > 音声（音質）を設定・調整する > 音声の詳細設定をする

- ＨＤＭＩ入力のときに設定できます。

スピーカーとイヤホン音声の同時出力

（する / しない）

ヘッドホン / イヤホンを挿入しているとき、本機スピーカーからも音声出力する設定をします。

テレビを見る > テレビ放送を見る > スピーカーとイヤホン音声の同時出力を切り換える

標準に戻す

現在の音声モードを工場出荷時の設定に戻します。

ネットワーク設定

ネットワーク接続

本機でネットワークを利用するための接続設定をします。

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ネットワーク接続設定をする

ネットワーク状態

ネットワークの状態（ＭＡＣアドレスや現在のネットワーク設定など）を表示させ、確認することができます。

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ネットワークの接続状況を確認する

マイホームクラウド設定

アカウント設定、アカウント情報の編集、アカウント設定の解除、利用規約

本機で利用できるクラウドサービスを利用するためのアカウントを設定します。

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > クラウドサービスを利用するためのアカウント設定をする

本機の名称変更

ネットワークで連携する機器に表示される本機の名称を設定します。

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > 本機の名称を変更する

ＴＶリモート設定

同じネットワークに接続されているスマートフォンやタブレット端末で、本機を操作したり、ＵＳＢハードディスクやＳＤメモリーカード内のコンテンツや、本機で受信している放送などが視聴できます。

また、スマートフォンやタブレット端末などのコンテンツを本機に転送したり、本機に転送したコンテンツを他のスマートフォンやタブレット端末などにダウンロードして共有できます。

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ＴＶリモートの設定をする

お部屋ジャンプリンク設定

ＤＬＮＡのＤＭＳ（デジタルメディアサーバー）として、本機から視聴中の番組や接続したＵＳＢハードディスクに保存している録画番組などを配信する場合に設定します。

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > お部屋ジャンプリンクサーバー機能を設定する

メディアアクセス設定

外出先や家の中で現在放送中の番組や本機に接続したＵＳＢハードディスクに保存している録画番組を、スマートフォンやタブレット端末などで視聴する場合に設定します。

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > メディアアクセス機能を設定する

ディモーラの設定

外出先のパソコンなどから、本機に接続している録画用に登録したＵＳＢハードディスクに録画予約したり録画番組を削除する場合に設定します。

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ディモーラの設定をする

ファイル共有設定

ファイル共有サーバー機能

(オン / オフ)

パソコンと本機に接続しているＵＳＢハードディスクなどの機器でファイルを共有できるように設定します。

メディアプレーヤー > メディアプレーヤーを使う > ファイル共有サーバー機能を使う

ネットワーク機器一覧

本機のメディアプレーヤーで再生するために、ファイル共有できるネットワーク機器の一覧を表示します。

メディアプレーヤー > メディアプレーヤーを使う > ファイル共有機能を使う

ミラーリング設定

ミラーリング機能に対応したスマートフォンやタブレット端末などの画面を、本機の画面に表示できるように設定します。

→ いろいろな機能 > ミラーリング機能を使う > ミラーリング機能の設定をする

トラッキング拒否設定

インターネットサービスを利用する場合に、閲覧履歴などの情報を追跡しないようにｗｅｂサイトに通知します。

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > トラッキング拒否機能を設定する

その他の設定

ソフトウェアの更新確認

最新のソフトウェアをインターネット経由で確認し、更新できます。

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ソフトウェアの確認と更新をする

ソフトウェアの更新通知

(オン / オフ)

最新のソフトウェアがある場合、本機に自動的に通知するか設定します。

ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > ソフトウェアの更新を通知する

タイマー設定

時間指定予約

日時を指定して番組を録画予約したり、視聴予約します。

録画する > 録画予約をする > 日時を指定して録画予約する

オンタイマー

オンタイマーで自動的に電源を入れる設定をします。

テレビを見る > タイマー機能や時計表示を設定する > タイマーで電源を入れる（オンタイマー）

テレビを見る > タイマー機能や時計表示を設定する > 時刻読み上げを設定する

時刻読み上げ中止

オンタイマーで自動的に電源「入」したあと、時刻読み上げを中止します。

テレビを見る > タイマー機能や時計表示を設定する > 時刻読み上げを設定する

無操作自動オフ

約４時間以上本機の操作をしないと、自動的に電源が切れます。

（入 / 切）

テレビを見る > テレビの節電機能（エコナビなど）を設定する > 無操作自動オフを設定する

無信号自動オフ

無信号の状態で約１０分間本機の操作をしないとき、不要な消費電力を削減するため、自動的に電源が切れます。（工場出荷時は入に設定）

（入 / 切）

テレビを見る > テレビの節電機能（エコナビなど）を設定する > 無信号自動オフを設定する

機器設定

エコナビ

視聴環境に応じて、自動的に最適な節電モードになります。

テレビを見る > テレビの節電機能（エコナビなど）を設定する > エコナビを設定する

音声操作の設定

音声操作に関する設定をします。

いろいろな機能 > 音声操作機能を使う > 音声操作の設定をする

ＵＳＢ機器一覧

ＵＳＢハードディスクをフォーマットして登録したり、安全に取り外す設定をします。

録画する > ＵＳＢハードディスクなどのＵＳＢ機器を接続・設定する > ＵＳＢハードディスクの設定をする

録画設定

録画ボタン設定

ＵＳＢハードディスクに見ている番組を録画する時間を設定します。

録画する > 見ている番組を録画する > 見ている番組をＵＳＢハードディスクに録画する

オートチャプター

デジタル放送の録画時、自動で番組にチャプターマークを付ける設定をします。

録画する > 録画予約をする > オートチャプターを設定する

ＵＳＢ ＨＤＤ機能待機

本機に接続したＵＳＢハードディスクを１０分以上操作（再生、録画、ダビングなど）しないとき、休止状態にします。

テレビを見る > テレビの節電機能（エコナビなど）を設定する > ＵＳＢハードディスクを休止状態にする

ダビング履歴

本機に接続したＵＳＢハードディスクから、ＬＡＮ接続のダビング対応ディーガなどにダビングした履歴を確認できます。

ネットワーク > 録画した番組をダビングする > ダビング履歴を確認する

タッチパッドリモコン設定

登録

付属の音声タッチパッドリモコンを本機にペアリング（登録）します。

いろいろな機能 > 音声タッチパッドリモコンを使う > 音声タッチパッドリモコンの設定をする

カーソル速度

（速い / 普通 / 遅い）

カーソルの速度を設定します。

いろいろな機能 > 音声タッチパッドリモコンを使う > 音声タッチパッドリモコンの設定をする

タッチパッド操作ガイド

タッチパッドの操作を確認するため、操作ガイドを表示します。

いろいろな機能 > 音声タッチパッドリモコンを使う > 音声タッチパッドリモコンの設定をする

Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ設定

Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ対応機器をペアリング（登録）します。

いろいろな機能 > Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ対応機器を使う > Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ対応機器をペアリング（登録）する

制限項目設定

暗証番号を設定し、視聴できる年齢などを制限します。

→ いろいろな機能 > 制限項目や暗証番号に関する設定をする > 制限項目を設定する

表示の設定

字幕の設定

（字幕 / 字幕言語 / 文字スーパー / 文字スーパー言語）

デジタル放送の字幕や文字スーパーがある場合に表示させる設定です。

テレビを見る > テレビ放送を見る > 字幕の設定をする

ビデオ入力表示書換／スキップ設定

入力端子に接続した機器に合わせて［入力切換］ボタンを押したときの表示を変えたり、接続のない外部入力をスキップすることができます。

テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > 外部機器の映像を見る、音声を聴く

タイトル表示

（オン（大） / オン（標準） / オフ）

選局時の番組タイトル文字サイズを設定します。

テレビを見る > テレビ放送を見る > タイトル表示を設定する

時計表示

（オン / オフ）

画面左下に時刻を表示します。

テレビを見る > タイマー機能や時計表示を設定する > 時刻を表示する

インフォメーションバー自動表示

（オン / オフ）

電源「入」時にインフォメーションバーを数秒間表示します。

いろいろな機能 > インフォメーションバーを使う > インフォメーションバーの設定をする

お知らせ表示

（オン / オフ）

画面にお知らせを表示します。

ＨＤＣＰ設定

視聴する４Ｋ映像コンテンツに応じて、ＨＤＣＰバージョンを選択してください。

（オート / ２．２ / １．４）

テレビを見る > ４Ｋ映像を見る > ＨＤＭＩ端子のＨＤＣＰバージョンを設定する

- ＨＤＭＩ入力の場合のみ設定できます。

ＨＤＭＩオート設定

ＨＤＭＩ端子に入力した４Ｋ映像が正しく表示されない場合に、入力信号に合わせて設定します。

（モード１ / モード２）

テレビを見る > ４Ｋ映像を見る > ＨＤＭＩ端子で視聴可能な４Ｋ映像の入力信号を設定する

- ＨＤＭＩ入力の場合のみ設定できます。

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）設定

ビエラリンク

（オン / オフ）

ビエラリンク機能を有効にします。

いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > ビエラリンクをお使いになる前に

電源オン連動

（オン / オフ）

電源オン連動の機能を有効にします。

いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > 電源オン連動

電源オフ連動

（オン / オフ）

電源オフ連動の機能を有効にします。

いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > 電源オフ連動

ＥＣＯスタンバイ

（オン / オフ）

ＥＣＯスタンバイの機能を有効にします。

いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > ＥＣＯスタンバイ

- この機能を使用するには、電源オフ連動をオンに設定してください。

こまめにオフ

（オン / オフ）

本機の電源が「入」であっても、消費電力を減らすため、使っていない接続機器の電源を個別に自動で「切」にします。

いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > こまめにオフ

ケーブルテレビの電源オン連動

（オン / オフ）

本機の電源を「入」にしたとき、ＣＡＴＶデジタルＳＴＢの電源も「入」にします。

いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > ケーブルテレビの電源オン連動

ディーガの操作

（通常 / 拡大）

ディーガの入力に切り換えているときに、本機のリモコンでディーガ操作に有効なボ

タンを追加します。

いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > ディーガの操作

テスト（ディーガ電源）

（オン / オフ）

ビエラリンクを使ってディーガの電源が「入」/「切」できるか確認します。

いろいろな機能 > ビエラリンク（ＨＤＭＩ）を使う > テスト（ディーガ電源）

かんたん設置設定

ご購入後初めて電源を入れたときや、引っ越しなどで設定をやり直すときに、テレビ番組を視聴するために必要な設定をします。

テレビを見る > テレビ放送を見るための準備をする > かんたん設置設定をする

設置設定

受信対象設定、チャンネル設定、番組表設定、地域設定、受信設定、リモコン設定、クイックスタート、Ｂ－ＣＡＳカードテスト

地域やチャンネル、受信リモコンモードの設定をします。

いろいろな機能 > 地域やチャンネルなど設置に関する設定をする > 設置設定をする

システム設定

個人情報リセット

本機を廃棄されるときなどに記録されている情報をすべて消去します。

いろいろな機能 > お買い上げ時の設定に戻す > 個人情報をリセットする

放送メール

放送局や本機からのお知らせや情報を見ることができます。（インターネットメールではありません）

テレビを見る > テレビ放送を見る > 放送メールやＢ－ＣＡＳカードなどの各種情報を見る

Ｂ－ＣＡＳカード

Ｂ－ＣＡＳカードの番号などの情報を確認します。

テレビを見る > テレビ放送を見る > 放送メールやＢ－ＣＡＳカードなどの各種情報を見る

ボード

（ＣＳ１ボード / ＣＳ２ボード）

１１０度ＣＳデジタル放送から送られるボードの情報を確認します。

テレビを見る > テレビ放送を見る > 放送メールやＢ－ＣＡＳカードなどの各種情報を見る

放送ダウンロード予約

（自動 / 手動）

デジタル放送で送られてくる新しいソフトウェアのダウンロード予約の方法を選びます。

いろいろな機能 > ソフトウェアの更新 > 放送ダウンロード予約の方法を設定する

ライセンス情報

（ソフト情報表示）

本機のソフトウェアライセンス情報を表示します。

テレビを見る > テレビ放送を見る > 放送メールやＢ－ＣＡＳカードなどの各種情報を見る

ルート証明書

データ放送時のルート証明書の情報を表示します。

テレビを見る > テレビ放送を見る > 放送メールやＢ－ＣＡＳカードなどの各種情報を見る

その他の設定

選局対象

(設定チャンネル / テレビ / すべて)

デジタル放送のとき、［チャンネル］ボタンで順送りできるチャンネルを選択します。

テレビを見る > テレビ放送を見る > テレビ放送を選局する

ハイブリッドキャスト

(オン / オフ)

ハイブリッドキャストをご利用になる場合に設定します。

テレビを見る > テレビ放送を見る > ハイブリッドキャストの設定をする

困ったときは

サポート情報

ヘルプメニューを使う

1. ［メニュー］ボタンを押す
2. ヘルプを選び、［決定］ボタンを押す
3. Firefox OS について / 映像音声テスト / ＩＤ表示 / デバイス情報を選び、［決定］ボタンを押す

Firefox OS について

Firefox OS に関する情報を表示します。

映像音声テスト

映像や音声に問題がある場合に、本テストでテレビ本体に異常があるかを確認できます。

画面の表示内容に従ってください。

ＩＤ表示

本機のバージョンやシステム情報を表示します。

本機のビエラリンク（ＨＤＭＩ）のバージョン情報などを確認できます。

デバイス情報

本機のデバイス情報を表示します。

故障かな！？の前にご確認ください

画質がおかしい

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

映像音声テストでテレビ本体に異常があるか確認できます。

→ 困ったときは > サポート情報 > ヘルプメニューを使う

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

画面に光らない点がある

- ディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に光らない点や常時点灯する点が存在する場合があります。これは故障ではありません。

一瞬画面が暗くなる

- 画面が切り換わる際に発生するノイズを抑えるために、一瞬画面を暗くしています。

映像が明るすぎたり、暗すぎたりする

- 映像の明るさや、色あいはメニューの映像調整から変更することができます。
  また、変更した設定は標準に戻すで出荷設定に戻すこともできます。

  設定を標準に戻すには

  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 映像調整を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 標準に戻すを選び、［決定］ボタンを押す
  4. 確認画面ではいを選び、［決定］ボタンを押す

ブロックノイズが発生する

- アンテナレベルを確認してください。

  アンテナレベルを確認するには

  1. テレビ放送視聴中に［サブメニュー］ボタンを押す
  2. 視聴オプションを選び、［決定］ボタンを押す
  3. アンテナレベルを選び、［決定］ボタンを押した後、アンテナレベルを確認する
- アンテナレベルが低く他機器からアンテナ線を接続している場合は、アンテナ線を本機と直接接続することで改善することがあります。

  地上デジタル放送におけるアンテナレベルの受信の目安は「４４以上」、ＢＳ・ＣＳデジタル放送におけるアンテナレベルの受信の目安は「５０以上」です。

テレビ放送（共通）の映像が乱れる、画面表示がおかしい

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

映像が揺れる・映像が不鮮明・色模様が出る・色が消える

- アンテナやアンテナ線が劣化または破損、断線をしていませんか？
- アンテナ線は正しく接続されていますか？

  テレビを見る > テレビ放送を見るための準備をする > アンテナ線を接続する

ＤＶＤレコーダーなどの録画機器で選局すると、一瞬黒い帯が出る

- チャンネルを切り換えたときに発生するノイズによるものです。

画面の上下に映像のない部分ができる

- １６：９より横長の映像ソフト（シネマビジョンサイズのソフトなど）のときは、画面の下や上下に映像のない部分ができることがあります。

ズームにすると画面の上下が欠ける

- 画面の位置調整がずれていませんか？
  - 画面の位置を調整してください。

    垂直の位置やサイズの微調整をするには

    1. ［メニュー］ボタンを押す
    2. 映像調整 > 画面の設定を選び、［決定］ボタンを押す
    3. 垂直位置／サイズを選び、［決定］ボタンを押した後、垂直の位置やサイズを微調整する

ダウンロードを行ったら、受信できなくなった

- ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。

  再度設置設定を行ってください。

チャンネル番号が画面から消えない

- ［画面表示］ボタンで、画面表示が出る状態にしていませんか？
  - 再度、［画面表示］ボタンを押してください。

外部入力を選んでいるときは、外部機器からの映像が入力されないと消えません。

地上デジタル放送が映らない、映像が乱れる

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

地上デジタル放送が受信できない

- ＵＨＦアンテナは地上デジタル放送の送信局に向いていますか？
  - 従来の地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。
- 地上デジタル放送が受信できるＵＨＦアンテナをご使用ですか？
  - 従来のアナログ放送用のＵＨＦアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のＵＨＦアンテナやデジタル対応のブースターおよび混合器などが必要な場合があります。
  - アンテナや受信設備の改善で解消することもあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

映像や音声が出ない（または、ときどき出なくなる）

映像が静止する（または、ときどき静止する）

- ＵＨＦアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか？

  またはアンテナ線の劣化などはありませんか？
  - 受信設定の地上で、アンテナレベルが受信可能レベル（４４以上が目安）に達しているかご確認ください。

    アンテナレベルの確認は、［サブメニュー］ボタンからでも可能です。

    （アンテナ入力レベルはチャンネルによって異なります。またアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので、アンテナレベルが目安の数値以上に余裕を取ることをおすすめします）

    アンテナレベルを確認するには

    1. テレビ放送視聴中に［サブメニュー］ボタンを押す
    2. 視聴オプションを選び、［決定］ボタンを押す
    3. アンテナレベルを選び、［決定］ボタンを押した後、アンテナレベルを確認する
  - アンテナや受信設備の改善で解消することもあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

衛星デジタル放送（ＢＳ，１１０度ＣＳ）が映らない、映像が乱れる

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

映像が出ない

- アンテナ線は正しく接続されていますか？

  テレビを見る > テレビ放送を見るための準備をする > アンテナ線を接続する

- 受信設定は、正しく設定されていますか？
  - アンテナの設置など受信環境が変わったときに設定します。

    設定を確認するには

    1. ［メニュー］ボタンを押す
    2. 機器設定 > 設置設定を選び、［決定］ボタンを押す
    3. 受信設定を選び、［決定］ボタンを押した後、設定内容を確認する

画質や音質が少し悪くなった

- 降雨対応放送になっていませんか？
  - 雨の影響により、衛星からの電波が弱くなると、本機は電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換えます。

    降雨対応放送は、画質・音質が少し悪くなります。

    天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。

１１０度ＣＳデジタル放送が受信できない

- 本機と衛星アンテナをビデオデッキなどを通して接続していませんか？
  - 直接接続するか、１１０度ＣＳ対応の分配器（別売品）などをご使用ください。
- ＢＳデジタル放送より高性能の、１１０度ＣＳ対応のアンテナやブースター、ケーブルなどが必要です。

映像や音声が出ない（または、ときどき出なくなる）

映像が静止する（または、ときどき静止する）

- アンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか？

  またはアンテナ線の劣化などはありませんか？
  - 受信設定の衛星でアンテナレベルが受信可能レベル（５０以上が目安）に達しているかご確認ください。また受信設定でアンテナレベルが最大になる角度にアンテナを調整してください。

アンテナレベルの確認は、［サブメニュー］ボタンからでも可能です。

アンテナレベルを確認するには

1. テレビ放送視聴中に［サブメニュー］ボタンを押す
2. 視聴オプションを選び、［決定］ボタンを押す
3. アンテナレベルを選び、［決定］ボタンを押した後、アンテナレベルを確認する

- アンテナや受信設備の改善で解消することもあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

- 着雪（アンテナ）、雨、雷雲などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。
  - 衛星デジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。天候の回復を待ってください。

特定のチャンネルの映像や音声が出ない（または、ときどき出なくなる）

- 衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していませんか？
- ＰＨＳデジタルコードレス電話機や携帯電話機などの影響を受け、映像や音声が出なくなることがあります。
  - アンテナや受信設備の改善で解消することもあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

有料放送の視聴ができない

- 有料放送を視聴するための手続きはされていますか？
  - 視聴契約手続きをしてください。

デジタル放送（共通）が映らない、字幕が出ない

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

デジタル放送が映らない

- デジタル放送を視聴するためにはＢ－ＣＡＳカードが必要です。

  テレビ本体にＢ－ＣＡＳカードが挿入されていることをご確認ください。

  - Ｂ－ＣＡＳカードについては、📖 取扱説明書をご覧ください。

リモコンの数字ボタンで選局できない

- 選局時にこのボタンにチャンネルは設定されていませんというメッセージが表示された場合は、放送切換ボタンを押してから、再度、数字ボタンを押してください。

  テレビを見る > テレビ放送を見る > テレビ放送を選局する

字幕や文字スーパーが出ない

- 字幕の設定の字幕や文字スーパーがオフに設定されていませんか？
  - オンにしてください。

    設定を確認するには

    1. ［メニュー］ボタンを押す
    2. 機器設定 > 表示の設定 > 字幕の設定を選び、［決定］ボタンを押す
    3. 字幕または文字スーパーを選び、［決定］ボタンを押す
- 字幕言語または文字スーパー言語を選び、［決定］ボタンを押すと、設定内容が確認できます
- 字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか？
  - 字幕は、字幕のアイコンが表示されている番組で表示されます。
- 字幕の言語の設定は正しいですか？
  - 設定した言語のみ表示されます。

音声がおかしい

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

映像音声テストでテレビ本体に異常があるか確認できます。

→ 困ったときは > サポート情報 > ヘルプメニューを使う

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

音質が悪い・大音量のとき、音声がひずむ

- 音声の設定はメニューの音声調整から変更することができます。
  また、変更した設定は標準に戻すで出荷設定に戻すこともできます。
  設定を標準に戻すには
  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 音声調整 > 標準に戻すを選び、［決定］ボタンを押す
  3. 確認画面ではいを選び、［決定］ボタンを押す
- 音声がひずむ場合は、サラウンドの設定をオフにしてください。
- 音声調整メニューのバス / トレブルなども調整してください。

音声ガイドが実際と異なる読み上げを行う

- 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。

テレビ本体から異音がする、テレビ本体が熱くなる

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

テレビからときどき、「ピシッ」と音がする

- 画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響ありません。

テレビ内部から「カチッ」と音がする

- 番組表などの情報を送受信するため、本機内部の回路が自動的に動作する音です。
- デジタル放送を録画予約したときなど、予約に従い本機内部の回路が自動的に動作する音です。性能その他に影響ありません。

テレビの上部や液晶パネル面の温度が高い

- 本体天面や液晶パネル面の温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。

  （本体の通風孔はふさがないように、ご使用ください）

液晶パネルが動く・カタカタ音がする

- 液晶パネルに力が加わらないように遊びを設けていますので、故障ではありません。

リモコンが反応しない、リモコンで操作できない

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

リモコンが反応せず、操作できない

- 異なるテレビのリモコンをお使いではありませんか？
- 本体側とリモコン側のリモコンモードが異なっていませんか？

  以下の手順で受信リモコンモード設定をやり直してください。

  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 機器設定 > 設置設定 > リモコン設定 > 受信リモコンモード設定を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 画面の表示内容に従って設定する
- 障害物はありませんか？
  - リモコンとテレビの間に障害物があると、リモコン操作に反応しないことがあります。
- テレビに強い光が当たっていませんか？
  - テレビのリモコン受信部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、リモコン操作に反応しないことがあります。
- 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？
  - 古い電池をお使いのときは、新しい電池に交換して、リモコン操作できることをご確認ください。
  - リモコンの電池については、📖 取扱説明書をご覧ください。
- 上記の内容が当てはまらない場合は、テレビ本体にある電源ボタンで電源を切り、５秒以上たってから、再度電源を入れて、動作をご確認ください。

  改善できない場合は、商品の点検をさせていただく必要があります。

  商品の点検については、修理相談窓口にお問い合わせください。

音声タッチパッドリモコンが反応せず、操作できない

- 音声タッチパッドリモコンの電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？
  - 操作しないときにタッチパッドに触れても電池を消耗します。操作しないときはタッチパッドに触れたり、ボタンを押さないでください。
- 音声タッチパッドリモコンを本機にペアリング（登録）していますか？

  ペアリング（登録）するには（５０ cm 以内の距離でペアリングしてください。）

  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 機器設定 > タッチパッドリモコン設定を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 登録を選び、［決定］ボタンを押した後、画面の表示内容に従ってペアリング（登録）する

- 本体側と音声タッチパッドリモコン側のリモコンモードが異なっている場合があります。

  以下の手順で受信リモコンモード設定をやり直してください。

  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 機器設定 > 設置設定 > リモコン設定 > 受信リモコンモード設定を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 画面の表示内容に従って設定する
- 音声タッチパッドリモコンの電池を抜いてから入れ直してみてください。
- 手袋をはめて操作していませんか？
  - タッチパッド部分は素手で操作してください。

リモコンの放送切換ボタンを押しても、放送が切り換わらない

- テレビ本体のメニュー設定で、放送切換をできないようにしていませんか？

  設定を確認するには

  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 機器設定 > 設置設定を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 受信対象設定を選び、［決定］ボタンを押した後、設定内容を確認する
- 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？
  - リモコンの電池については、📖 取扱説明書をご覧ください。

音声タッチパッドリモコンで音声が正しく認識されない

- マイクに向かって発話していますか？
  - マイクから約１５ cm 以上離れていると認識されない場合があります。
- 音声コマンドにない言葉を発話していませんか？
  - マイクアイコン表示中に、［ （サブメニュー）］ボタンを押すと、音声による検索や操作をするための音声コマンドが表示されます。
  - マイクアイコンをもう一度表示したい場合は、［ （音声操作）］ボタンを押してください。
- 音声による検索などを行う場合は、本機をインターネットへ接続し、ネットワークの設定をしてください。

  📖 → ネットワーク > ネットワークに接続する

  📖 → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする
- 発話検出レベルの設定を切り換えると改善される場合があります。

  設定を切り換えるには

  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 機器設定 > 音声操作の設定を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 発話検出レベルを選び、［決定］ボタンを押した後、設定する

ＳＤメモリーカードが再生できない

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

写真が再生できない

- パソコンなどで写真データを編集していませんか？
  - ご使用の編集ソフトによっては、正しく再生できない場合があります。
- 写真データの画素数は最小８×８画素～最大 30719 × 17279 画素の範囲ですか？
- 動作確認済みのＳＤメモリーカードをお使いですか？
  - 動作確認情報は、http://panasonic.jp/support/tv/　内の「品番別サポート情報」→品番選択の「ＴＨ-〇〇〇」→動作確認情報の「ＳＤカード接続検証（ＳＤスロット）データ 」でご確認ください。
- ＪＰＥＧ以外の写真（ＴＩＦＦ形式など）、プログレッシブＪＰＥＧ形式、ＪＰＥＧ２０００形式には対応しておりません。

パソコンで編集した画像が再生できない

- パソコンで画像を編集した場合、ご使用の編集ソフトによっては、正しく再生できない場合があります。

音楽が再生できない

- 対応していない音楽ファイル形式の可能性があります。
- ＭＰ３形式、Ｍ４Ａ形式（ＡＡＣ、Ａｐｐｌｅ　Ｌｏｓｓｌｅｓｓ）、ＦＬＡＣ形式、ＷＡＶ形式（ＬＰＣＭ）以外の音楽には対応しておりません。

携帯電話でＳＤメモリーカードに録画したワンセグ放送の番組を、テレビで再生できない

- ＳＤメモリーカードに録画されたワンセグ放送の番組は、本機で再生できません。

インターネットに接続できない、接続が切れる

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

インターネットに接続できない

- ネットワークに正しく接続されていますか？
  - 接続方法の詳細については、📖 取扱説明書をご覧ください。
- ＩＰアドレスやＤＮＳが正しく設定されていますか？

  ネットワークの接続状況を確認するには

  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. ネットワーク設定 > ネットワーク状態を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 確認したら終了を選び、［決定］ボタンを押す
     - 接続できないときは、ヘルプを選んで［決定］ボタンを押し、表示されるメッセージの内容に応じて対策してください。

無線方式１１ｎ（5 GHz）対応のアクセスポイントを使用時、映像が途切れたり、接続が切れる

- アクセスポイントの無線方式を１１ｎ（5 GHz）に設定していますか？

  詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

  → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする > 手動で無線ＬＡＮ接続設定をする
- 電子レンジやデジタルコードレス電話機など、電波を使う機器が近くにないか、確認してください。

アクトビラが動かない、つながらない

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

アクトビラが動かない、つながらない

- アクトビラをご利用になるには、ブロードバンド環境が必要です。

  また、アクトビラの動画コンテンツをご利用になるには、光ファイバー（ＦＴＴＨ）などの高速回線との接続をおすすめします。

  - ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らないなどの場合があります。
  - アクトビラの最新情報は、当社ホームページでもご紹介しています。

    http://panasonic.jp/support/actvila/
  - ネットワーク接続とネットワーク設定ができていることを確認してください。

    → ネットワーク > ネットワークに接続する

    → ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- ＩＰアドレスやＤＮＳが正しく設定されていますか？

  ネットワークの接続状況を確認するには

  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. ネットワーク設定 > ネットワーク状態を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 確認したら終了を選び、［決定］ボタンを押す
     - 接続できないときは、ヘルプを選んで［決定］ボタンを押し、表示されるメッセージの内容に応じて対策してください。

録画ができない、予約が実行されない

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

予約が実行されない

- 見るだけ予約をして、電源が「切」になっていませんか？
  - 見るだけ予約をした場合、電源を「切」にしていると予約が実行されません。
- 録画予約をして、本体の電源が「切」になっていませんか？
  - ＵＳＢハードディスクに録画予約をした場合、本体の電源を「切」にしていると予約が実行されません。

    リモコンで電源を「切」にしてください。
- 録画予約した後、ＵＳＢハードディスクを取り外したりしていませんか？
  - ＵＳＢハードディスクに録画予約した後、本機からＵＳＢハードディスクを取り外すと録画予約が実行されません。（別のＵＳＢハードディスクを接続し、録画用に設定した場合は録画予約が実行されます）

有料放送を録画できない

- 有料放送が録画できない場合、該当の有料放送と契約しているＢ－ＣＡＳカードが本機に挿入されていない可能性があります。契約しているＢ－ＣＡＳカードを本機に挿入してください。
  - Ｂ－ＣＡＳカードについては、➡📖 取扱説明書をご覧ください。
- 番組によっては録画不可の番組もあります。
  - 詳しくは、契約している放送局（会社）へお問い合わせください。

再生ができない、録画した番組が消える

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

番組の先頭から再生が始まらない

- ＵＳＢハードディスクの録画番組を再生して途中で停止した場合、次回は停止した場面から再生するか、先頭から再生するか確認する画面を表示します。番組の先頭から見たい場合は、最初から再生を選んで決定してください。

ダビング後に番組がＵＳＢハードディスクから消えてしまう

- ダビング後に番組がＵＳＢハードディスクから消えてしまうのは、デジタル放送のほとんどの番組に、不正なダビングを防止し著作権を保護するためのコピー制限があるためです。
  - 録画一覧画面で［データ］ボタンを押すと、ダビング可能回数を確認できます。
- コピー制限について

  本機は 2008 年 7 月より運用が開始されたダビング１０に対応しています。
- 本機で録画したデジタル放送をディーガのハードディスクへダビングする場合、各番組に加えられたコピー制御信号（個数制限コピー可能・１回だけ録画可能・コピー可能・コピー不可）によって、次のように動作します。
  - 個数制限コピー可能（例：ダビング１０）

    ９回までコピー（複製）ができ、１０回目はムーブ（移動）となり、ＵＳＢハードディスクにある番組は消えます。
  - １回だけ録画可能

    ムーブ（移動）のみできます。

    ＵＳＢハードディスクにある番組は消えます。
  - コピー可能

    回数の制限なくコピー（複製）ができます。
  - コピー不可

    コピー（複製）できません。

スローで再生できない / １．３倍速で再生できない

- スロー再生は、ビエラリンク（ＨＤＭＩ）で接続しているディーガを操作しているときのみ、働きます。
- ＵＳＢハードディスクで録画中は１．３倍速で再生できません。

番組表が出ない、表示がおかしい

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

番組表が出ない、または８日分表示されない

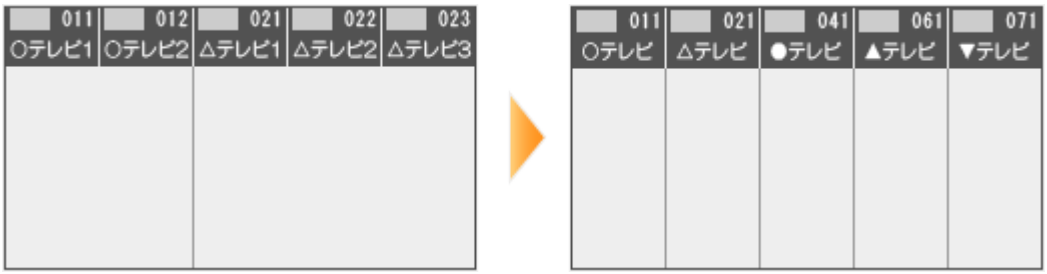
- お買い上げ直後や本体の電源を切って１週間以上経過した場合は、番組データがありません。
  - 番組データの取得は、リモコンで電源「切」またはテレビ視聴中に行われます。最大約４時間かかります。
- 最新の番組データをインターネットから、より確実に取得する設定ができます。
  - 自動的に番組データを取得するには、番組表設定 > 通信による G ガイド受信をオンに設定してください。

    いろいろな機能 > 地域やチャンネルなど設置に関する設定をする > 設置設定をする
- 次の場合、番組データを受信できませんので、ご注意ください。

  （本体の電源を切っているとき / デジタル放送の電波状態がよくないとき）
- 録画実行中や２画面の場合は番組データを受信できないことがあります。

何列かにわたって同じ放送局が表示される

- 番組表を表示しているときに［サブメニュー］ボタンを押して表示内容を設定チャンネルに設定すると、チャンネル設定で設定したチャンネルだけを表示できます。



- 番組表を閉じた後、再度番組表を開くと放送局の表示は元に戻ります。チャンネル設定で設定したチャンネルだけを常に表示したいときは、選局対象に設定チャンネルを設定してください。

  チャンネル設定で設定したチャンネルだけを常に表示するには

  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 機器設定 > その他の設定を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 選局対象を選び、［決定］ボタンを押した後、設定チャンネルに設定する

接続した機器の映像や音声が出ない、入力表示が消えない

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

接続したＨＤＭＩ対応機器の映像が出ない、乱れる

- ＨＤＭＩケーブルを確実に接続してください。
  - 接続方法の詳細については、➡📖 取扱説明書をご覧ください。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本体の電源を「切」して電源ランプが消えたことを確認してから、再度電源を入れてください。

  接続機器の電源を「切」「入」してください。
- 接続機器の出力信号を以下に変更してください。

  480i、480p、720p、1080i、1080p（24 Hz/30 Hz/60 Hz）、2160p（24 Hz/30 Hz/60 Hz）

接続したＨＤＭＩ対応機器の音声が出ない

- 接続機器の音声出力をリニアＰＣＭに設定してください。
- ＨＤＭＩ音声入力設定を確認してください。

  ＨＤＭＩ音声入力設定の設定を確認するには

  1. ＨＤＭＩ入力に切り換えた後、［メニュー］ボタンを押す
  2. 音声調整 > ＨＤＭＩ音声入力設定を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 設定内容を確認する
- ＨＤＭＩ入力時のＤＶＤオーディオで暗号化されている場合は光デジタル音声出力されません。

接続した外部機器の映像が出ない、入力切換のとき入力が選べない

- 各端子にプラグはしっかり差し込まれていますか？

  端子の奥までしっかり差し込んでください。
- ビデオ入力表示書換／スキップ設定で入力端子を使用しない（スキップ）に設定していませんか？

  ビデオ入力表示書換／スキップ設定の設定を確認するには

  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 機器設定 > 表示の設定 > ビデオ入力表示書換／スキップ設定を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 設定内容を確認する

接続した外部機器の音声が、ヘッドホン / イヤホンから聴こえない

- シアターに接続したディーガなどの機器の映像を視聴時、音声をシアターから出している場合は、本機のヘッドホン / イヤホン接続端子から音声を出力しません。接続しているシアターのヘッドホン / イヤホン接続端子に接続してお聴きください。
- 本機に接続したヘッドホン / イヤホンで音声を聴く場合は、シアターに音声を出力している機器を直接、本機にＨＤＭＩケーブルで接続してください。

画面右上でＨＤＭＩ１などの入力の表示を消すことができない

- ［画面表示］ボタンを数回押すと、消すことができます。

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）で接続した機器が操作できない、正しく動作しない

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

デジタルビデオカメラの電源を入れても、自動で再生画面にならない

- ＨＤＭＩ２または３端子に接続し直してください。
- ＨＤＭＩ１端子に接続したときは、［入力切換］ボタンで、ＨＤＭＩ１入力に切り換えてください。

デジタルビデオカメラの再生画面は表示されるが、本機のリモコンで操作できない

- デジタルビデオカメラの電源を「切」「入」してみてください。

本機のリモコン操作でディーガに録画できない

- ディーガのチャンネル設定が合っているか確認してください。

  設定については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。

ビエラリンク（ＨＤＭＩ）が正しく動作しない

- ビエラリンク（ＨＤＭＩ）に対応した機器を取り替えたり、接続・設定を変更したときなどは、本機が接続されている機器を正しく認識しない場合があります。そのようなときは、ＨＤＭＩケーブルが正しく接続されていることを確認の上、以下の操作をしてください。
  1. すべての接続機器の電源を入れた状態で、本体の［電源］ボタンを入れ直す。
  2. ［入力切換］ボタンを押して入力を切り換え、接続・設定を変更したＨＤＭＩ入力ごとに映像を確認する。
  3. 接続した機器が操作できることを確認する。

ＵＳＢハードディスクへ録画や編集ができない、再生映像が乱れる

不具合のお問い合わせの前に、以下の記載をご確認ください。

それでも不具合が解消しない場合は、お客様サポートまでお問い合わせください。

録画できない

- ＵＳＢハードディスクをＵＳＢ３（録画用）端子に接続していますか？
- 接続したＵＳＢハードディスクを登録し、録画用に設定していますか？

  ＵＳＢ機器一覧でＵＳＢハードディスクを録画用に設定する必要があります。

  ＵＳＢ機器一覧を確認・録画用に設定するには

  1. ［メニュー］ボタンを押す
  2. 機器設定 > ＵＳＢ機器一覧を選び、［決定］ボタンを押す
  3. 未登録のＵＳＢハードディスクを選び、［決定］ボタンを押した後、画面の表示内容に従って設定する
- 録画禁止の番組ではありませんか？
  - 番組内容でご確認ください。
- ＵＳＢハードディスクの残量が少なくありませんか？
  - 不要になった番組を消去してください。
- ラジオ放送は録画できません。
  - 番組内容でご確認ください。

録画予約が実行されない

- 録画予約した後、録画用に設定したＵＳＢハードディスクを外していませんか？
- 本体の電源を「切」にしていると録画予約が実行されません。

  本機をご使用にならないときは、リモコンで電源を「切」にしてください。

録画番組を消去できない

- プロテクト設定した番組ではありませんか？
  - プロテクト設定を変更してください。

  プロテクト設定を変更するには

  1. ［録画一覧］ボタンを押す
  2. 設定を変更したい録画番組を選び、［サブメニュー］ボタンを押す
  3. プロテクト設定変更を選び、［決定］ボタンを押す

録画番組の一部または、すべてが消えた

- 録画や再生中に停電になったり、電源プラグが抜けるなどで電源が切れると、番組が消えたり、ＵＳＢハードディスクが使えなくなる場合があります。

データ放送の録画ができない

- 本機では録画できません。

再生していると途中で映像が乱れたり、ノイズが出たりする

- 天候などにより電波の悪い状態で録画した番組を再生した場合に発生することがあります。
- アスペクト比（映像の横縦比）や解像度の異なる場面のつなぎ目では、一瞬画像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。
- 番組と番組のつなぎ目部分など、正しい画面が出るまで静止画になったりモザイク状のノイズが出る場合があります。
- シーンの切り換わりで、映像や音声が切れたりする場合があります。

１台のハードディスクを、複数のビエラやディーガで共用できるか知りたい

- 共用できません。

  機器の手順に従い登録した機器でのみ使用できます。
  登録した機器でお使いいただくＵＳＢハードディスクは登録した機器専用として使用してください。登録した機器専用で使用中のＵＳＢハードディスクをほかの機器で使用すると、再フォーマットが必要になり、録画した番組や保存したデータがすべて削除されます。
- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下をご参照ください。

  テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

ＵＳＢハブを使用して２台以上のハードディスクを接続して、録画・再生ができるか知りたい

- ＵＳＢハブを使って複数のＵＳＢハードディスクを同時に接続することはできません。

  （本機に登録できるＵＳＢハードディスクは８台ですが、一度に使用できるＵＳＢハードディスクは１台です）

ダビングできない

- 対応しているディーガはネットにつながっていますか？
- コピー禁止やコピー制限のかかっている番組、プロテクト設定された番組はダビン

グできません。

- ディーガの状態（録画や再生をしているときなど）によっては、ダビングできない場合があります。
- ダビング中にディーガ側で録画などの操作をすると、ダビングが失敗する場合があります。
- ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクをお使いになる場合は、以下も合わせてご覧ください。

テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く > ＳｅｅＱＶａｕｌｔ（シーキューボルト）対応のＵＳＢハードディスクを使う

ダビングした番組が消えた

- コピー制限でダビング（複製）できない番組の場合、ムーブ（移動）となり、ＵＳＢハードディスクには番組が残りません。

インターネットを通じて、お客様サポート（ホームページ）を見る

本機のサポート情報を見る

インターネットを通じて、本機の使い方などのサポート情報をご覧いただけます。

● この画面で［ （赤）］ボタンを押す

- ブラウザが起動し、お客様サポート（ホームページ）を表示します。

= お知らせ =

- ご利用になるにはブロードバンド環境に対応したネットワークへの接続と設定が必要です。

  ネットワーク > ネットワークに接続する

  ネットワーク > ネットワークを利用するための接続設定をする

- 本機では取扱説明書やビエラ操作ガイド（ＰＤＦ形式）を閲覧したり、ダウンロードすることはできません。

  お手持ちのパソコンでご覧ください。